注３ **大学番号：０１８**

意見伺い

［令和元年度設置］

計画の区分： 研究科の設置

注１

宇都宮大学大学院　地域創生科学研究科
社会デザイン科学専攻　工農総合科学専攻

注２

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人　宇都宮大学

令和元年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　　総務部総務課

職名・氏名　　川島則子（カワシマ ノリコ）

電話番号　　０２８－６４９－５０１１

（夜間）　　０２８－６４９－５０１１

ＦＡＸ　　０２８－６４９－５０２７

ｅ－mail　　syosoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部　□□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「○○大学」

・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」

・大学院設置の場合：「○○大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、平成３１年４月２日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

地域創生科学研究科

＜社会デザイン科学専攻＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６６

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７２

＜工農総合科学専攻＞

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７５

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７９

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９８

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９９

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０２

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３０

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３２

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

国立大学法人　宇都宮大学

（２）大　学　名

宇都宮大学

（３）調査対象大学等の位置

〒３２１－８５０５
栃木県宇都宮市峰町３５０

〒３２１－８５８５
栃木県宇都宮市陽東７の１の２

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　　考
理 事 長	（フリガナ） 氏　　　名 （現職就任年月）	（フリガナ） 氏　　　名 （現職就任年月）	
学　　長	（イシダ　トモヤス） 石田　朋靖 （平成２７年４月）		
研 究 科 長	（カワタ　シゲオ） 川田　重夫 （平成３１年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻 修士（学術） 修士（農学） 修士（工学） 修士(国際学)	文学関係 教育学・保育学関係 法学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係 理学関係 工学関係 農学関係	年 2	人 77	年次 人	人 154	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分 ＼ 対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	人 77 (－) [－]	人			
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	117 (－) [44]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	110 (－) [43]	( ) [ ]	1.23倍	－	
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	104 (－) [40]	( ) [ ]			
Ｂ　入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	95 (－) [36]	( ) [ ]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ									1.23				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　（　　）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　　]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学　年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ]	[ ]	95 [43]	- [-]	
２年次			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
３年次					[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
４年次							[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ ] ( )		[ ] ( )		[ ] ( )		[ ] ( )		95 [43] (-)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　[　　]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 ＼ 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	95 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合　計		0 人		人	人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) / 平成27年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ #DIV/0! %

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ #DIV/0! %

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ #DIV/0! %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) ＝ 0 / 95 ＝ 0 %

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜社会デザイン科学専攻＞

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー 学際的思考力	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2			1	4				4
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1								7
	グローカルな視座を養う	1後	1			6	4				
	アカデミックコミュニケーション	2通	2			5	3				8
文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1							1
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		1					
	観光地理学研究	1後		1				1			
	ソーシャルビジネス論	1前		1			1				
	防災と国際協力Ⅰ	1後		1					1		
	環境問題とガバナンスⅠ	1後		1			1				
	人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1			1				
	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1					1		
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1			1				
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1			1				
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1			1				
	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1		1					
	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1		1					
	日本語論述表現法Ⅰ	1前		1		1					
	アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1		1					
	フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1			1				
	西洋史研究Ⅰ	1前		1		1					
	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1		1					
	ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1			1				
	多文化教育研究Ⅰ	1後		1			1				
	シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1		1					
	日本文化研究Ⅰ	1後		1		1					
	文化人類学研究Ⅰ	1前		1		1					
	英語学研究Ⅰ	1後		1			1				
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1			1				
	西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1			1				
	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1			1				
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1			1				
	技術日本語	1前		1							1
理系科目群	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門	1後		1							8
	社会現象の数理	1後		1			1				
	食品機能科学	1後		1							3
	メカニカル・エンジニアリング	1後		1							6
	情報電気電子システム工学概論	1前		1							5
	博物学史	1前		1							2
	文系のためのデータサイエンス	1後		1			1				
実践力	実践インターンシップ	1･2 前･後		2							3
	実践フィールドワーク	1･2 前･後		2		1					
	創成工学プロジェクト演習	1前		2							3
	International Political Economy	1前		2							1
	Global Management	1前		2			1				
	Globalization and Society	1後		2		1					
	国際インターンシップ	1･2 前･後		2							1
	臨地研究	1･2 前･後		2		2					
	小計（48科目）	－	6	52	0	24	24	1	2	0	38

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー 学際的思考力	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2			1	4				4
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1								7
	グローカルな視座を養う	1後	1			6	3				1
	アカデミックコミュニケーション	2通	2			5	3				8
文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1							1
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		1					
	観光地理学研究	1後		1				1			
	ソーシャルビジネス論	1前		1			1				
	防災と国際協力Ⅰ	1後		1					1		
	環境問題とガバナンスⅠ	1後		1			1				
	人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1			1				
	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1					1		
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1			1				
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1			1				
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1			1				
	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1		1					
	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1		1					
	日本語論述表現法Ⅰ	1前		1		1					
	アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1		1					
	フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1							1
	西洋史研究Ⅰ	1前		1		1					
	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1		1					
	ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1			1				
	多文化教育研究Ⅰ	1後		1		1					
	シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1		1					
	日本文化研究Ⅰ	1後		1		1					
	文化人類学研究Ⅰ	1前		1		1					
	英語学研究Ⅰ	1後		1					1		
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1			1				
	西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1			1				
	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1			1				
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1			1				
	技術日本語	1前		1							1
理系科目群	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門	1後		1							8
	社会現象の数理	1後		1			1				
	食品機能科学	1後		1							3
	メカニカル・エンジニアリング	1後		1							6
	情報電気電子システム工学概論	1前		1							5
	博物学史	1前		1							2
	文系のためのデータサイエンス	1後		1			1				
実践力	実践インターンシップ	1･2 前･後		2							3
	実践フィールドワーク	1･2 前･後		2		1					
	創成工学プロジェクト演習	1前		2							3
	International Political Economy	1前		2							1
	Global Management	1前		2			1				
	Globalization and Society	1後		2		1					
	国際インターンシップ	1･2 前･後		2							1
	臨地研究	1･2 前･後		2		2					
	小計（48科目）	－	6	52	0	25	20	1	3	0	40

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
境界・学際領域科目	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す	1･2前		1		3	1				
	地域デザイン工学プロジェクト	1･2前		1		1	4				
	地域デザイン工学インターンシップ	1･2前･後		1			2				
	Communication Skills for Engineers	1前		1			1				
	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1前		1		3	1				
	共生社会論	1前		2		1					
	地域人間発達支援の実際と課題	1前		1		4	3				
	小計（7科目）	–	0	8	0	12	12	0	0	0	0
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	政策形成と協働	1後		1		1					
	コミュニティ政策論	1前		1			1				
	住環境・まちづくり論	1前		1		1					
	自然共生デザイン論	1前		1		1					
	福祉経営論	1前		1				1			
社会システムデザイン科目	政策分析とガバナンス	1後		1			1				
	まちをつくる経済評価の技法	1後		1			1				
	経済政策論	1後		1		1					
	福祉会話分析	2前		1			1				
	地域スポーツ行政論	2後		1		1					
	地域社会教育論	1後		1			1				
	地域住民の意識・行動の調査法	1後		1			1				
地域資源マネジメント科目	生活文化デザイン論	1前		1		1					
	地域活動の心理学	2前		1			1				
	デザインと地域	2前		1		1					
	合奏による参加型デザイン	1後		1			1				
	地域食生活論	2前		1		1					
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		1					
	観光地理学研究	1後		1				1			
	コミュニティデザイン学特別演習	1～2通		4		16	14	2			
	コミュニティデザイン学特別研究	1～2通		6		16	14	2			
	コミュニティデザイン学実践プロジェクト	1～2通		6		9	8	2			
	小計（22科目）	–	0	35	0	16	14	2	0	0	0
農業・農村経済学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	農業・農村経済学	1前		1		1	1				
	農政学	1前		1		1					
	農業生産組織論	1前		1		1					
	農業・農村史	1後		1		1					
	農村社会学	1後		1				1			
	アグリビジネス論	2前		1		1					
	農村地理学	1前		1			1				
応用科目	マーケティング論	1前		1							1
	ソーシャルビジネス論	1前		1			1				
	統計分析論	1後		1			1				
	環境経済学	2前		1			1				
	フードシステム学	1後		1			1				
	農業・農村経済学特別演習	1～2通		4		7	7	3			
	農業・農村経済学特別研究	1～2通		6		7	7	3			
	農業・農村経済学実践プロジェクト	1～2通		6		4	5	1			
	小計（15科目）	–	0	28	0	7	7	3			1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
境界・学際領域科目	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す	1･2前		1		3	1				
	地域デザイン工学プロジェクト	1･2前		1		1	4		1		
	地域デザイン工学インターンシップ	1･2前･後		1			2				
	Communication Skills for Engineers	1前		1			1				
	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1前		1		3	1				
	共生社会論	1前		2		1					
	地域人間発達支援の実際と課題	1前		1		4	3				
	小計（7科目）	–	0	8	0	12	12	0	1	0	0
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	政策形成と協働	1後		1		1					
	コミュニティ政策論	1前		1			1				
	住環境・まちづくり論	1前		1		1					
	自然共生デザイン論	1前		1		1					
	福祉経営論	1前		1							1
社会システムデザイン科目	政策分析とガバナンス	1後		1			1				
	まちをつくる経済評価の技法	1後		1			1				
	経済政策論	1後		1		1					
	福祉会話分析	2前		1			1				
	地域スポーツ行政論	2後		1		1					
	地域社会教育論	1後		1			1				
	地域住民の意識・行動の調査法	1後		1			1				
	都市と地域の社会学	1前		1							1
地域資源マネジメント科目	生活文化デザイン論	1前		1		1					
	地域活動の心理学	2前		1			1				
	デザインと地域	2前		1		1					
	合奏による参加型デザイン	1後		1			1				
	地域食生活論	2前		1		1					
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		1					
	観光地理学研究	1後		1				1			
	コミュニティデザイン学特別演習	1～2通		4		17	13	1			
	コミュニティデザイン学特別研究	1～2通		6		17	13	1			
	コミュニティデザイン学実践プロジェクト	1～2通		6		9	8	1			
	小計（23科目）	–	0	36	0	17	13	1	0	0	2
農業・農村経済学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	農業・農村経済学	1前		1		1	1				
	農政学	1前		1		1					
	農業生産組織論	1前		1		1					
	農業・農村史	1後		1		1					
	農村社会学	1後		1				1			
	アグリビジネス論	2前		1		1					
	農村地理学	1前		1		1					
応用科目	マーケティング論	1前		1							1
	ソーシャルビジネス論	1前		1			1				
	統計分析論	1後		1			1				
	環境経済学	2前		1			1				
	フードシステム学	1後		1			1				
	農業・農村経済学特別演習	1～2通		4		8	6	2			
	農業・農村経済学特別研究	1～2通		6		8	6	2			
	農業・農村経済学実践プロジェクト	1～2通		6		5	4	1			
	小計（15科目）	–	0	28	0	8	6	2	0	0	1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
建築学プログラム	プログラム専門科目	建築構造学特論A	1前		1		1					
		建築構造学特論B	1前		1		1					
		建築耐震設計特論A	1前		1			1				
		建築耐震設計特論B	1前		1			1				
		建築構造解析特論A	1後		1			1				
		建築構造解析特論B	1後		1			1				
		建築構造材料特論A	1・2後		1		1					
		建築構造材料特論B	1・2後		1		1					
		木造建築特論A	1・2後		1		1					
		木造建築特論B	1・2後		1		1					
		既存建築物分析学特論A	1・2前		1			1				
		既存建築物分析学特論B	1・2前		1			1				
		エコロジカル建築特論A	1・2後		1		1					
		エコロジカル建築特論B	1・2後		1		1					
		環境設備特論A	1・2前		1		1					
		環境設備特論B	1・2前		1		1					
		建築設計特論A	1・2前		1			1				
		建築設計特論B	1・2前		1			1				
		建築計画特論A	1・2前		1			1				
		建築計画特論B	1・2前		1			1				
		都市解析特論A	1・2前		1			1				
		都市解析特論B	1・2前		1			1				
		建築インターンシップⅠ	1・2前・後		1			2				
		建築インターンシップⅡ	1・2前・後		2			2				
		建築インターンシップⅢ	1・2前・後		3			2				
		建築インターンシップⅣ	1・2前・後		2			2				
		建築インターンシップⅤ	1・2前・後		2			2				
		建築インターンシップⅥ	1・2前・後		2			2				
		建築設計演習Ⅰ	1・2前・後		2			3		1		
		建築設計演習Ⅱ	1・2前・後		2			3		1		
		建築学特別演習Ⅰ	1通		2		8	9		3		
		建築学特別演習Ⅱ	2通		2		8	9		3		
		建築学特別研究	1～2通		6		8	9		3		
		建築学特別設計	1～2通		6			3		1		
		小計（34科目）	－	0	54	0	8	9	0	3	0	0
土木工学プログラム	プログラム専門科目	橋梁工学特論	1後		1			1				
		耐震工学特論	1後		1			1				
		岩盤力学特論	1前		1			1				
		地盤力学特論	1前		1			1				
		土木材料学特論	1後		1		1					
		エコマテリアル工学特論	1後		1			1				
		河川工学特論	1前		1		1					
		海岸工学特論	1後		1					1		
		水圏環境工学特論	1前		1		1					
		地圏環境工学特論	1後		1			2				
		都市計画特論	1前		1		1					
		都市交通特論	2前		1		1					
		防災マネジメント特論	1前		1			1				
		海外プロジェクト特論	1前		1		1					
		土木工学特別演習	1～2通		4		10	11		4		
		土木工学特別研究	1～2通		6		10	11		4		
		小計（16科目）	－	0	24	0	10	11	0	4	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
建築学プログラム	プログラム専門科目	建築構造学特論A	1前		1		1					
		建築構造学特論B	1前		1		1					
		建築耐震設計特論A	1前		1			1				
		建築耐震設計特論B	1前		1			1				
		建築構造解析特論A	1後		1			1				
		建築構造解析特論B	1後		1			1				
		建築構造材料特論A	1・2後		1		1					
		建築構造材料特論B	1・2後		1		1					
		木造建築特論A	1・2後		1		1					
		木造建築特論B	1・2後		1		1					
		既存建築物分析学特論A	1・2前		1			1				
		既存建築物分析学特論B	1・2前		1			1				
		エコロジカル建築特論A	1・2後		1		1					
		エコロジカル建築特論B	1・2後		1		1					
		環境設備特論A	1・2前		1		1					
		環境設備特論B	1・2前		1		1					
		建築設計特論A	1・2前		1			1				
		建築設計特論B	1・2前		1			1				
		建築計画特論A	1・2前		1			1				
		建築計画特論B	1・2前		1			1				
		都市解析特論A	1・2前		1			1				
		都市解析特論B	1・2前		1			1				
		建築インターンシップⅠ	1・2前・後		1			2				
		建築インターンシップⅡ	1・2前・後		2			2				
		建築インターンシップⅢ	1・2前・後		3			2				
		建築インターンシップⅣ	1・2前・後		2			2				
		建築インターンシップⅤ	1・2前・後		2			2				
		建築インターンシップⅥ	1・2前・後		2			2				
		建築設計演習Ⅰ	1・2前・後		2			3		1		
		建築設計演習Ⅱ	1・2前・後		2			3		1		
		建築学特別演習Ⅰ	1通		2		8	9		4		
		建築学特別演習Ⅱ	2通		2		8	9		4		
		建築学特別研究	1～2通		6		8	9		4		
		建築学特別設計	1～2通		6			3		2		
		小計（34科目）	－	0	54	0	8	9	0	4	0	0
土木工学プログラム	プログラム専門科目	橋梁工学特論	1後		1			1				
		耐震工学特論	1後		1			1				
		岩盤力学特論	1前		1			1				
		地盤力学特論	1前		1			1				
		土木材料学特論	1後		1		1					
		エコマテリアル工学特論	1後		1			1				
		河川工学特論	1前		1		1					
		海岸工学特論	1後		1					1		
		水圏環境工学特論	1前		1		1					
		地圏環境工学特論	1後		1			2				
		都市計画特論	1前		1		1					
		都市交通特論	2前		1		1					
		防災マネジメント特論	1前		1			1				
		海外プロジェクト特論	1前		1		1					
		土木工学特別演習	1～2通		4		10	11		3		
		土木工学特別研究	1～2通		6		10	11		3		
		小計（16科目）	－	0	24	0	10	11	0	3	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
農業土木学プログラム プログラム専門科目	環境数理A	1前		1			1				
	環境数理B	1前		1		1					
	土壌環境物理学A	1前		1			1				
	土壌環境物理学B	1前		1			1				
	農地保全学	1後		1			1				
	農業水利学	1後		1		1					
	応用田園生態工学A	1後		1			1				
	応用田園生態工学B	1後		1			1				
	地域マネジメントA	1前		1			1				
	地域マネジメントB	1前		1			1				
	農業農村開発と技術協力	1前		1			1				
	農業土木学特別演習	1～2通		4		4	10		3		
	農業土木学特別研究	1～2通		6		4	10		3		
	小計（13科目）	－	0	21	0	4	10	0	3	0	0
グローバル・エリアスタディーズプログラム プログラム専門科目 基盤科目	貧困問題と国際協力Ⅰ	1前		1		1					
	防災と国際協力Ⅰ	1後		1					1		
	環境問題とガバナンスⅠ	1後		1			1				
	情報ネットワークと技術Ⅰ	1後		1		1					
	人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1			1				
	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1					1		
	Globalization and Project Management Ⅰ	1後		1			1				
	グローバル教育と開発教育Ⅰ	1後		1		1					
	国際NPO起業とその実践Ⅰ	1前		1		1					2
グローバル・スタディーズ科目	貧困問題と国際協力Ⅱ	1前		1		1					
	防災と国際協力Ⅱ	1後		1					1		
	環境問題とガバナンスⅡ	1後		1			1				
	情報ネットワークと技術Ⅱ	1後		1		1					
	人間の安全保障と国連Ⅱ	1前		1			1				
	国際人権保障と平和構築Ⅱ	1後		1					1		
	Globalization and Project Management Ⅱ	1後		1			1				
	グローバル教育と開発教育Ⅱ	1後		1		1					
	国際NPO起業とその実践Ⅱ	1前		1		1					1
エリアスタディーズ科目	タイの開発と地域社会Ⅰ	1後		1		1					
	タイの開発と地域社会Ⅱ	1後		1		1					
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1			1				
	東アジアの国際政治と歴史Ⅱ	1前		1			1				
	東アジアの歴史と文化Ⅰ	1前		1		1					
	東アジアの歴史と文化Ⅱ	1前		1		1					
	日本の自然と地域生活Ⅰ	1前		1			1				
	日本の自然と地域生活Ⅱ	1前		1			1				
	アメリカの経済と金融Ⅰ	1後		1		1					
	アメリカの経済と金融Ⅱ	1後		1		1					
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1			1				
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ	1後		1			1				
	中東地域の政治と社会Ⅰ	1後		1			1				
	中東地域の政治と社会Ⅱ	1後		1			1				
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1			1				
	東アフリカの社会開発と文化Ⅱ	1前		1			1				
	特別臨地研究Ⅰ	1･2 前･後		2		1	1				
	特別臨地研究Ⅱ	1･2 前･後		2		1	1				
	グローバル・エリアスタディーズ特別演習	1～2通		4		16	19	2	2		
	グローバル・エリアスタディーズ特別研究	1～2通		6		16	19	2	2		
	グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト	1～2通		6		6	8		2		
	小計（39科目）	－	0	54	0	16	19	2	2	0	3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
農業土木学プログラム プログラム専門科目	環境数理A	1前		1			1				
	環境数理B	1前		1		1					
	土壌環境物理学A	1前		1			1				
	土壌環境物理学B	1前		1			1				
	農地保全学	1後		1			1				
	農業水利学	1後		1		1					
	応用田園生態工学A	1後		1			1				
	応用田園生態工学B	1後		1			1				
	地域マネジメントA	1前		1			1				
	地域マネジメントB	1前		1			1				
	農業農村開発と技術協力	1前		1			1				
	農業土木学特別演習	1～2通		4		4	10		2		
	農業土木学特別研究	1～2通		6		4	10		2		
	小計（13科目）	－	0	21	0	4	10	0	2	0	0
グローバル・エリアスタディーズプログラム プログラム専門科目 基盤科目	貧困問題と国際協力Ⅰ	1前		1		1					
	防災と国際協力Ⅰ	1後		1					1		
	環境問題とガバナンスⅠ	1後		1			1				
	情報ネットワークと技術Ⅰ	1後		1		1					
	人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1			1				
	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1					1		
	Globalization and Project Management Ⅰ	1後		1			1				
	グローバル教育と開発教育Ⅰ	1後		1		1					
	国際NPO起業とその実践Ⅰ	1前		1		1					2
グローバル・スタディーズ科目	貧困問題と国際協力Ⅱ	1前		1		1					
	防災と国際協力Ⅱ	1後		1					1		
	環境問題とガバナンスⅡ	1後		1			1				
	情報ネットワークと技術Ⅱ	1後		1		1					
	人間の安全保障と国連Ⅱ	1前		1			1				
	国際人権保障と平和構築Ⅱ	1後		1					1		
	Globalization and Project Management Ⅱ	1後		1			1				
	グローバル教育と開発教育Ⅱ	1後		1		1					
	国際NPO起業とその実践Ⅱ	1前		1		1					1
エリアスタディーズ科目	タイの開発と地域社会Ⅰ	1後		1		1					
	タイの開発と地域社会Ⅱ	1後		1		1					
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1			1				
	東アジアの国際政治と歴史Ⅱ	1前		1			1				
	東アジアの歴史と文化Ⅰ	1前		1		1					
	東アジアの歴史と文化Ⅱ	1前		1		1					
	日本の自然と地域生活Ⅰ	1前		1			1				
	日本の自然と地域生活Ⅱ	1前		1			1				
	アメリカの経済と金融Ⅰ	1後		1		1					
	アメリカの経済と金融Ⅱ	1後		1		1					
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1			1				
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ	1後		1			1				
	中東地域の政治と社会Ⅰ	1後		1			1				
	中東地域の政治と社会Ⅱ	1後		1			1				
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1			1				
	東アフリカの社会開発と文化Ⅱ	1前		1			1				
	特別臨地研究Ⅰ	1･2 前･後		2		1	1				
	特別臨地研究Ⅱ	1･2 前･後		2		1	1				
	グローバル・エリアスタディーズ特別演習	1～2通		4		17	16	2	2		
	グローバル・エリアスタディーズ特別研究	1～2通		6		17	16	2	2		
	グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト	1～2通		6		6	8		2		
	小計（39科目）	－	0	54	0	17	16	2	2	0	3

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
多文化共生学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	現代英語研究Ⅰ	1前		1		1					
			感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1		1					
			日本表象文化研究Ⅰ	1前		1		1					
			グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1		1					
			日本語論述表現法Ⅰ	1前		1		1					
			多文化教育研究Ⅰ	1後		1			1				
		応用科目	現代英語研究Ⅱ	1後		1		1					
			感情コミュニケーションと社会的共生Ⅱ	1後		1		1					
			日本表象文化研究Ⅱ	1前		1		1					
			グローバル化と国際的な人の移動Ⅱ	1前		1		1					
			日本語論述表現法Ⅱ	1前		1		1					
			多文化教育研究Ⅱ	1後		1			1				
			国際交流と日本語教育Ⅰ	1前		1		1					
			国際交流と日本語教育Ⅱ	1前		1		1					
			アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			アメリカ文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			イギリス文化研究Ⅰ	2前		1			1				
			イギリス文化研究Ⅱ	2前		1			1				
			フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1			1				
			フランス思想・文化研究Ⅱ	1後		1			1				
			西洋史研究Ⅰ	1前		1		1					
			西洋史研究Ⅱ	1前		1		1					
			性と人権論Ⅰ	1前		1			1				
			性と人権論Ⅱ	1前		1			1				
			東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1		1					
			東アジア比較文学比較文化研究Ⅱ	1前		1		1					
			人権と法Ⅰ	1後		1			1				
			人権と法Ⅱ	1後		1			1				
			ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1			1				
			ジェンダーとアイデンティティⅡ	1後		1			1				
			シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1		1					
			シティズンシップ教育Ⅱ	1後		1		1					
			日本文学研究Ⅰ	1前		1		1					
			日本文学研究Ⅱ	1前		1		1					
			日本文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			日本文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			文化人類学研究Ⅰ	1前		1		1					
			文化人類学研究Ⅱ	1前		1		1					
			言語普遍性と英文法研究Ⅰ	2前		1		1					
			言語普遍性と英文法研究Ⅱ	2前		1		1					
			英語音声学Ⅰ	1後		1		1					
			英語音声学Ⅱ	1後		1		1					
			英語学研究Ⅰ	1後		1			1				
			英語学研究Ⅱ	1後		1			1				
			植民地教育史Ⅰ	1後		1			1				
			植民地教育史Ⅱ	1後		1			1				
			外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1			1				
			外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1後		1			1				
			芸術学研究Ⅰ	1後		1			1				
			芸術学研究Ⅱ	1後		1			1				
			音楽創作文化研究Ⅰ	1後		1			1				
			音楽創作文化研究Ⅱ	1後		1			1				
			西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1			1				
			西洋近現代哲学研究Ⅱ	1前		1			1				
			日本史研究Ⅰ	1後		1			1				
			日本史研究Ⅱ	1後		1			1				
			日本語教育学研究Ⅰ	1前		1			1				
			日本語教育学研究Ⅱ	1前		1			1				
			ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ	2前		1			1				
			ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ	2前		1			1				

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
多文化共生学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	現代英語研究Ⅰ	1前		1		1					
			感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1		1					
			日本表象文化研究Ⅰ	1前		1		1					
			グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1		1					
			日本語論述表現法Ⅰ	1前		1		1					
			多文化教育研究Ⅰ	1後		1		1					
		応用科目	現代英語研究Ⅱ	1後		1		1					
			感情コミュニケーションと社会的共生Ⅱ	1後		1		1					
			日本表象文化研究Ⅱ	1前		1		1					
			グローバル化と国際的な人の移動Ⅱ	1前		1		1					
			日本語論述表現法Ⅱ	1前		1		1					
			多文化教育研究Ⅱ	1後		1		1					
			国際交流と日本語教育Ⅰ	1前		1		1					
			国際交流と日本語教育Ⅱ	1前		1		1					
			アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			アメリカ文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			イギリス文化研究Ⅰ	2前		1			1				
			イギリス文化研究Ⅱ	2前		1			1				
			フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1							1
			フランス思想・文化研究Ⅱ	1後		1							1
			西洋史研究Ⅰ	1前		1		1					
			西洋史研究Ⅱ	1前		1		1					
			性と人権論Ⅰ	1前		1			1				
			性と人権論Ⅱ	1前		1			1				
			東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1		1					
			東アジア比較文学比較文化研究Ⅱ	1前		1		1					
			人権と法Ⅰ	1後		1			1				
			人権と法Ⅱ	1後		1			1				
			ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1			1				
			ジェンダーとアイデンティティⅡ	1後		1			1				
			シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1		1					
			シティズンシップ教育Ⅱ	1後		1		1					
			日本文学研究Ⅰ	1前		1		1					
			日本文学研究Ⅱ	1前		1		1					
			日本文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			日本文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			文化人類学研究Ⅰ	1前		1		1					
			文化人類学研究Ⅱ	1前		1		1					
			言語普遍性と英文法研究Ⅰ	2前		1		1					
			言語普遍性と英文法研究Ⅱ	2前		1		1					
			英語音声学Ⅰ	1後		1		1					
			英語音声学Ⅱ	1後		1		1					
			英語学研究Ⅰ	1後		1					1		
			英語学研究Ⅱ	1後		1					1		
			植民地教育史Ⅰ	1後		1			1				
			植民地教育史Ⅱ	1後		1			1				
			外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1			1				
			外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1後		1			1				
			芸術学研究Ⅰ	1後		1			1				
			芸術学研究Ⅱ	1後		1			1				
			音楽創作文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			音楽創作文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1			1				
			西洋近現代哲学研究Ⅱ	1前		1			1				
			日本史研究Ⅰ	1後		1			1				
			日本史研究Ⅱ	1後		1			1				
			日本語教育学研究Ⅰ	1前		1			1				
			日本語教育学研究Ⅱ	1前		1			1				
			ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ	2前		1			1				
			ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ	2前		1			1				

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
			Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1			1				
			Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅱ	1前		1			1				
			日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1			1				
			日本語史と日本語研究Ⅱ	1後		1			1				
			古代日本言語文化研究Ⅰ	1後		1				1			
			古代日本言語文化研究Ⅱ	1後		1				1			
			グローバル時代の学校教育Ⅰ	2前		1				1			
			グローバル時代の学校教育Ⅱ	2前		1				1			
			多文化共生学特別演習	1～2通		4		19	25	3	1		
			多文化共生学特別研究	1～2通		6		19	25	3	1		
			多文化共生学実践プロジェクト	1～2通		6		14	16	2			
			小計（71科目）	－	0	84	0	19	25	3	1	0	0
地域人間発達支援学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	人間発達支援方法論	1前		2			1				
			社会的思考支援論	1後		2			1				
			生涯発達支援論	1前		2			1				
			共に生きるかたちの心理学特論	1後		2			1				
			ヘルスプロモーション特論	1後		2							1
			生活環境創造支援論	1前		2		3	1				
			地域アートマネジメント（美術）	1前		2			1				
			地域アートマネジメント（音楽）	1後		2				1			
		応用科目	認知心理的支援論	1後		2					1		
			遊びと感情の社会学特論	1･2前		2			1				
			地域環境システム論	1･2後		2			1				
			衣環境学特論	1･2前		2		1					
			生活経営支援論	1･2後		2		1					
			消費者教育支援論	1･2後		2		1					
			健康管理支援論	1･2後		2		1					
			身体科学特論	1･2前		1		1					
			運動発達特論	1･2前		2		1					
			身体運動学演習	1･2後		1		1					
			スポーツ指導支援論	1･2後		1		1					
			生涯身体発達支援論	1･2前		2							1
			情報コミュニケーション演習	1･2前		2			1				
			情報科学技術特論	1･2後		2			1				
			科学コミュニケーション演習	1･2後		2							1
			造形表現支援演習	1･2後		2		1					
			平面表現技法分析論	1･2後		2			1				
			地域デザインプロジェクト	1後		2		1					
			舞台芸術分析論	1･2後		2		1					
			音声デザイン支援論	1･2前		2		1					
			サウンド･コラボレーション	1･2前		2				1			
			外国語コミュニケーション演習	1･2後		2							1
			論理表現コミュニケーション演習	1･2後		2							1
			地域人間発達支援学特別演習	1～2通		4		14	18	2			
			地域人間発達支援学特別研究	1～2通		6		14	18	2			
			地域人間発達支援学実践プロジェクト	1～2通		6		4	2	1			
			小計（34科目）	－	0	75	0	15	19	2	1	0	5
合計（299科目）				－	6	435	0	49	58	6	9	0	47

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
			Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1							1
			Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅱ	1前		1							1
			日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1			1				
			日本語史と日本語研究Ⅱ	1後		1			1				
			古代日本言語文化研究Ⅰ	1後		1							1
			古代日本言語文化研究Ⅱ	1後		1							1
			グローバル時代の学校教育Ⅰ	2前		1				1			
			グローバル時代の学校教育Ⅱ	2前		1				1			
			多文化共生学特別演習	1～2通		4		21	20	2	1		
			多文化共生学特別研究	1～2通		6		21	20	2	1		
			多文化共生学実践プロジェクト	1～2通		6		16	11	1			
			小計（71科目）	－	0	84	0	21	20	3	2	0	3
地域人間発達支援学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	人間発達支援方法論	1前		2			1				
			社会的思考支援論	1後		2			1				
			生涯発達支援論	1前		2							1
			共に生きるかたちの心理学特論	1後		2			1				
			ヘルスプロモーション特論	1後		2							1
			生活環境創造支援論	1前		2		3	1				
			地域アートマネジメント（美術）	1前		2			1				
			地域アートマネジメント（音楽）	1後		2				1			
		応用科目	認知心理的支援論	1後		2					1		
			遊びと感情の社会学特論	1･2前		2			1				
			地域環境システム論	1･2後		2		1					
			衣環境学特論	1･2前		2		1					
			生活経営支援論	1･2後		2		1					
			消費者教育支援論	1･2後		2		1					
			健康管理支援論	1･2後		2		1					
			身体科学特論	1･2前		1		1					
			運動発達特論	1･2前		2		1					
			身体運動学演習	1･2後		1		1					
			スポーツ指導支援論	1･2後		1		1					
			生涯身体発達支援論	1･2前		2							1
			情報コミュニケーション演習	1･2前		2			1				
			情報科学技術特論	1･2後		2			1				
			科学コミュニケーション演習	1･2後		2							1
			造形表現支援演習	1･2後		2		1					
			平面表現技法分析論	1･2後		2			1				
			地域デザインプロジェクト	1後		2		1					
			舞台芸術分析論	1･2後		2		1					
			音声デザイン支援論	1･2前		2		1					
			サウンド･コラボレーション	1･2前		2				1			
			外国語コミュニケーション演習	1･2後		2							1
			論理表現コミュニケーション演習	1･2後		2							1
			地域人間発達支援学特別演習	1～2通		4		15	16	1			
			地域人間発達支援学特別研究	1～2通		6		15	16	1			
			地域人間発達支援学実践プロジェクト	1～2通		6		4	2	1			
			小計（34科目）	－	0	75	0	16	18	1	1	0	6
合計（300科目）				－	6	436	0	52	52	4	10	0	53

卒業要件及び履修方法

修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目（「特別演習」「特別研究」並びに「特別研究」に代えて履修する科目等を含む）から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文（又は，修士論文に代わる特定課題等）の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。

コミュニティデザイン学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「社会システムデザイン科目」から2単位以上，「地域資源マネジメント科目」から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別演習（4単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別研究（6単位）又はコミュニティデザイン学実践プロジェクト（6単位）のいずれかを必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

農業・農村経済学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から3単位以上，「応用科目」から3単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の農業・農村経済学特別演習（4単位）及び農業・農村経済学特別研究（6単位）又は農業・農村経済学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

建築学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から建築学特別演習Ⅰ（2単位）,建築学特別演習Ⅱ（2単位）及び建築学特別研究（6単位）又は建築学特別設計（6単位））を含み17単位以上を必ず修得すること。

土木工学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位）,建築学特別演習Ⅱ（2単位）,建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

農業土木学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位）,建築学特別演習Ⅱ（2単位）,建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

グローバル・エリアスタディーズプログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」のグローバル・エリアスタディーズ総合講義（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「グローバル・スタディーズ科目」から2単位以上，「エリアスタディーズ科目」から4単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ特別演習（4単位）及びグローバル・エリアスタディーズ特別研究（6単位）又はグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を選択する場合は，「プログラム専門科目」の特別臨地研究Ⅰ（2単位）又は特別臨地研究Ⅱ（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。

卒業要件及び履修方法

修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目（「特別演習」「特別研究」並びに「特別研究」に代えて履修する科目等を含む）から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文（又は，修士論文に代わる特定課題等）の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。

コミュニティデザイン学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「社会システムデザイン科目」から2単位以上，「地域資源マネジメント科目」**及び農業・農村経済学プログラムの「プログラム専門科目」の「基盤科目」農村社会学（1単位）**から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別演習（4単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別研究（6単位）又はコミュニティデザイン学実践プロジェクト（6単位）のいずれかを必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

農業・農村経済学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から3単位以上，「応用科目」から3単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の農業・農村経済学特別演習（4単位）及び農業・農村経済学特別研究（6単位）又は農業・農村経済学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

建築学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から建築学特別演習Ⅰ（2単位）,建築学特別演習Ⅱ（2単位）及び建築学特別研究（6単位）又は建築学特別設計（6単位））を含み17単位以上を必ず修得すること。

土木工学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位）,建築学特別演習Ⅱ（2単位）,建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

農業土木学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位）,建築学特別演習Ⅱ（2単位）,建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

グローバル・エリアスタディーズプログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」のグローバル・エリアスタディーズ総合講義（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「グローバル・スタディーズ科目」から2単位以上，「エリアスタディーズ科目」から4単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ特別演習（4単位）及びグローバル・エリアスタディーズ特別研究（6単位）又はグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を選択する場合は，「プログラム専門科目」の特別臨地研究Ⅰ（2単位）又は特別臨地研究Ⅱ（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。

多文化共生学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の共生社会論（2単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の多文化共生学特別演習（4単位）及び多文化共生学特別研究（6単位）又は多文化共生学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

地域人間発達支援学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域人間発達支援の実際と課題（１単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の地域人間発達支援学特別演習（4単位）及び地域人間発達支援学特別研究（6単位）又は地域人間発達支援学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

多文化共生学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の共生社会論（2単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の多文化共生学特別演習（4単位）及び多文化共生学特別研究（6単位）又は多文化共生学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

地域人間発達支援学プログラム
・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。
・「境界・学際領域科目」の地域人間発達支援の実際と課題（１単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の地域人間発達支援学特別演習（4単位）及び地域人間発達支援学特別研究（6単位）又は地域人間発達支援学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

（注）・　報告年度の5月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・准教授辞任による兼任教員への変更により、「グローカルな視座を養う」の専任教員等の配置を「准教授４」から「准教授３」に変更し、「兼任・兼担０」から「兼任・兼担１」に変更。
・助教の就任に伴い、「地域デザイン工学プロジェクト」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・講師の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「福祉経営論」の専任教員等の配置を「講師１」から「兼任・兼担１」に変更。
・教育効果を高めるため、コミュニティデザイン学プログラムのプログラム専門科目、社会システムデザイン科目に新たに「都市と地域の社会学」を配置し、配当年次を「1前」、単位数を「選択1」、専任教員等の配置を「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の教授昇任、講師の辞任により、「コミュニティデザイン学特別演習」、「コミュニティデザイン学特別研究」の専任教員等の配置を「教授１６、准教授１４、講師２」から「教授１７、准教授１３、講師１」に変更。
・講師の辞任により、「コミュニティデザイン学実践プロジェクト」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「農村地理学」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の教授昇任、講師の辞任により、「農業・農村経済学特別演習」、「農業・農村経済学特別研究」の専任教員等の配置を「教授７、准教授７、講師３」から「教授８、准教授６、講師２」に変更。
・准教授の教授昇任により、「農業・農村経済学実践プロジェクト」の専任教員等の配置を「教授４、准教授５」から「教授５、准教授４」に変更。
・助教の新規採用により、「建築学特別演習Ⅰ」、「建築学特別演習Ⅱ」、「建築学特別研究」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」に変更。
・助教の新規採用により、「建築学特別設計」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教２」に変更。
・助教の辞任により、「土木工学特別演習」、「土木工学特別研究」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教３」に変更。
・助教の辞任により、「農業土木学特別演習」、「農業土木学特別研究」の専任教育等の配置を「助教３」から「助教２」に変更。
・准教授の教授昇任、准教授２名の辞任により、「グローバル・エリアスタディーズ特別演習」、「グローバル・エリアスタディーズ特別研究」の専任教員等の配置を「教授１６、准教授１９」から「教授１７、准教授１６」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「多文化教育研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「多文化教育研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「フランス思想・文化研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「フランス思想・文化研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の辞任、助教の後任補充予定のため、「英語学研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教１」に変更。
・准教授の辞任、助教の後任補充予定のため、「英語学研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「助教１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「音楽創作文化研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「音楽創作文化研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「Comparative Study of Contemporary CulturesⅠ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「Comparative Study of Contemporary CulturesⅡ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・講師の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「古代日本言語文化研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師１」から「兼任・兼担１」に変更。
・講師の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「古代日本言語文化研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授２名の教授昇任、准教授３名の辞任、講師１名の辞任により、「多文化共生学特別演習」、「多文化共生学特別研究」の専任教員等の配置を「教授１９、准教授２５、講師3」から「教授２１、准教授２０、講師２」に変更。
・准教授２名の教授昇任、准教授３名の辞任、講師１名の辞任により、「多文化共生学実践プロジェクト」の専任教員等の配置を「教授１４、准教授１６、講師2」から「教授１６、准教授１１、講師１」に変更。
・准教授のＡＣ教員審査に伴う科目担当不可により、兼任講師の補充予定のため、「生涯発達支援論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「地域環境システム論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の教授昇任、准教授の辞任、講師の辞任により、「地域人間発達支援学特別演習」、「地域人間発達支援学特別研究」の専任教員等の配置を「教授１４、准教授１８、講師２」から「教授１５、准教授１６、講師１」に変更。
・教育効果を高めるため、コミュニティデザイン学プログラムの卒業要件及び履修方法を、「「プログラム専門科目」の「基盤科目」から２単位以上，「社会システムデザイン科目」から２単位以上，「地域資源マネジメント科目」から２単位以上を必ず修得すること。」から「「プログラム専門科目」の「基盤科目」から２単位以上，「社会システムデザイン科目」から２単位以上，「地域資源マネジメント科目」及び農業・農村経済学プログラムの「プログラム専門科目」の「基盤科目」農村社会学（１単位）から２単位以上を必ず修得すること。」に変更。

（注）・　２（１）－①　授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２）　授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
4 科目	295 科目	0 科目	299 科目	4 科目 [ ]	296 科目 [1]	0 科目 [ ]	300 科目 [1]	

（注）・　<u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目（３）と廃止科目（４）の計 / 設置時の計画の授業科目数の計（Ａ） ＝ 0 / 299 ＝ 0 ％

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

２　授業科目の概要

峰キャンパス

＜社会デザイン科学専攻＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー 学際的思考力	地域創生のための社会デザイン&イノベーション	1前	2				2				2
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1								7
	グローカルな視座を養う	1後	1			6	4				
	アカデミックコミュニケーション	2通	2			4	1				4
文系科目群	ソーシャルビジネス論	1前		1			1				
	防災と国際協力Ⅰ	1後		1					1		
	環境問題とガバナンスⅠ	1後		1			1				
	人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1			1				
	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1					1		
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1			1				
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1			1				
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1			1				
	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1		1					
	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1		1					
	日本語論述表現法Ⅰ	1前		1		1					
	アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1		1					
	フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1			1				
	西洋史研究Ⅰ	1前		1		1					
	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1		1					
	ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1			1				
	多文化教育研究Ⅰ	1後		1			1				
	シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1		1					
	日本文化研究Ⅰ	1後		1		1					
	文化人類学研究Ⅰ	1前		1		1					
	英語学研究Ⅰ	1後		1			1				
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1			1				
	西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1			1				
	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1			1				
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1			1				
理系科目群	食品機能科学	1後		1							3
	博物学史	1前		1							2
	文系のためのデータサイエンス	1後		1			1				
実践力	International Political Economy	1前		2							1
	Global Management	1前		2			1				
	Globalization and Society	1後		2		1					
	国際インターンシップ	1･2前･後		2							1
	臨地研究	1･2前･後		2		2					
	小計（37科目）	－	6	38	0	20	20	0	2	0	17

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー 学際的思考力	地域創生のための社会デザイン&イノベーション	1前	2				2				2
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1								7
	グローカルな視座を養う	1後	1			6	3				1
	アカデミックコミュニケーション	2通	2			4	1				4
文系科目群	ソーシャルビジネス論	1前		1			1				
	防災と国際協力Ⅰ	1後		1					1		
	環境問題とガバナンスⅠ	1後		1			1				
	人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1			1				
	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1					1		
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1			1				
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1			1				
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1			1				
	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1		1					
	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1		1					
	日本語論述表現法Ⅰ	1前		1		1					
	アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1		1					
	フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1							1
	西洋史研究Ⅰ	1前		1		1					
	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1		1					
	ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1			1				
	多文化教育研究Ⅰ	1後		1		1					
	シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1		1					
	日本文化研究Ⅰ	1後		1		1					
	文化人類学研究Ⅰ	1前		1		1					
	英語学研究Ⅰ	1後		1					1		
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1			1				
	西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1			1				
	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1			1				
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1			1				
理系科目群	食品機能科学	1後		1							3
	博物学史	1前		1							2
	文系のためのデータサイエンス	1後		1			1				
実践力	International Political Economy	1前		2							1
	Global Management	1前		2			1				
	Globalization and Society	1後		2		1					
	国際インターンシップ	1･2前･後		2							1
	臨地研究	1･2前･後		2		2					
	小計（37科目）	－	6	38	0	21	16	0	3	0	19

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
境界・学際領域科目	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す	1･2前		1		1	1				
	Communication Skills for Engineers	1前		1			1				
	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1前		1		3	1				
	共生社会論	1前		2		1					
	地域人間発達支援の実際と課題	1前		1		4	3				
	小計（5科目）	－	0	6	0	9	6	0	0	0	0
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	住環境・まちづくり論	1前		1		1					
社会システムデザイン科目	地域スポーツ行政論	2後		1		1					
地域資源マネジメント科目	地域活動の心理学	2前		1			1				
	デザインと地域	2前		1		1					
	合奏による参加型デザイン	1後		1			1				
	コミュニティデザイン学特別演習	1～2通		4		10	8				
	コミュニティデザイン学特別研究	1～2通		6		10	8				
	コミュニティデザイン学実践プロジェクト	1～2通		6		3	2				
	小計（８科目）	－	0	21	0	10	8	0	0	0	0
農業・農村経済学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	農業・農村経済学	1前		1		1	1				
	農政学	1前		1		1					
	農業生産組織論	1前		1		1					
	農業・農村史	1後		1		1					
	農村社会学	1後		1				1			
	アグリビジネス論	2前		1		1					
	農村地理学	1前		1			1				
応用科目	マーケティング論	1前		1							1
	ソーシャルビジネス論	1前		1			1				
	統計分析論	1後		1			1				
	環境経済学	2前		1			1				
	フードシステム学	1後		1			1				
	農業・農村経済学特別演習	1～2通		4		4	7	1			
	農業・農村経済学特別研究	1～2通		6		4	7	1			
	農業・農村経済学実践プロジェクト	1～2通		6		4	5	1			
	小計（15科目）	－	0	28	0	4	7	1	0	0	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
境界・学際領域科目	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す	1･2前		1		1	1				
	Communication Skills for Engineers	1前		1			1				
	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1前		1		3	1				
	共生社会論	1前		2		1					
	地域人間発達支援の実際と課題	1前		1		4	3				
	小計（5科目）	－	0	6	0	9	6	0	0	0	0
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	住環境・まちづくり論	1前		1		1					
社会システムデザイン科目	地域スポーツ行政論	2後		1		1					
地域資源マネジメント科目	地域活動の心理学	2前		1			1				
	デザインと地域	2前		1		1					
	合奏による参加型デザイン	1後		1			1				
	コミュニティデザイン学特別演習	1～2通		4		11	7				
	コミュニティデザイン学特別研究	1～2通		6		11	7				
	コミュニティデザイン学実践プロジェクト	1～2通		6		3	2				
	小計（８科目）	－	0	22	0	11	7	1	0	0	0
農業・農村経済学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	農業・農村経済学	1前		1		1	1				
	農政学	1前		1		1					
	農業生産組織論	1前		1		1					
	農業・農村史	1後		1		1					
	農村社会学	1後		1				1			
	アグリビジネス論	2前		1		1					
	農村地理学	1前		1		1					
応用科目	マーケティング論	1前		1							1
	ソーシャルビジネス論	1前		1			1				
	統計分析論	1後		1			1				
	環境経済学	2前		1			1				
	フードシステム学	1後		1			1				
	農業・農村経済学特別演習	1～2通		4		5	6	1			
	農業・農村経済学特別研究	1～2通		6		5	6	1			
	農業・農村経済学実践プロジェクト	1～2通		6		5	4	1			
	小計（15科目）	－	0	28	0	5	6	1	0	0	1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
建築学プログラム	プログラム専門科目	建築学特別演習Ⅰ	1通		2		1					
		建築学特別演習Ⅱ	2通		2		1					
		建築学特別研究	1～2通		6		1					
		小計（3科目）	－	0	10	0	1	0	0	0	0	0
土木工学プログラム	プログラム専門科目	土木工学特別演習	1～2通		4		1	3				
		土木工学特別研究	1～2通		6		1	3				
		小計（2科目）	－	0	10	0	1	3	0	0	0	0
農業土木学プログラム	プログラム専門科目	環境数理A	1前		1			1				
		環境数理B	1前		1		1					
		土壌環境物理学A	1前		1			1				
		土壌環境物理学B	1前		1			1				
		農地保全学	1後		1			1				
		農業水利学	1後		1		1					
		応用田園生態工学A	1後		1			1				
		応用田園生態工学B	1後		1			1				
		地域マネジメントA	1前		1			1				
		地域マネジメントB	1前		1			1				
		農業農村開発と技術協力	1前		1			1				
		農業土木学特別演習	1～2通		4		1	5				
		農業土木学特別研究	1～2通		6		1	5				
		小計（13科目）	－	0	21	0	1	5	0	0	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
建築学プログラム	プログラム専門科目	建築学特別演習Ⅰ	1通		2		1					
		建築学特別演習Ⅱ	2通		2		1					
		建築学特別研究	1～2通		6		1					
		小計（3科目）	－	0	10	0	1	0	0	0	0	0
土木工学プログラム	プログラム専門科目	土木工学特別演習	1～2通		4		1	3				
		土木工学特別研究	1～2通		6		1	3				
		小計（2科目）	－	0	10	0	1	3	0	0	0	0
農業土木学プログラム	プログラム専門科目	環境数理A	1前		1			1				
		環境数理B	1前		1		1					
		土壌環境物理学A	1前		1			1				
		土壌環境物理学B	1前		1			1				
		農地保全学	1後		1			1				
		農業水利学	1後		1		1					
		応用田園生態工学A	1後		1			1				
		応用田園生態工学B	1後		1			1				
		地域マネジメントA	1前		1			1				
		地域マネジメントB	1前		1			1				
		農業農村開発と技術協力	1前		1			1				
		農業土木学特別演習	1～2通		4		1	5				
		農業土木学特別研究	1～2通		6		1	5				
		小計（13科目）	－	0	21	0	1	5	0	0	0	0

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
グローバル・エリアスタディーズプログラム	プログラム専門科目	基盤科目	貧困問題と国際協力Ⅰ	1前		1		1					
			防災と国際協力Ⅰ	1後		1					1		
			環境問題とガバナンスⅠ	1後		1			1				
			情報ネットワークと技術Ⅰ	1後		1		1					
			人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1			1				
			国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1					1		
			Globalization and Project Management Ⅰ	1後		1			1				
			グローバル教育と開発教育Ⅰ	1後		1		1					
			国際NPO起業とその実践Ⅰ	1前		1		1					2
		グローバル・スタディーズ科目	貧困問題と国際協力Ⅱ	1前		1		1					
			防災と国際協力Ⅱ	1後		1					1		
			環境問題とガバナンスⅡ	1後		1			1				
			情報ネットワークと技術Ⅱ	1後		1		1					
			人間の安全保障と国連Ⅱ	1前		1			1				
			国際人権保障と平和構築Ⅱ	1後		1					1		
			Globalization and Project Management Ⅱ	1後		1			1				
			グローバル教育と開発教育Ⅱ	1後		1		1					
			国際NPO起業とその実践Ⅱ	1前		1		1					1
		エリアスタディーズ科目	タイの開発と地域社会Ⅰ	1後		1		1					
			タイの開発と地域社会Ⅱ	1後		1		1					
			東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1			1				
			東アジアの国際政治と歴史Ⅱ	1前		1			1				
			東アジアの歴史と文化Ⅰ	1前		1		1					
			東アジアの歴史と文化Ⅱ	1前		1		1					
			日本の自然と地域生活Ⅰ	1前		1			1				
			日本の自然と地域生活Ⅱ	1前		1			1				
			アメリカの経済と金融Ⅰ	1後		1		1					
			アメリカの経済と金融Ⅱ	1後		1		1					
			ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1			1				
			ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ	1後		1			1				
			中東地域の政治と社会Ⅰ	1後		1			1				
			中東地域の政治と社会Ⅱ	1後		1			1				
			東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1			1				
			東アフリカの社会開発と文化Ⅱ	1前		1			1				
			特別臨地研究Ⅰ	1·2 前·後		2		1	1				
			特別臨地研究Ⅱ	1·2 前·後		2		1	1				
			グローバル・エリアスタディーズ特別演習	1～2通		4		16	18	2	2		
			グローバル・エリアスタディーズ特別研究	1～2通		6		16	18	2	2		
			グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト	1～2通		6		6	8		2		
			小計（39科目）	－	0	54	0	16	18	2	2	0	3

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
グローバル・エリアスタディーズプログラム	プログラム専門科目	基盤科目	貧困問題と国際協力Ⅰ	1前		1		1					
			防災と国際協力Ⅰ	1後		1					1		
			環境問題とガバナンスⅠ	1後		1			1				
			情報ネットワークと技術Ⅰ	1後		1		1					
			人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1			1				
			国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1					1		
			Globalization and Project Management Ⅰ	1後		1			1				
			グローバル教育と開発教育Ⅰ	1後		1		1					
			国際NPO起業とその実践Ⅰ	1前		1		1					2
		グローバル・スタディーズ科目	貧困問題と国際協力Ⅱ	1前		1		1					
			防災と国際協力Ⅱ	1後		1					1		
			環境問題とガバナンスⅡ	1後		1			1				
			情報ネットワークと技術Ⅱ	1後		1		1					
			人間の安全保障と国連Ⅱ	1前		1			1				
			国際人権保障と平和構築Ⅱ	1後		1					1		
			Globalization and Project Management Ⅱ	1後		1			1				
			グローバル教育と開発教育Ⅱ	1後		1		1					
			国際NPO起業とその実践Ⅱ	1前		1		1					1
		エリアスタディーズ科目	タイの開発と地域社会Ⅰ	1後		1		1					
			タイの開発と地域社会Ⅱ	1後		1		1					
			東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1			1				
			東アジアの国際政治と歴史Ⅱ	1前		1			1				
			東アジアの歴史と文化Ⅰ	1前		1		1					
			東アジアの歴史と文化Ⅱ	1前		1		1					
			日本の自然と地域生活Ⅰ	1前		1			1				
			日本の自然と地域生活Ⅱ	1前		1			1				
			アメリカの経済と金融Ⅰ	1後		1		1					
			アメリカの経済と金融Ⅱ	1後		1		1					
			ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1			1				
			ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ	1後		1			1				
			中東地域の政治と社会Ⅰ	1後		1			1				
			中東地域の政治と社会Ⅱ	1後		1			1				
			東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1			1				
			東アフリカの社会開発と文化Ⅱ	1前		1			1				
			特別臨地研究Ⅰ	1·2 前·後		2		1	1				
			特別臨地研究Ⅱ	1·2 前·後		2		1	1				
			グローバル・エリアスタディーズ特別演習	1～2通		4		17	15	2	2		
			グローバル・エリアスタディーズ特別研究	1～2通		6		17	15	2	2		
			グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト	1～2通		6		6	8		2		
			小計（39科目）	－	0	54	0	17	15	2	2	0	3

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
多文化共生学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	現代英語研究Ⅰ	1前		1		1					
			感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1		1					
			日本表象文化研究Ⅰ	1前		1		1					
			グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1		1					
			日本語論述表現法Ⅰ	1前		1		1					
			多文化教育研究Ⅰ	1後		1			1				
		応用科目	現代英語研究Ⅱ	1後		1		1					
			感情コミュニケーションと社会的共生Ⅱ	1後		1		1					
			日本表象文化研究Ⅱ	1前		1		1					
			グローバル化と国際的な人の移動Ⅱ	1前		1		1					
			日本語論述表現法Ⅱ	1前		1		1					
			多文化教育研究Ⅱ	1後		1			1				
			国際交流と日本語教育Ⅰ	1前		1		1					
			国際交流と日本語教育Ⅱ	1前		1		1					
			アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			アメリカ文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			イギリス文化研究Ⅰ	2前		1			1				
			イギリス文化研究Ⅱ	2前		1			1				
			フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1			1				
			フランス思想・文化研究Ⅱ	1後		1			1				
			西洋史研究Ⅰ	1前		1		1					
			西洋史研究Ⅱ	1前		1		1					
			性と人権論Ⅰ	1前		1			1				
			性と人権論Ⅱ	1前		1			1				
			東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1		1					
			東アジア比較文学比較文化研究Ⅱ	1前		1		1					
			人権と法Ⅰ	1後		1			1				
			人権と法Ⅱ	1後		1			1				
			ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1			1				
			ジェンダーとアイデンティティⅡ	1後		1			1				
			シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1		1					
			シティズンシップ教育Ⅱ	1後		1		1					
			日本文学研究Ⅰ	1前		1		1					
			日本文学研究Ⅱ	1前		1		1					
			日本文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			日本文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			文化人類学研究Ⅰ	1前		1		1					
			文化人類学研究Ⅱ	1前		1		1					
			言語普遍性と英文法研究Ⅰ	2前		1		1					
			言語普遍性と英文法研究Ⅱ	2前		1		1					
			英語音声学Ⅰ	1後		1		1					
			英語音声学Ⅱ	1後		1		1					
			英語学研究Ⅰ	1後		1			1				
			英語学研究Ⅱ	1後		1			1				
			植民地教育史Ⅰ	1後		1			1				
			植民地教育史Ⅱ	1後		1			1				
			外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1			1				
			外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1後		1			1				
			芸術学研究Ⅰ	1後		1			1				
			芸術学研究Ⅱ	1後		1			1				
			音楽創作文化研究Ⅰ	1後		1			1				
			音楽創作文化研究Ⅱ	1後		1			1				
			西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1			1				
			西洋近現代哲学研究Ⅱ	1前		1			1				
			日本史研究Ⅰ	1後		1			1				
			日本史研究Ⅱ	1後		1			1				
			日本語教育学研究Ⅰ	1前		1			1				
			日本語教育学研究Ⅱ	1前		1			1				
			ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ	2前		1			1				
			ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ	2前		1			1				

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
多文化共生学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	現代英語研究Ⅰ	1前		1		1					
			感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1		1					
			日本表象文化研究Ⅰ	1前		1		1					
			グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1		1					
			日本語論述表現法Ⅰ	1前		1		1					
			多文化教育研究Ⅰ	1後		1		1					
		応用科目	現代英語研究Ⅱ	1後		1		1					
			感情コミュニケーションと社会的共生Ⅱ	1後		1		1					
			日本表象文化研究Ⅱ	1前		1		1					
			グローバル化と国際的な人の移動Ⅱ	1前		1		1					
			日本語論述表現法Ⅱ	1前		1		1					
			多文化教育研究Ⅱ	1後		1		1					
			国際交流と日本語教育Ⅰ	1前		1		1					
			国際交流と日本語教育Ⅱ	1前		1		1					
			アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			アメリカ文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			イギリス文化研究Ⅰ	2前		1			1				
			イギリス文化研究Ⅱ	2前		1			1				
			フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1							1
			フランス思想・文化研究Ⅱ	1後		1							1
			西洋史研究Ⅰ	1前		1		1					
			西洋史研究Ⅱ	1前		1		1					
			性と人権論Ⅰ	1前		1			1				
			性と人権論Ⅱ	1前		1			1				
			東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1		1					
			東アジア比較文学比較文化研究Ⅱ	1前		1		1					
			人権と法Ⅰ	1後		1			1				
			人権と法Ⅱ	1後		1			1				
			ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1			1				
			ジェンダーとアイデンティティⅡ	1後		1			1				
			シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1		1					
			シティズンシップ教育Ⅱ	1後		1		1					
			日本文学研究Ⅰ	1前		1		1					
			日本文学研究Ⅱ	1前		1		1					
			日本文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			日本文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			文化人類学研究Ⅰ	1前		1		1					
			文化人類学研究Ⅱ	1前		1		1					
			言語普遍性と英文法研究Ⅰ	2前		1		1					
			言語普遍性と英文法研究Ⅱ	2前		1		1					
			英語音声学Ⅰ	1後		1		1					
			英語音声学Ⅱ	1後		1		1					
			英語学研究Ⅰ	1後		1					1		
			英語学研究Ⅱ	1後		1					1		
			植民地教育史Ⅰ	1後		1			1				
			植民地教育史Ⅱ	1後		1			1				
			外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1			1				
			外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1後		1			1				
			芸術学研究Ⅰ	1後		1			1				
			芸術学研究Ⅱ	1後		1			1				
			音楽創作文化研究Ⅰ	1後		1		1					
			音楽創作文化研究Ⅱ	1後		1		1					
			西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1			1				
			西洋近現代哲学研究Ⅱ	1前		1			1				
			日本史研究Ⅰ	1後		1			1				
			日本史研究Ⅱ	1後		1			1				
			日本語教育学研究Ⅰ	1前		1			1				
			日本語教育学研究Ⅱ	1前		1			1				
			ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ	2前		1			1				
			ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ	2前		1			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
多文化共生学プログラム プログラム専門科目 応用科目	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1			1				
	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅱ	1前		1			1				
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1			1				
	日本語史と日本語研究Ⅱ	1後		1			1				
	古代日本言語文化研究Ⅰ	1後		1				1			
	古代日本言語文化研究Ⅱ	1後		1				1			
	グローバル時代の学校教育Ⅰ	2前		1				1			
	グローバル時代の学校教育Ⅱ	2前		1				1			
	多文化共生学特別演習	1～2通		4		18	24	3	1		
	多文化共生学特別研究	1～2通		6		18	24	3	1		
	多文化共生学実践プロジェクト	1～2通		6		14	16	2			
	小計（71科目）	−	0	84	0	18	24	3	1	0	0
地域人間発達支援学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	人間発達支援方法論	1前		2			1				
	社会的思考支援論	1後		2			1				
	生涯発達支援論	1前		2			1				
	共に生きるかたちの心理学特論	1後		2			1				
	ヘルスプロモーション特論	1後		2							1
	生活環境創造支援論	1前		2		3	1				
	地域アートマネジメント（美術）	1前		2			1				
	地域アートマネジメント（音楽）	1後		2				1			
応用科目	認知心理的支援論	1後		2					1		
	遊びと感情の社会学特論	1･2前		2			1				
	地域環境システム論	1･2後		2			1				
	衣環境学特論	1･2前		2		1					
	生活経営支援論	1･2後		2		1					
	消費者教育支援論	1･2後		2		1					
	健康管理支援論	1･2後		2		1					
	身体科学特論	1･2前		1		1					
	運動発達特論	1･2前		2		1					
	身体運動学演習	1･2後		1		1					
	スポーツ指導支援論	1･2後		1		1					
	生涯身体発達支援論	1･2前		2							1
	情報コミュニケーション演習	1･2前		2			1				
	情報科学技術特論	1･2後		2			1				
	科学コミュニケーション演習	1･2後		2							1
	造形表現支援演習	1･2後		2		1					
	平面表現技法分析論	1･2後		2			1				
	地域デザインプロジェクト	1後		2		1					
	舞台芸術分析論	1･2後		2		1					
	音声デザイン支援論	1･2前		2		1					
	サウンド･コラボレーション	1･2前		2				1			
	外国語コミュニケーション演習	1･2後		2							1
	論理表現コミュニケーション演習	1･2後		2							1
	地域人間発達支援学特別演習	1～2通		4		13	16	2			
	地域人間発達支援学特別研究	1～2通		6		13	16	2			
	地域人間発達支援学実践プロジェクト	1～2通		6		4	2	1			
	小計（34科目）	−	0	75	0	14	17	2	1	0	5
合計（227科目）		−	6	347	0	36	44	4	3	0	26

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
多文化共生学プログラム プログラム専門科目 応用科目	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1							1
	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅱ	1前		1							1
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1			1				
	日本語史と日本語研究Ⅱ	1後		1			1				
	古代日本言語文化研究Ⅰ	1後		1							1
	古代日本言語文化研究Ⅱ	1後		1							1
	グローバル時代の学校教育Ⅰ	2前		1				1			
	グローバル時代の学校教育Ⅱ	2前		1				1			
	多文化共生学特別演習	1～2通		4		20	19	2	1		
	多文化共生学特別研究	1～2通		6		20	19	2	1		
	多文化共生学実践プロジェクト	1～2通		6		16	11	1			
	小計（71科目）	−	0	84	0	20	19	2	2	0	3
地域人間発達支援学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	人間発達支援方法論	1前		2			1				
	社会的思考支援論	1後		2			1				
	生涯発達支援論	1前		2							1
	共に生きるかたちの心理学特論	1後		2			1				
	ヘルスプロモーション特論	1後		2							1
	生活環境創造支援論	1前		2		3	1				
	地域アートマネジメント（美術）	1前		2			1				
	地域アートマネジメント（音楽）	1後		2				1			
応用科目	認知心理的支援論	1後		2					1		
	遊びと感情の社会学特論	1･2前		2			1				
	地域環境システム論	1･2後		2		1					
	衣環境学特論	1･2前		2		1					
	生活経営支援論	1･2後		2		1					
	消費者教育支援論	1･2後		2		1					
	健康管理支援論	1･2後		2		1					
	身体科学特論	1･2前		1		1					
	運動発達特論	1･2前		2		1					
	身体運動学演習	1･2後		1		1					
	スポーツ指導支援論	1･2後		1		1					
	生涯身体発達支援論	1･2前		2							1
	情報コミュニケーション演習	1･2前		2			1				
	情報科学技術特論	1･2後		2			1				
	科学コミュニケーション演習	1･2後		2							1
	造形表現支援演習	1･2後		2		1					
	平面表現技法分析論	1･2後		2			1				
	地域デザインプロジェクト	1後		2		1					
	舞台芸術分析論	1･2後		2		1					
	音声デザイン支援論	1･2前		2		1					
	サウンド･コラボレーション	1･2前		2				1			
	外国語コミュニケーション演習	1･2後		2							1
	論理表現コミュニケーション演習	1･2後		2							1
	地域人間発達支援学特別演習	1～2通		4		14	14	1			
	地域人間発達支援学特別研究	1～2通		6		14	14	1			
	地域人間発達支援学実践プロジェクト	1～2通		6		4	2	1			
	小計（34科目）	−	0	75	0	15	15	1	1	0	6
合計（227科目）		−	6	347	0	39	38	3	4	0	30

卒業要件及び履修方法	卒業要件及び履修方法
修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目（「特別演習」「特別研究」並びに「特別研究」に代えて履修する科目等を含む）から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文（又は，修士論文に代わる特定課題等）の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。	修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目（「特別演習」「特別研究」並びに「特別研究」に代えて履修する科目等を含む）から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文（又は，修士論文に代わる特定課題等）の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。
コミュニティデザイン学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「社会システムデザイン科目」から2単位以上，「地域資源マネジメント科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別演習（4単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別研究（6単位）又はコミュニティデザイン学実践プロジェクト（6単位）のいずれかを必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	コミュニティデザイン学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「社会システムデザイン科目」から2単位以上，「地域資源マネジメント科目」**及び農業・農村経済学プログラムの「プログラム専門科目」の「基盤科目」農村社会学（1単位）**から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別演習（4単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別研究（6単位）又はコミュニティデザイン学実践プロジェクト（6単位）のいずれかを必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。
農業・農村経済学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から3単位以上，「応用科目」から3単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農業・農村経済学特別演習（4単位）及び農業・農村経済学特別研究（6単位）又は農業・農村経済学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	農業・農村経済学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から3単位以上，「応用科目」から3単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農業・農村経済学特別演習（4単位）及び農業・農村経済学特別研究（6単位）又は農業・農村経済学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。
建築学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位）及び建築学特別研究（6単位）又は建築学特別設計（6単位））を含み17単位以上を必ず修得すること。	建築学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位）及び建築学特別研究（6単位）又は建築学特別設計（6単位））を含み17単位以上を必ず修得すること。
土木工学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位），建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	土木工学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位），建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。
農業土木学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位），建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	農業土木学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位），建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。
グローバル・エリアスタディーズプログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」のグローバル・エリアスタディーズ総合講義（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「グローバル・スタディーズ科目」から2単位以上，「エリアスタディーズ科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ特別演習（4単位）及びグローバル・エリアスタディーズ特別研究（6単位）又はグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を選択する場合は，「プログラム専門科目」の特別臨地研究Ⅰ（2単位）又は特別臨地研究Ⅱ（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。	グローバル・エリアスタディーズプログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」のグローバル・エリアスタディーズ総合講義（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「グローバル・スタディーズ科目」から2単位以上，「エリアスタディーズ科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ特別演習（4単位）及びグローバル・エリアスタディーズ特別研究（6単位）又はグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を選択する場合は，「プログラム専門科目」の特別臨地研究Ⅰ（2単位）又は特別臨地研究Ⅱ（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。

多文化共生学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の共生社会論（2単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の多文化共生学特別演習（4単位）及び多文化共生学特別研究（6単位）又は多文化共生学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 地域人間発達支援学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域人間発達支援の実際と課題（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の地域人間発達支援学特別演習（4単位）及び地域人間発達支援学特別研究（6単位）又は地域人間発達支援学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	多文化共生学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の共生社会論（2単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の多文化共生学特別演習（4単位）及び多文化共生学特別研究（6単位）又は多文化共生学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 地域人間発達支援学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域人間発達支援の実際と課題（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の地域人間発達支援学特別演習（4単位）及び地域人間発達支援学特別研究（6単位）又は地域人間発達支援学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・准教授辞任による兼任教員への変更により、「グローカルな視座を養う」の専任教員等の配置を「准教授４」から「准教授３」に変更し、「兼任・兼担０」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の教授昇任により、「コミュニティデザイン学特別演習」、「コミュニティデザイン学特別研究」の専任教員等の配置を「教授１０、准教授８」から「教授１１、准教授７」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「農村地理学」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「農業・農村経済学特別演習」、「農業・農村経済学特別研究」の専任教員等の配置を「教授４、准教授７」から「教授５、准教授６」に変更。
・准教授の教授昇任により、「農業・農村経済学実践プロジェクト」の専任教員等の配置を「教授４、准教授５」から「教授５、准教授４」に変更。
・准教授の教授昇任、准教授２名の辞任により、「グローバル・エリアスタディーズ特別演習」、「グローバル・エリアスタディーズ特別研究」の専任教員等の配置を「教授１６、准教授１８」から「教授１７、准教授１５」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「多文化教育研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「多文化教育研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「フランス思想・文化研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「フランス思想・文化研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の辞任、助教の後任補充予定のため、「英語学研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「助教１」に変更。
・准教授の辞任、助教の後任補充予定のため、「英語学研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「助教１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「音楽創作文化研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「音楽創作文化研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「Comparative Study of Contemporary CulturesⅠ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「Comparative Study of Contemporary CulturesⅡ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・講師の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「古代日本言語文化研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師１」から「兼任・兼担１」に変更。
・講師の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「古代日本言語文化研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授２名の教授昇任、准教授３名の辞任、講師１名の辞任により、「多文化共生学特別演習」、「多文化共生学特別研究」の専任教員等の配置を「教授１８、准教授２４、講師３」から「教授２０、准教授１９、講師２」に変更。
・准教授２名の教授昇任、准教授３名の辞任、講師１名の辞任により、「多文化共生学実践プロジェクト」の専任教員等の配置を「教授１４、准教授１６、講師２」から「教授１６、准教授１１、講師１」に変更。
・准教授のＡＣ教員審査に伴う科目担当不可により、兼任講師の補充予定のため、「生涯発達支援論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
・准教授の教授昇任に伴い、「地域環境システム論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・准教授の教授昇任、准教授の辞任、講師の辞任により、「地域人間発達支援学特別演習」、「地域人間発達支援学特別研究」の専任教員等の配置を「教授１３、准教授１６、講師２」から「教授１４、准教授１４、講師１」に変更。
・教育効果を高めるため、コミュニティデザイン学プログラムの卒業要件及び履修方法を、「「プログラム専門科目」の「基盤科目」から２単位以上，「社会システムデザイン科目」から２単位以上，「地域資源マネジメント科目」から２単位以上を必ず修得すること。」から「「プログラム専門科目」の「基盤科目」から２単位以上，「社会システムデザイン科目」から２単位以上，「地域資源マネジメント科目」及び農業・農村経済学プログラムの「プログラム専門科目」の「基盤科目」農村社会学（１単位）から２単位以上を必ず修得すること。」に変更。

（注）・　２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
4 科目	223 科目	0 科目	227 科目	4 科目 [ ]	223 科目 [ ]	0 科目 [ ]	227 科目 [ ]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{227} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

２　授業科目の概要

陽東キャンパス

＜社会デザイン科学専攻＞

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー 学際的思考力	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2			1	2				2
	アカデミックコミュニケーション	2通	2			1	2				4
地域創生リテラシー 学際的思考力 文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1							1
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		1					
	観光地理学研究	1後		1				1			
	技術日本語	1前		1							1
地域創生リテラシー 学際的思考力 理系科目群	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門	1後		1							8
	社会現象の数理	1後		1			1				
	メカニカル・エンジニアリング	1後		1							6
	情報電気電子システム工学概論	1前		1							5
地域創生リテラシー 実践力	実践インターンシップ	1･2 前･後		2							3
	実践フィールドワーク	1･2 前･後		2		1					
	創成工学プロジェクト演習	1前		2							3
	小計（13科目）	－	4	14	0	4	5	1	0	0	30
境界・学際領域科目	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す	1･2前		1		2					
	地域デザイン工学プロジェクト	1･2前		1		1	4				
	地域デザイン工学インターンシップ	1･2前･後		1			2				
	小計（7科目）	－	0	3	0	3	4	0	0	0	0
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	政策形成と協働	1後		1		1					
	コミュニティ政策論	1前		1			1				
	自然共生デザイン論	1前		1		1					
	福祉経営論	1前		1				1			
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 社会システムデザイン科目	政策分析とガバナンス	1後		1			1				
	まちをつくる経済評価の技法	1後		1			1				
	経済政策論	1後		1		1					
	福祉会話分析	2前		1			1				
	地域社会教育論	1後		1			1				
	地域住民の意識・行動の調査法	1後		1			1				
	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 地域資源マネジメント科目	生活文化デザイン論	1前		1		1					
	地域食生活論	2前		1		1					
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		1					
	観光地理学研究	1後		1				1			
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目	コミュニティデザイン学特別演習	1～2通		4		6	6	2			
	コミュニティデザイン学特別研究	1～2通		6		6	6	2			
	コミュニティデザイン学実践プロジェクト	1～2通		6		6	6	2			
	小計（17科目）	－	0	30	0	6	6	2	0	0	0

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー 学際的思考力	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2			1	2				2
	アカデミックコミュニケーション	2通	2			1	2				4
地域創生リテラシー 学際的思考力 文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1							1
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		1					
	観光地理学研究	1後		1				1			
	技術日本語	1前		1							1
地域創生リテラシー 学際的思考力 理系科目群	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門	1後		1							8
	社会現象の数理	1後		1			1				
	メカニカル・エンジニアリング	1後		1							6
	情報電気電子システム工学概論	1前		1							5
地域創生リテラシー 実践力	実践インターンシップ	1･2 前･後		2							3
	実践フィールドワーク	1･2 前･後		2		1					
	創成工学プロジェクト演習	1前		2							3
	小計（13科目）	－	4	14	0	4	5	1	0	0	30
境界・学際領域科目	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す	1･2前		1		2					
	地域デザイン工学プロジェクト	1･2前		1		1	4		1		
	地域デザイン工学インターンシップ	1･2前･後		1			2				
	小計（7科目）	－	0	3	0	3	4	0	1	0	0
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 基盤科目	政策形成と協働	1後		1		1					
	コミュニティ政策論	1前		1			1				
	自然共生デザイン論	1前		1		1					
	福祉経営論	1前		1							1
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 社会システムデザイン科目	政策分析とガバナンス	1後		1			1				
	まちをつくる経済評価の技法	1後		1			1				
	経済政策論	1後		1		1					
	福祉会話分析	2前		1			1				
	地域社会教育論	1後		1			1				
	地域住民の意識・行動の調査法	1後		1			1				
	都市と地域の社会学	**1前**		1							1
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目 地域資源マネジメント科目	生活文化デザイン論	1前		1		1					
	地域食生活論	2前		1		1					
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		1					
	観光地理学研究	1後		1				1			
コミュニティデザイン学プログラム プログラム専門科目	コミュニティデザイン学特別演習	1～2通		4		6	6	1			
	コミュニティデザイン学特別研究	1～2通		6		6	6	1			
	コミュニティデザイン学実践プロジェクト	1～2通		6		6	6	1			
	小計（18科目）	－	0	31	0	6	6	1	0	0	2

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
農業・農村経済学プログラム	プログラム専門科目	農業・農村経済学特別演習	1～2通		4		3		2			
		農業・農村経済学特別研究	1～2通		6		3		2			
		小計（２科目）	－	0	10	0	3	0	2	0	0	0
建築学プログラム	プログラム専門科目	建築構造学特論A	1前		1		1					
		建築構造学特論B	1前		1		1					
		建築耐震設計特論A	1前		1			1				
		建築耐震設計特論B	1前		1			1				
		建築構造解析特論A	1後		1			1				
		建築構造解析特論B	1後		1			1				
		建築構造材料特論A	1･2後		1		1					
		建築構造材料特論B	1･2後		1		1					
		木造建築特論A	1･2後		1		1					
		木造建築特論B	1･2後		1		1					
		既存建築物分析学特論A	1･2前		1			1				
		既存建築物分析学特論B	1･2前		1			1				
		エコロジカル建築特論A	1･2後		1		1					
		エコロジカル建築特論B	1･2後		1		1					
		環境設備特論A	1･2前		1		1					
		環境設備特論B	1･2前		1		1					
		建築設計特論A	1･2前		1			1				
		建築設計特論B	1･2前		1			1				
		建築計画特論A	1･2前		1			1				
		建築計画特論B	1･2前		1			1				
		都市解析特論A	1･2前		1			1				
		都市解析特論B	1･2前		1			1				
		建築インターンシップⅠ	1･2前･後		1			2				
		建築インターンシップⅡ	1･2前･後		2			2				
		建築インターンシップⅢ	1･2前･後		3			2				
		建築インターンシップⅣ	1･2前･後		2			2				
		建築インターンシップⅤ	1･2前･後		2			2				
		建築インターンシップⅥ	1･2前･後		2			2				
		建築設計演習Ⅰ	1･2前･後		2			3		1		
		建築設計演習Ⅱ	1･2前･後		2			3		1		
		建築学特別演習Ⅰ	1通		2		7	9		3		
		建築学特別演習Ⅱ	2通		2		7	9		3		
		建築学特別研究	1～2通		6		7	9		3		
		建築学特別設計	1～2通		6			3		1		
		小計（34科目）	－	0	54	0	7	9	0	3	0	0
土木工学プログラム	プログラム専門科目	橋梁工学特論	1後		1			1				
		耐震工学特論	1後		1			1				
		岩盤力学特論	1前		1			1				
		地盤力学特論	1前		1			1				
		土木材料学特論	1後		1		1					
		エコマテリアル工学特論	1後		1			1				
		河川工学特論	1前		1		1					
		海岸工学特論	1後		1					1		
		水圏環境工学特論	1前		1		1					
		地圏環境工学特論	1後		1			2				
		都市計画特論	1前		1		1					
		都市交通特論	2前		1		1					
		防災マネジメント特論	1前		1			1				
		海外プロジェクト特論	1前		1		1					
		土木工学特別演習	1～2通		4		9	8		4		
		土木工学特別研究	1～2通		6		9	8		4		
		小計（16科目）	－	0	24	0	9	8	0	4	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
農業・農村経済学プログラム	プログラム専門科目	農業・農村経済学特別演習	1～2通		4		3		1			
		農業・農村経済学特別研究	1～2通		6		3		1			
		小計（２科目）	－	0	10	0	3	0	1	0	0	0
建築学プログラム	プログラム専門科目	建築構造学特論A	1前		1		1					
		建築構造学特論B	1前		1		1					
		建築耐震設計特論A	1前		1			1				
		建築耐震設計特論B	1前		1			1				
		建築構造解析特論A	1後		1			1				
		建築構造解析特論B	1後		1			1				
		建築構造材料特論A	1･2後		1		1					
		建築構造材料特論B	1･2後		1		1					
		木造建築特論A	1･2後		1		1					
		木造建築特論B	1･2後		1		1					
		既存建築物分析学特論A	1･2前		1			1				
		既存建築物分析学特論B	1･2前		1			1				
		エコロジカル建築特論A	1･2後		1		1					
		エコロジカル建築特論B	1･2後		1		1					
		環境設備特論A	1･2前		1		1					
		環境設備特論B	1･2前		1		1					
		建築設計特論A	1･2前		1			1				
		建築設計特論B	1･2前		1			1				
		建築計画特論A	1･2前		1			1				
		建築計画特論B	1･2前		1			1				
		都市解析特論A	1･2前		1			1				
		都市解析特論B	1･2前		1			1				
		建築インターンシップⅠ	1･2前･後		1			2				
		建築インターンシップⅡ	1･2前･後		2			2				
		建築インターンシップⅢ	1･2前･後		3			2				
		建築インターンシップⅣ	1･2前･後		2			2				
		建築インターンシップⅤ	1･2前･後		2			2				
		建築インターンシップⅥ	1･2前･後		2			2				
		建築設計演習Ⅰ	1･2前･後		2			3		1		
		建築設計演習Ⅱ	1･2前･後		2			3		1		
		建築学特別演習Ⅰ	1通		2		7	9		4		
		建築学特別演習Ⅱ	2通		2		7	9		4		
		建築学特別研究	1～2通		6		7	9		4		
		建築学特別設計	1～2通		6			3		2		
		小計（34科目）	－	0	54	0	7	9	0	4	0	0
土木工学プログラム	プログラム専門科目	橋梁工学特論	1後		1			1				
		耐震工学特論	1後		1			1				
		岩盤力学特論	1前		1			1				
		地盤力学特論	1前		1			1				
		土木材料学特論	1後		1		1					
		エコマテリアル工学特論	1後		1			1				
		河川工学特論	1前		1		1					
		海岸工学特論	1後		1					1		
		水圏環境工学特論	1前		1		1					
		地圏環境工学特論	1後		1			2				
		都市計画特論	1前		1		1					
		都市交通特論	2前		1		1					
		防災マネジメント特論	1前		1			1				
		海外プロジェクト特論	1前		1		1					
		土木工学特別演習	1～2通		4		9	8		3		
		土木工学特別研究	1～2通		6		9	8		3		
		小計（16科目）	－	0	24	0	9	8	0	3	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
農業土木学プログラム	プログラム専門科目	農業土木学特別演習	1～2通		4		3	5		3		
		農業土木学特別研究	1～2通		6		3	5		3		
		小計（13科目）	－	0	10	0	3	5	0	3	0	0
グローバル・エリアスタディーズプログラム	プログラム専門科目	グローバル・エリアスタディーズ特別演習	1～2通		4			1				
		グローバル・エリアスタディーズ特別研究	1～2通		6			1				
		小計（２科目）	－	0	10	0	0	1	0	0	0	0
多文化共生学プログラム	プログラム専門科目	多文化共生学特別演習	1～2通		4		1	1				
		多文化共生学特別研究	1～2通		6		1	1				
		小計（2科目）	－		10		1	1	0	0	0	0
地域人間発達支援学プログラム	プログラム専門科目	地域人間発達支援学特別演習	1～2通		4		1	2				
		地域人間発達支援学特別研究	1～2通		6		1	2				
		小計（２科目）	－	0	10	0	1	2	0	0	0	0
合計（95科目）			－	4	175	0	17	16	2	6	0	24

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
農業土木学プログラム	プログラム専門科目	農業土木学特別演習	1～2通		4		3	5		2		
		農業土木学特別研究	1～2通		6		3	5		2		
		小計（13科目）	－	0	10	0	3	5	0	2	0	0
グローバル・エリアスタディーズプログラム	プログラム専門科目	グローバル・エリアスタディーズ特別演習	1～2通		4			1				
		グローバル・エリアスタディーズ特別研究	1～2通		6			1				
		小計（２科目）	－	0	10	0	0	1	0	0	0	0
多文化共生学プログラム	プログラム専門科目	多文化共生学特別演習	1～2通		4		1	1				
		多文化共生学特別研究	1～2通		6		1	1				
		小計（2科目）	－		10		1	1	0	0	0	0
地域人間発達支援学プログラム	プログラム専門科目	地域人間発達支援学特別演習	1～2通		4		1	2				
		地域人間発達支援学特別研究	1～2通		6		1	2				
		小計（２科目）	－	0	10	0	1	2	0	0	0	
合計（96科目）			－	4	176	0	17	16	1	6	0	26

卒業要件及び履修方法	卒業要件及び履修方法
修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目（「特別演習」「特別研究」並びに「特別研究」に代えて履修する科目等を含む）から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文（又は，修士論文に代わる特定課題等）の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。	修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目（「特別演習」「特別研究」並びに「特別研究」に代えて履修する科目等を含む）から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文（又は，修士論文に代わる特定課題等）の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。
コミュニティデザイン学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「社会システムデザイン科目」から2単位以上，「地域資源マネジメント科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別演習（4単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別研究（6単位）又はコミュニティデザイン学実践プロジェクト（6単位）のいずれかを必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	コミュニティデザイン学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「社会システムデザイン科目」から2単位以上，「地域資源マネジメント科目」**及び農業・農村経済学プログラムの「プログラム専門科目」の「基盤科目」農村社会学（1単位）**から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別演習（4単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別研究（6単位）又はコミュニティデザイン学実践プロジェクト（6単位）のいずれかを必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。
農業・農村経済学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から3単位以上，「応用科目」から3単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農業・農村経済学特別演習（4単位）及び農業・農村経済学特別研究（6単位）又は農業・農村経済学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	農業・農村経済学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から3単位以上，「応用科目」から3単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農業・農村経済学特別演習（4単位）及び農業・農村経済学特別研究（6単位）又は農業・農村経済学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。
建築学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位）及び建築学特別研究（6単位）又は建築学特別設計（6単位））を含み17単位以上を必ず修得すること。	建築学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位）及び建築学特別研究（6単位）又は建築学特別設計（6単位））を含み17単位以上を必ず修得すること。
土木工学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位），建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	土木工学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位），建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目（農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。
農業土木学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位），建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	農業土木学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト（1単位），地域デザイン工学インターンシップ（1単位），Communication Skills for Engineers（1単位），建築学プログラムの「プログラム専門科目（建築学特別演習Ⅰ（2単位），建築学特別演習Ⅱ（2単位），建築学特別研究（6単位）及び建築学特別設計（6単位））を除く。）」又は土木工学プログラムの「プログラム専門科目（土木工学特別演習（4単位）及び土木工学特別研究（6単位）を除く。）」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業土木学特別演習（4単位）及び農業土木学特別研究（6単位）を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。
グローバル・エリアスタディーズプログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」のグローバル・エリアスタディーズ総合講義（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「グローバル・スタディーズ科目」から2単位以上，「エリアスタディーズ科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ特別演習（4単位）及びグローバル・エリアスタディーズ特別研究（6単位）又はグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を選択する場合は，「プログラム専門科目」の特別臨地研究Ⅰ（2単位）又は特別臨地研究Ⅱ（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。	グローバル・エリアスタディーズプログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」のグローバル・エリアスタディーズ総合講義（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「グローバル・スタディーズ科目」から2単位以上，「エリアスタディーズ科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ特別演習（4単位）及びグローバル・エリアスタディーズ特別研究（6単位）又はグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト（6単位）を選択する場合は，「プログラム専門科目」の特別臨地研究Ⅰ（2単位）又は特別臨地研究Ⅱ（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。

認可時又は届出時	報告年度
多文化共生学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の共生社会論（2単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の多文化共生学特別演習（4単位）及び多文化共生学特別研究（6単位）又は多文化共生学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 地域人間発達支援学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域人間発達支援の実際と課題（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の地域人間発達支援学特別演習（4単位）及び地域人間発達支援学特別研究（6単位）又は地域人間発達支援学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。	多文化共生学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の共生社会論（2単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の多文化共生学特別演習（4単位）及び多文化共生学特別研究（6単位）又は多文化共生学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 地域人間発達支援学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域人間発達支援の実際と課題（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の地域人間発達支援学特別演習（4単位）及び地域人間発達支援学特別研究（6単位）又は地域人間発達支援学実践プロジェクト（6単位）を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・助教の就任に伴い、「地域デザイン工学プロジェクト」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・講師の辞任による担当教員の兼任教員への変更により、「福祉経営論」の専任教員等の配置を「講師１」から「兼任・兼担１」に変更。
・教育効果を高めるため、コミュニティデザイン学プログラムのプログラム専門科目、社会システムデザイン科目に新たに「都市と地域の社会学」を配置し、配当年次を「1前」、単位数を「選択1」、専任教員等の配置を「兼任・兼担１」に変更。
・講師の辞任により、「コミュニティデザイン学特別演習」、「コミュニティデザイン学特別研究」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師１」に変更。
・講師の辞任により、「コミュニティデザイン学実践プロジェクト」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師１」に変更。
・講師の辞任により、「農業・農村経済学特別演習」、「農業・農村経済学特別研究」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師１」に変更。
・助教の新規採用により、「建築学特別演習Ⅰ」、「建築学特別演習Ⅱ」、「建築学特別研究」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」に変更。
・助教の新規採用により、「建築学特別設計」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教２」に変更。
・助教の辞任により、「土木工学特別演習」、「土木工学特別研究」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教３」に変更。
・助教の辞任により、「農業土木学特別演習」、「農業土木学特別研究」の専任教育等の配置を「助教３」から「助教２」に変更。
・教育効果を高めるため、コミュニティデザイン学プログラムの卒業要件及び履修方法を、「「プログラム専門科目」の「基盤科目」から２単位以上，「社会システムデザイン科目」から２単位以上，「地域資源マネジメント科目」から２単位以上を必ず修得すること。」から「「プログラム専門科目」の「基盤科目」から２単位以上，「社会システムデザイン科目」から２単位以上，「地域資源マネジメント科目」及び農業・農村経済学プログラムの「プログラム専門科目」の「基盤科目」農村社会学（１単位）から２単位以上を必ず修得すること。」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
2 科目	93 科目	0 科目	95 科目	2 科目 [ ]	94 科目 [1]	0 科目 [ ]	96 科目 [1]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{95} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	~~217,267㎡~~ 220,087㎡	0㎡	0㎡	~~217,267㎡~~ 220,087㎡	大学全体 誤記による修正（元）
	運動場用地	125,768㎡	0㎡	0㎡	125,768㎡	
	小　計	~~343,035㎡~~ 345,855㎡	0㎡	0㎡	~~343,035㎡~~ 345,855㎡	
	そ の 他	~~8,578,250㎡~~ 8,575,430㎡	0㎡	0㎡	~~8,578,250㎡~~ 8,575,430㎡	
	合　計	~~8,918,435㎡~~ 8,921,285㎡	0㎡	0㎡	~~8,918,435㎡~~ 8,921,285㎡	

	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	備考
(2) 校　舎	111,846㎡ （113,120㎡）	㎡ （㎡）	㎡ （㎡）	111,846㎡ （113,120㎡）	大学全体

	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
(3) 教室等	77室	75室	296室	15室 （補助職員　5人）	7室 （補助職員　0人）	大学全体

	新設学部等の名称	室　数
(4) 専任教員研究室	地域創生科学研究科	271　室

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	地域創生科学研究科	~~655,012〔148,385〕~~ 657,388〔150,898〕 ~~(649,694〔148,385〕)~~ (652,819〔149,999〕)	~~13,600〔3,866〕~~ 14,607〔4,086〕 ~~(12,024〔3,542〕)~~ (14,321〔4,006〕)	~~5,449〔5,449〕~~ 6,302〔6,246〕 ~~(5,449〔5,449〕)~~ (6,302〔6,246〕)	~~4,694~~ 6,283 ~~(4,694)~~ (6,283)	（　）	（　）	研究科単位での特定不能なため，大学全体の数 30年度購入及び不要本の除却等にて増減（元）
	計	~~655,012〔148,385〕~~ 657,388〔150,898〕 ~~(649,694〔148,385〕)~~ (652,819〔149,999〕)	~~13,600〔3,866〕~~ 14,607〔4,086〕 ~~(12,024〔3,542〕)~~ (14,321〔4,006〕)	~~5,449〔5,449〕~~ 6,302〔6,246〕 ~~(5,449〔5,449〕)~~ (6,302〔6,246〕)	~~4,694~~ 6,283 ~~(4,694)~~ (6,283)	（　）	（　）	

	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数
(6) 図書館	8,040㎡	743	631,721

	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
(7) 体育館	3,366㎡	武道場(870㎡)	陸上競技場１面
		野球場２面	サッカー・ラグビー場１面
		テニスコート９面	プール(25m用)

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要		区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度
	経費の見積り	教員１人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円

	区分	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	学生１人当り納付金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
　なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	宇都宮大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
地域ﾃﾞｻﾞｲﾝ科学部			3年次					平28	栃木県宇都宮市陽東7－1－2	
ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	50	0	200	学士（ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	1.06	平成31		同上	
建築都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	50	3	206	学士（工学）	1.05	平成31		同上	
社会基盤ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3	166	学士（工学）	1.07	平成31		同上	
国際学部			3年次		学士（国際学）			平6	栃木県宇都宮市峰町350	
国際学科	4	90	10	380		1.08	平成31		同上	平成29年度より学生募集開始
国際社会学科	4	－	－	－		－			同上	平成29年度より学生募集停止
国際文化学科	4	－	－	－		－			同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部					学士（教育学）			昭24	栃木県宇都宮市峰町350	
学校教育教員養成課程	4	170		680		1.02			同上	
総合人間形成課程	4	－		－		－			同上	平成28年度より学生募集停止
工学部			3年次		学士（工学）			昭39	栃木県宇都宮市陽東7－1－2	
基盤工学科	4	315	26			1.05	令和4			平成31年度より学生募集開始
機械ｼｽﾃﾑ工学科	4	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
応用化学科	4	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
情報工学科	4	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
建設学科	4	－	－	－		－			同上	平成28年度より学生募集停止
農学部			3年次		学士（農学）			昭24	栃木県宇都宮市峰町350	
生物資源科学科	4	63		252		1.05			同上	平成25年度より学生募集開始
応用生命化学科	4	32		128		1.01			同上	平成25年度より学生募集開始
農業環境工学科	4	32	18	128 36		1.05			同上	
農業経済学科	4	36		144		1.08			同上	
森林科学科	4	32		128		1.08			同上	
生物生産科学科	4	－		－		－			同上	平成25年度より学生募集停止

大学の名称	宇都宮大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	年度	年度		
地域創生科学研究科								平31		
修士課程										
社会デザイン科学専攻	2			77	修士（学術）、修士（国際学）、修士（工学）、修士（農学）	1.31				平成31年度より学生募集開始
工農総合科学専攻	2			258	修士（光工学）、修士（分子農学）、修士（工学）、修士（農学）	1.01				平成31年度より学生募集開始
国際学研究科									栃木県宇都宮市峰町350	
博士課程前期					修士（国際学）			平11		
国際社会研究専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
国際文化研究専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
国際交流研究専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
博士後期課程					博士（国際学）					
国際学研究専攻	3	3		9		1.08			同上	
教育学研究科									栃木県宇都宮市峰町350	
修士課程					修士（教育学）			昭59		
学校教育専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
特別支援教育専攻	2	－		－		－			同上	平成27年度より学生募集停止
ｶﾘｷｭﾗﾑ開発専攻	2	－		－		－			同上	平成27年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	－		－		－			同上	平成27年度より学生募集停止
専門職学位課程					教職修士（専門職）	1.08				
教育実践高度化専攻	2	18		36					同上	定員変更（3）
工学研究科									栃木県宇都宮市陽東7－1－2	
博士前期課程					修士（工学）			昭48		
機械知能工学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
電気電子ｼｽﾃﾑ工学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
物質環境化学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
地球環境ﾃﾞｻﾞｲﾝ学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
情報ｼｽﾃﾑ科学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
先端光工学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
学際先端ｼｽﾃﾑ学専攻	2	－		－		－			同上	平成27年度より学生募集停止
博士後期課程					博士（工学）					
ｼｽﾃﾑ創成工学専攻	3	30		90		0.52			同上	
情報ｼｽﾃﾑ科学専攻	3	－		－		－			同上	平成20年度より学生募集停止
農学研究科									栃木県宇都宮市峰町350	
修士課程					修士（農学）			昭41		
生物生産科学専攻	2	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
農業環境工学専攻	2	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
農業経済学専攻	2	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び
高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている
場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を
記入してください。

5　教員組織の状況

＜地域創生科学研究科　社会デザイン科学専攻＞

（1）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	教授	陣内　雄次 〈平成31年4月〉 博士(学術) ― 地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す※ 住環境・まちづくり論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 生活環境創造支援論※ 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	塚本　純 〈平成31年4月〉 経済学修士(※) ― 経済政策論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	教授	梶原　良成 〈平成31年4月〉 芸術学士 ― 地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す※ デザインと地域 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 地域デザインプロジェクト
専	教授	中島　望 〈平成31年4月〉 教育学修士 ― 実践フィールドワーク 生活文化デザイン論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	教授	中村　祐司 〈平成31年4月〉 博士(政治学) ― グローカルな視座を養う※ 政策形成と協働 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	教授	原田　淳 〈平成31年4月〉 博士(農学) ― 農業・農村の組織マネジメント コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	教授	陣内　雄次 〈平成31年4月〉 博士(学術) ― 地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す※ 住環境・まちづくり論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 生活環境創造支援論※ 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	塚本　純 〈平成31年4月〉 経済学修士(※) ― 経済政策論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	教授	梶原　良成 〈平成31年4月〉 芸術学士 ― 地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す※ デザインと地域 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 地域デザインプロジェクト
専	教授	中島　望 〈平成31年4月〉 教育学修士 ― 実践フィールドワーク 生活文化デザイン論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	教授	中村　祐司 〈平成31年4月〉 博士(政治学) ― グローカルな視座を養う※ 政策形成と協働 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	教授	原田　淳 〈平成31年4月〉 博士(農学) ― 農業・農村の組織マネジメント コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	黒後　洋 〈平成31年4月〉 体育学修士	地域スポーツ行政論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト スポーツ指導支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	高橋　俊守 〈平成31年4月〉 博士（工学）	自然共生デザイン論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	大森　玲子 〈平成31年4月〉 博士（理学）	地域食生活論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	安藤　益夫 〈平成31年4月〉 博士（農学）	農業生産組織論 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	教授	大栗　行昭 〈平成31年4月〉 博士（農学）	農業・農村史 農業・農村経済学特別演習 アカデミックコミュニケーション 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	教授	秋山　満 〈平成31年4月〉 博士（農学）	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す※ 農業・農村経済学 農政学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	黒後　洋 〈平成31年4月〉 体育学修士	地域スポーツ行政論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト スポーツ指導支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	高橋　俊守 〈平成31年4月〉 博士（工学）	自然共生デザイン論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	大森　玲子 〈平成31年4月〉 博士（理学）	地域食生活論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	安藤　益夫 〈平成31年4月〉 博士（農学）	農業生産組織論 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	教授	大栗　行昭 〈平成31年4月〉 博士（農学）	農業・農村史 農業・農村経済学特別演習 アカデミックコミュニケーション 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	教授	秋山　満 〈平成31年4月〉 博士（農学）	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す※ 農業・農村経済学 農政学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	齋藤　潔 〈平成31年4月〉 博士（農学）	グローカルな視座を養う※ アグリビジネス論 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	郡　公子 〈平成31年4月〉 工学博士	環境設備特論Ａ 環境設備特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	中島　史郎 〈平成31年4月〉 博士（農学）	木造建築特論Ａ 木造建築特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	増田　浩志 〈平成31年4月〉 博士（工学）	建築構造学特論Ａ 建築構造学特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	杉山　央 〈平成31年4月〉 博士（工学）	建築構造材料特論Ａ 建築構造材料特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	横尾　昇剛 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 地域デザイン工学プロジェクト エコロジカル建築特論Ａ エコロジカル建築特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	齋藤　潔 〈平成31年4月〉 博士（農学）	グローカルな視座を養う※ アグリビジネス論 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	郡　公子 〈平成31年4月〉 工学博士	環境設備特論Ａ 環境設備特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	中島　史郎 〈平成31年4月〉 博士（農学）	木造建築特論Ａ 木造建築特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	増田　浩志 〈平成31年4月〉 博士（工学）	建築構造学特論Ａ 建築構造学特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	杉山　央 〈平成31年4月〉 博士（工学）	建築構造材料特論Ａ 建築構造材料特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	横尾　昇剛 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 地域デザイン工学プロジェクト エコロジカル建築特論Ａ エコロジカル建築特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	山岡　暁 〈平成31年4月〉 博士（工学）	グローカルな視座を養う※ 海外プロジェクト特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	教授	藤原　浩已 〈平成31年4月〉 博士（工学）	土木材料学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	教授	池田　裕一 〈平成31年4月〉 博士（工学）	河川工学特論 水圏環境工学特論 土木工学特別演習 アカデミックコミュニケーション 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	教授	大森　宣暁 〈平成31年4月〉 博士（工学）	都市計画特論 都市交通特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	教授	松井　宏之 〈平成31年4月〉 博士（農学）	環境数理Ｂ 農業水利学 農業土木学特別演習 アカデミックコミュニケーション 農業土木学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	重田　康博 〈平成31年4月〉 博士（学術）	グローカルな視座を養う※ 臨地研究 グローバル・エリアスタディーズ総合講義※ 貧困問題と国際協力Ⅰ 貧困問題と国際協力Ⅱ 国際NPO起業とその実践Ⅰ※ 国際NPO起業とその実践Ⅱ※ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	山岡　暁 〈平成31年4月〉 博士（工学）	グローカルな視座を養う※ 海外プロジェクト特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	教授	藤原　浩已 〈平成31年4月〉 博士（工学）	土木材料学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	教授	池田　裕一 〈平成31年4月〉 博士（工学）	河川工学特論 水圏環境工学特論 土木工学特別演習 アカデミックコミュニケーション 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	教授	大森　宣暁 〈平成31年4月〉 博士（工学）	都市計画特論 都市交通特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	教授	松井　宏之 〈平成31年4月〉 博士（農学）	環境数理Ｂ 農業水利学 農業土木学特別演習 アカデミックコミュニケーション 農業土木学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	教授	重田　康博 〈平成31年4月〉 博士（学術）	グローカルな視座を養う※ 臨地研究 グローバル・エリアスタディーズ総合講義※ 貧困問題と国際協力Ⅰ 貧困問題と国際協力Ⅱ 国際NPO起業とその実践Ⅰ※ 国際NPO起業とその実践Ⅱ※ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	磯谷　玲 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	グローバル・エリアスタディーズ総合講義※ アメリカの経済と金融Ⅰ アメリカの経済と金融Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	教授	湯本　浩之 〈平成31年4月〉 修士(教育学)	Globalization and Society グローバル教育と開発教育Ⅰ グローバル教育と開発教育Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	教授	倪　永茂 〈平成31年4月〉 工学博士	グローバル・エリアスタディーズ総合講義※ 情報ネットワークと技術Ⅰ 情報ネットワークと技術Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	教授	MALEE KAEWMANOTHAM 〈平成31年4月〉 文学修士(※)	臨地研究 タイの開発と地域社会Ⅰ タイの開発と地域社会Ⅱ 特別臨地研究Ⅰ 特別臨地研究Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	教授	松金　公正 〈平成31年4月〉 修士(文学)(※)	東アジアの歴史と文化Ⅰ 東アジアの歴史と文化Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	教授	柄木田　康之 〈平成31年4月〉 文学修士(※)	文化人類学研究Ⅰ 文化人類学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	磯谷　玲 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	グローバル・エリアスタディーズ総合講義※ アメリカの経済と金融Ⅰ アメリカの経済と金融Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	教授	湯本　浩之 〈平成31年4月〉 修士(教育学)	Globalization and Society グローバル教育と開発教育Ⅰ グローバル教育と開発教育Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	教授	倪　永茂 〈平成31年4月〉 工学博士	グローバル・エリアスタディーズ総合講義※ 情報ネットワークと技術Ⅰ 情報ネットワークと技術Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	教授	MALEE KAEWMANOTHAM 〈平成31年4月〉 文学修士(※)	臨地研究 タイの開発と地域社会Ⅰ タイの開発と地域社会Ⅱ 特別臨地研究Ⅰ 特別臨地研究Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	教授	松金　公正 〈平成31年4月〉 修士(文学)(※)	東アジアの歴史と文化Ⅰ 東アジアの歴史と文化Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	教授	柄木田　康之 〈平成31年4月〉 文学修士(※)	文化人類学研究Ⅰ 文化人類学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	田巻　松雄 〈平成31年4月〉 社会学博士	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ グローバル化と国際的な人の移動Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	佐々木　一隆 〈平成31年4月〉 教育学修士	言語普遍性と英文法研究Ⅰ 言語普遍性と英文法研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	守安　敏久 〈平成31年4月〉 文学修士(※)	日本表象文化研究Ⅰ 日本表象文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	下田　淳 〈平成31年4月〉 博士(歴史学)	西洋史研究Ⅰ 西洋史研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	丁　貴連 〈平成31年4月〉 博士(文学)	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ 東アジア比較文学比較文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	田巻　松雄 〈平成31年4月〉 社会学博士	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ グローバル化と国際的な人の移動Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	佐々木　一隆 〈平成31年4月〉 教育学修士	言語普遍性と英文法研究Ⅰ 言語普遍性と英文法研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	守安　敏久 〈平成31年4月〉 文学修士(※)	日本表象文化研究Ⅰ 日本表象文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	下田　淳 〈平成31年4月〉 博士(歴史学)	西洋史研究Ⅰ 西洋史研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	丁　貴連 〈平成31年4月〉 博士(文学)	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ 東アジア比較文学比較文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	吉田　一彦 〈平成31年4月〉 博士(言語学)	日本語論述表現法Ⅰ 日本語論述表現法Ⅱ 国際交流と日本語教育Ⅰ 国際交流と日本語教育Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	鈴木　啓子 〈平成31年4月〉 文学修士	日本文学研究Ⅰ 日本文学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	中村　真 〈平成31年4月〉 学術修士	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ 感情コミュニケーションと社会的共生Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	天沼　実 〈平成31年4月〉 教育学修士	現代英語研究Ⅰ 現代英語研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	湯澤　伸夫 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy （イギリス）	英語音声学Ⅰ 英語音声学Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	吉田　一彦 〈平成31年4月〉 博士(言語学)	日本語論述表現法Ⅰ 日本語論述表現法Ⅱ 国際交流と日本語教育Ⅰ 国際交流と日本語教育Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	鈴木　啓子 〈平成31年4月〉 文学修士	日本文学研究Ⅰ 日本文学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	中村　真 〈平成31年4月〉 学術修士	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ 感情コミュニケーションと社会的共生Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	天沼　実 〈平成31年4月〉 教育学修士	現代英語研究Ⅰ 現代英語研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	湯澤　伸夫 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy （イギリス）	英語音声学Ⅰ 英語音声学Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	長谷川　万由美 〈平成31年4月〉 修士(社会学)(※)	共生社会論 シティズンシップ教育Ⅰ シティズンシップ教育Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	松井　貴子 〈平成31年4月〉 博士(学術)	日本文化研究Ⅰ 日本文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	米山　正文 〈平成31年4月〉 Master of Arts in English （アメリカ）	アメリカ文化研究Ⅰ アメリカ文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 アカデミックコミュニケーション 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	小宮　秀明 〈平成31年4月〉 博士(医学)	グローカルな視座を養う※ 健康管理支援論 身体科学特論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	教授	赤塚　朋子 〈平成31年4月〉 修士(教育学)	グローカルな視座を養う※ 生活環境創造支援論※ 生活経営支援論 消費者教育支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	長谷川　万由美 〈平成31年4月〉 修士(社会学)(※)	共生社会論 シティズンシップ教育Ⅰ シティズンシップ教育Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	教授	松井　貴子 〈平成31年4月〉 博士(学術)	日本文化研究Ⅰ 日本文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	米山　正文 〈平成31年4月〉 Master of Arts in English （アメリカ）	アメリカ文化研究Ⅰ アメリカ文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 アカデミックコミュニケーション 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	小宮　秀明 〈平成31年4月〉 博士(医学)	グローカルな視座を養う※ 健康管理支援論 身体科学特論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	教授	赤塚　朋子 〈平成31年4月〉 修士(教育学)	グローカルな視座を養う※ 生活環境創造支援論※ 生活経営支援論 消費者教育支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	加藤　謙一 〈平成31年4月〉 博士（体育科学）	地域人間発達支援の実際と課題※ 運動発達特論 身体運動学演習 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	教授	小原　伸一 〈平成31年4月〉 修士（音楽）	地域人間発達支援の実際と課題※ 舞台芸術分析論 音楽デザイン支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	教授	松島　さくら子 〈平成31年4月〉 芸術学修士	地域人間発達支援の実際と課題※ 造形表現支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	教授	佐々木　和也 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域人間発達支援の実際と課題※ 衣環境学特論 生活環境創造支援論※ 地域人間発達支援学特別演習 アカデミックコミュニケーション 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	石川　由美子 〈平成31年4月〉 教育学修士（※）	地域活動の心理学 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 共に生きるかたちの心理学特論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	加藤　謙一 〈平成31年4月〉 博士（体育科学）	地域人間発達支援の実際と課題※ 運動発達特論 身体運動学演習 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	教授	小原　伸一 〈平成31年4月〉 修士（音楽）	地域人間発達支援の実際と課題※ 舞台芸術分析論 音楽デザイン支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	教授	松島　さくら子 〈平成31年4月〉 芸術学修士	地域人間発達支援の実際と課題※ 造形表現支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	教授	佐々木　和也 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域人間発達支援の実際と課題※ 衣環境学特論 生活環境創造支援論※ 地域人間発達支援学特別演習 アカデミックコミュニケーション 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	石川　由美子 〈平成31年4月〉 教育学修士（※）	地域活動の心理学 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 共に生きるかたちの心理学特論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	阪田　和哉 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	まちをつくる経済評価の技法 コミュニティデザイン学特別演習 アカデミックコミュニケーション コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	石井　大一朗 〈平成31年4月〉 博士(政策・メディア)	コミュニティ政策論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	准教授	髙島　章悟 〈平成31年4月〉 修士(音楽)	合奏による参加型デザイン コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	三田　妃路佳 〈平成31年4月〉 博士(法学)	政策分析とガバナンス コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	若園　雄志郎 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	地域社会教育論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	中川　敦 〈平成31年4月〉 博士(人間科学)	福祉会話分析 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	阪田　和哉 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	まちをつくる経済評価の技法 コミュニティデザイン学特別演習 アカデミックコミュニケーション コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	石井　大一朗 〈平成31年4月〉 博士(政策・メディア)	コミュニティ政策論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	准教授	髙島　章悟 〈平成31年4月〉 修士(音楽)	合奏による参加型デザイン コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	三田　妃路佳 〈平成31年4月〉 博士(法学)	政策分析とガバナンス コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	若園　雄志郎 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	地域社会教育論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	中川　敦 〈平成31年4月〉 博士(人間科学)	福祉会話分析 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	白石　智子 〈平成31年4月〉 博士（文学）	地域住民の意識・行動の調査法 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	西山　未真 〈平成31年4月〉 博士（農学）	ソーシャルビジネス論 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	松村　啓子 〈平成31年4月〉 博士（理学）	農村地理学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 地域環境システム論
専	准教授	加藤　弘二 〈平成31年4月〉 博士（農学）	農業・農村経済学※ 環境経済学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	准教授	児玉　剛史 〈平成31年4月〉 博士（農学）	文系のためのデータサイエンス 統計分析論 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	神代　英昭 〈平成31年4月〉 博士（農学）	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す※ フードシステム学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	白石　智子 〈平成31年4月〉 博士（文学）	地域住民の意識・行動の調査法 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	西山　未真 〈平成31年4月〉 博士（農学）	ソーシャルビジネス論 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	松村　啓子 〈平成31年4月〉 博士（理学）	農村地理学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 地域環境システム論
専	准教授	加藤　弘二 〈平成31年4月〉 博士（農学）	農業・農村経済学※ 環境経済学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	准教授	児玉　剛史 〈平成31年4月〉 博士（農学）	文系のためのデータサイエンス 統計分析論 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	神代　英昭 〈平成31年4月〉 博士（農学）	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す※ フードシステム学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	古賀　誉章 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 地域デザイン工学プロジェクト 地域デザイン工学インターンシップ 建築計画特論Ａ 建築計画特論Ｂ 建築インターンシップⅠ 建築インターンシップⅡ 建築インターンシップⅢ 建築インターンシップⅣ 建築インターンシップⅤ 建築インターンシップⅥ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 建築学特別設計 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	准教授	安森　亮雄 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域デザイン工学プロジェクト 地域デザイン工学インターンシップ 建築設計特論Ａ 建築設計特論Ｂ 建築インターンシップⅠ 建築インターンシップⅡ 建築インターンシップⅢ 建築インターンシップⅣ 建築インターンシップⅤ 建築インターンシップⅥ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 建築学特別設計 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	准教授	中野　達也 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域デザイン工学プロジェクト 建築耐震設計特論Ａ 建築耐震設計特論Ｂ 建築構造解析特論Ａ 建築構造解析特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	佐藤　栄治 〈平成31年4月〉 博士（工学）	社会現象の数理 都市解析特論Ａ 都市解析特論Ｂ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 建築学特別設計 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	古賀　誉章 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 地域デザイン工学プロジェクト 地域デザイン工学インターンシップ 建築計画特論Ａ 建築計画特論Ｂ 建築インターンシップⅠ 建築インターンシップⅡ 建築インターンシップⅢ 建築インターンシップⅣ 建築インターンシップⅤ 建築インターンシップⅥ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 建築学特別設計 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	准教授	安森　亮雄 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域デザイン工学プロジェクト 地域デザイン工学インターンシップ 建築設計特論Ａ 建築設計特論Ｂ 建築インターンシップⅠ 建築インターンシップⅡ 建築インターンシップⅢ 建築インターンシップⅣ 建築インターンシップⅤ 建築インターンシップⅥ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 建築学特別設計 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	准教授	中野　達也 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域デザイン工学プロジェクト 建築耐震設計特論Ａ 建築耐震設計特論Ｂ 建築構造解析特論Ａ 建築構造解析特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	佐藤　栄治 〈平成31年4月〉 博士（工学）	社会現象の数理 都市解析特論Ａ 都市解析特論Ｂ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 建築学特別設計 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	藤本　郷史 〈平成31年4月〉 博士(工学)	グローカルな視座を養う※ 地域デザイン工学プロジェクト 既存建築物分析学特論Ａ 既存建築物分析学特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ アカデミックコミュニケーション 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	清木　隆文 〈平成31年4月〉 博士(工学)	岩盤力学特論 地圏環境工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	准教授	丸岡　正知 〈平成31年4月〉 博士(工学)	エコマテリアル工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	准教授	藤倉　修一 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy(Structural and Earthquake Engineering) （アメリカ）	グローカルな視座を養う※ 橋梁工学特論 耐震工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	准教授	近藤　伸也 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 防災マネジメント特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	准教授	海野　寿康 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地盤力学特論 地圏環境工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	藤本　郷史 〈平成31年4月〉 博士(工学)	グローカルな視座を養う※ 地域デザイン工学プロジェクト 既存建築物分析学特論Ａ 既存建築物分析学特論Ｂ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ アカデミックコミュニケーション 建築学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	清木　隆文 〈平成31年4月〉 博士(工学)	岩盤力学特論 地圏環境工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	准教授	丸岡　正知 〈平成31年4月〉 博士(工学)	エコマテリアル工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	准教授	藤倉　修一 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy(Structural and Earthquake Engineering) （アメリカ）	グローカルな視座を養う※ 橋梁工学特論 耐震工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	准教授	近藤　伸也 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 防災マネジメント特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	准教授	海野　寿康 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地盤力学特論 地圏環境工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	福村　一成 <平成31年4月> Doctor of Philosophy （アメリカ）	Communication Skills for Engineers 農業農村開発と技術協力 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	飯山　一平 <平成31年4月> 博士(農学)	土壌環境物理学Ａ 土壌環境物理学Ｂ 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	田村　孝浩 <平成31年4月> 博士(農学)	地域マネジメントＡ 地域マネジメントＢ 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	准教授	守山　拓弥 <平成31年4月> 博士(農学)	応用田園生態工学Ａ 応用田園生態工学Ｂ 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	准教授	大澤　和敏 <平成31年4月> 博士(農学)	環境数理Ａ 農地保全学 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	Sueyoshi Ana <平成31年4月> 修士(学術)(※)	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	准教授	栗原　俊輔 <平成31年4月> 博士(学術)	Global Management Globalization and Project ManagementⅠ Globalization and Project ManagementⅡ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	福村　一成 <平成31年4月> Doctor of Philosophy （アメリカ）	Communication Skills for Engineers 農業農村開発と技術協力 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	飯山　一平 <平成31年4月> 博士(農学)	土壌環境物理学Ａ 土壌環境物理学Ｂ 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	田村　孝浩 <平成31年4月> 博士(農学)	地域マネジメントＡ 地域マネジメントＢ 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	准教授	守山　拓弥 <平成31年4月> 博士(農学)	応用田園生態工学Ａ 応用田園生態工学Ｂ 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	准教授	大澤　和敏 <平成31年4月> 博士(農学)	環境数理Ａ 農地保全学 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究 土木工学特別演習 土木工学特別研究
専	准教授	Sueyoshi Ana <平成31年4月> 修士(学術)(※)	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	准教授	栗原　俊輔 <平成31年4月> 博士(学術)	Global Management Globalization and Project ManagementⅠ Globalization and Project ManagementⅡ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	古村　学 <平成31年4月> 博士（人間科学）	日本の自然と地域生活Ⅰ 日本の自然と地域生活Ⅱ 特別臨地研究Ⅰ 特別臨地研究Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	阪本　公美子 <平成31年4月> 博士（学術）	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ 東アフリカの社会開発と文化Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	准教授	松尾　昌樹 <平成31年4月> 博士（国際文化）	グローバル・エリアスタディーズ総合講義※ 中東地域の政治と社会Ⅰ 中東地域の政治と社会Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	髙橋　若菜 <平成31年4月> 博士（政治学）	環境問題とガバナンスⅠ 環境問題とガバナンスⅡ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	清水　奈名子 <平成31年4月> 博士（学術）	人間の安全保障と国連Ⅰ 人間の安全保障と国連Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	准教授	松村　史紀 <平成31年4月> 博士（政治学）	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ 東アジアの国際政治と歴史Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 アカデミックコミュニケーション グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	古村　学 <平成31年4月> 博士（人間科学）	日本の自然と地域生活Ⅰ 日本の自然と地域生活Ⅱ 特別臨地研究Ⅰ 特別臨地研究Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	阪本　公美子 <平成31年4月> 博士（学術）	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ 東アフリカの社会開発と文化Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	准教授	松尾　昌樹 <平成31年4月> 博士（国際文化）	グローバル・エリアスタディーズ総合講義※ 中東地域の政治と社会Ⅰ 中東地域の政治と社会Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	髙橋　若菜 <平成31年4月> 博士（政治学）	環境問題とガバナンスⅠ 環境問題とガバナンスⅡ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	清水　奈名子 <平成31年4月> 博士（学術）	人間の安全保障と国連Ⅰ 人間の安全保障と国連Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	准教授	松村　史紀 <平成31年4月> 博士（政治学）	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ 東アジアの国際政治と歴史Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 アカデミックコミュニケーション グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	Barbara Sheffield Morrison 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy （アメリカ）	グローカルな視座を養う※ ジェンダーとアイデンティティⅠ ジェンダーとアイデンティティⅡ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	戚　傑 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy （アメリカ）	多文化教育研究Ⅰ 多文化教育研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	木下　大輔 〈平成31年4月〉 修士（音楽）	音楽創作文化研究Ⅰ 音楽創作文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	鎌田　美千子 〈平成31年4月〉 博士（学術）	日本語教育学研究Ⅰ 日本語教育学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	谷　光生 〈平成31年4月〉 修士（言語学）（※）	英語学研究Ⅰ 英語学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	丸山　剛史 〈平成31年4月〉 博士（教育学）	植民地教育史Ⅰ 植民地教育史Ⅱ 外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ 外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	Barbara Sheffield Morrison 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy （アメリカ）	グローカルな視座を養う※ ジェンダーとアイデンティティⅠ ジェンダーとアイデンティティⅡ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	戚　傑 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy （アメリカ）	多文化教育研究Ⅰ 多文化教育研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	教授	木下　大輔 〈平成31年4月〉 修士（音楽）	音楽創作文化研究Ⅰ 音楽創作文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	鎌田　美千子 〈平成31年4月〉 博士（学術）	日本語教育学研究Ⅰ 日本語教育学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	丸山　剛史 〈平成31年4月〉 博士（教育学）	植民地教育史Ⅰ 植民地教育史Ⅱ 外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ 外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	Andrew Neal Reimann 〈平成31年4月〉 Doctor of Applied linguistics （オーストラリア）	グローカルな視座を養う※ Comparative Study of Contemporary CulturesⅠ Comparative Study of Contemporary CulturesⅡ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	髙山 道代 〈平成31年4月〉 博士（人文科学）	日本語史と日本語研究Ⅰ 日本語史と日本語研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	田口　卓臣 〈平成31年4月〉 博士（文学）	フランス思想・文化研究Ⅰ フランス思想・文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	本田　悟郎 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	芸術学研究Ⅰ 芸術学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	山田 有希子 〈平成31年4月〉 博士（文学）	西洋近現代哲学研究Ⅰ 西洋近現代哲学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	髙山　慶子 〈平成31年4月〉 博士（人文科学）	日本史研究Ⅰ 日本史研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	Andrew Neal Reimann 〈平成31年4月〉 Doctor of Applied linguistics （オーストラリア）	グローカルな視座を養う※ Comparative Study of Contemporary CulturesⅠ Comparative Study of Contemporary CulturesⅡ
専	准教授	髙山 道代 〈平成31年4月〉 博士（人文科学）	日本語史と日本語研究Ⅰ 日本語史と日本語研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
兼任	講師	田口　卓臣 〈平成31年4月〉 博士（文学）	フランス思想・文化研究Ⅰ フランス思想・文化研究Ⅱ
専	准教授	本田　悟郎 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	芸術学研究Ⅰ 芸術学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	山田 有希子 〈平成31年4月〉 博士（文学）	西洋近現代哲学研究Ⅰ 西洋近現代哲学研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	髙山　慶子 〈平成31年4月〉 博士（人文科学）	日本史研究Ⅰ 日本史研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	良　香織 〈平成31年4月〉 博士(保健学)	性と人権論Ⅰ 性と人権論Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 生活環境創造支援論※ 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	大野 斉子 〈平成31年4月〉 博士(文学)	ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	出羽　尚 〈平成31年4月〉 博士(芸術学)	イギリス文化研究Ⅰ イギリス文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	黒川　亨子 〈平成31年4月〉 修士(法学)(※)	人権と法Ⅰ 人権と法Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	川島　芳昭 〈平成31年4月〉 博士(学校教育学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 情報コミュニケーション演習 情報科学技術特論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	上原　秀一 〈平成31年4月〉 修士(教育学)(※)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 人間発達支援方法論 人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	良　香織 〈平成31年4月〉 博士(保健学)	性と人権論Ⅰ 性と人権論Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 生活環境創造支援論※ 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	大野 斉子 〈平成31年4月〉 博士(文学)	ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	出羽　尚 〈平成31年4月〉 博士(芸術学)	イギリス文化研究Ⅰ イギリス文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	准教授	黒川　亨子 〈平成31年4月〉 修士(法学)(※)	人権と法Ⅰ 人権と法Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	准教授	川島　芳昭 〈平成31年4月〉 博士(学校教育学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 情報コミュニケーション演習 情報科学技術特論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	上原　秀一 〈平成31年4月〉 修士(教育学)(※)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 人間発達支援方法論 人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	小原　一馬 〈平成31年4月〉 博士（教育学）	地域人間発達支援の実際と課題※ 遊びと感情の社会学特論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	准教授	石川　隆行 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	地域人間発達支援の実際と課題※ 生涯発達支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	熊田　禎介 〈平成31年4月〉 修士（教育学）（※）	地域人間発達支援の実際と課題※ 社会的思考支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	准教授	株田　昌彦 〈平成31年4月〉 博士（芸術学）	地域アートマネジメント（美術） 平面表現技法分析論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	講師	呉　世雄 〈平成31年4月〉 博士（人間福祉）	福祉経営論 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	講師	鈴木　富之 〈平成31年4月〉 博士（理学）	観光地理学研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	講師	閻　美芳 〈平成31年4月〉 博士（人間科学）	農村社会学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	小原　一馬 〈平成31年4月〉 博士（教育学）	地域人間発達支援の実際と課題※ 遊びと感情の社会学特論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	准教授	石川　隆行 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	地域人間発達支援の実際と課題※ 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	准教授	熊田　禎介 〈平成31年4月〉 修士（教育学）（※）	地域人間発達支援の実際と課題※ 社会的思考支援論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究
専	准教授	株田　昌彦 〈平成31年4月〉 博士（芸術学）	地域アートマネジメント（美術） 平面表現技法分析論 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	講師	鈴木　富之 〈平成31年4月〉 博士（理学）	観光地理学研究 コミュニティデザイン学特別演習 コミュニティデザイン学特別研究 コミュニティデザイン学実践プロジェクト 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究
専	講師	閻　美芳 〈平成31年4月〉 博士（人間科学）	農村社会学 農業・農村経済学特別演習 農業・農村経済学特別研究 農業・農村経済学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	講師	立花　有希 〈平成31年4月〉 博士（教育学）
		グローバル時代の学校教育Ⅰ グローバル時代の学校教育Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
専	講師	澤崎 文 〈平成31年4月〉 博士（文学）
		古代日本言語文化研究Ⅰ 古代日本言語文化研究Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究
専	講師	平井　李枝 〈平成31年4月〉 博士（音楽）
		地域アートマネジメント（音楽） サウンド・コラボレーション 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	助教	糸井川　高穂 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	助教	大嶽　陽徳 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 建築学特別設計
専	助教	松本　美紀 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	講師	立花　有希 〈平成31年4月〉 博士（教育学）
		グローバル時代の学校教育Ⅰ グローバル時代の学校教育Ⅱ 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究 多文化共生学実践プロジェクト グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究
兼任	講師	澤崎 文 〈平成31年4月〉 博士（文学）
		古代日本言語文化研究Ⅰ 古代日本言語文化研究Ⅱ
専	講師	平井　李枝 〈平成31年4月〉 博士（音楽）
		地域アートマネジメント（音楽） サウンド・コラボレーション 地域人間発達支援学特別演習 地域人間発達支援学特別研究 地域人間発達支援学実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	助教	糸井川　高穂 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	助教	大嶽　陽徳 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 建築学特別設計
専	助教	藤原 紀沙 ＜平成31年４月＞ 博士（工学）
		地域デザイン工学プロジェクト 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究 建築学特別設計

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	長田　哲平 〈平成31年4月〉 博士(工学)	土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	助教	飯村　耕介 〈平成31年4月〉 博士(学術)	海岸工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	助教	Nguyen Minh Hai 〈平成31年4月〉 修士(工学)(※)	土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	助教	飯塚 明子 〈平成31年4月〉 博士(地球環境学)	防災と国際協力Ⅰ 防災と国際協力Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	助教	藤井　広重 〈平成31年4月〉 Adv.LL.M （オランダ）	国際人権保障と平和構築Ⅰ 国際人権保障と平和構築Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	助教	宮代　こずゑ 〈平成31年4月〉 修士(心理学)(※)	認知心理的支援論
兼担	教授	湯上　登 〈平成31年4月〉 工学博士	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ アカデミックコミュニケーション 文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	教授	杉原　興浩 〈平成31年10月〉 工学博士	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	教授	大谷　幸利 〈平成31年10月〉 博士(工学)	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	長田　哲平 〈平成31年4月〉 博士(工学)	土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	助教	飯村　耕介 〈平成31年4月〉 博士(学術)	海岸工学特論 土木工学特別演習 土木工学特別研究 農業土木学特別演習 農業土木学特別研究
専	助教	Nguyen Minh Hai 〈平成31年4月〉 修士(工学)(※)	土木工学特別演習 土木工学特別研究 建築学特別演習Ⅰ 建築学特別演習Ⅱ 建築学特別研究
専	助教	飯塚 明子 〈平成31年4月〉 博士(地球環境学)	防災と国際協力Ⅰ 防災と国際協力Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト
専	助教	藤井　広重 〈平成31年4月〉 Adv.LL.M （オランダ）	国際人権保障と平和構築Ⅰ 国際人権保障と平和構築Ⅱ グローバル・エリアスタディーズ特別演習 グローバル・エリアスタディーズ特別研究 グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト 多文化共生学特別演習 多文化共生学特別研究
専	助教	宮代　こずゑ 〈平成31年4月〉 修士(心理学)(※)	認知心理的支援論
兼担	教授	湯上　登 〈平成31年4月〉 工学博士	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ アカデミックコミュニケーション 文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	教授	杉原　興浩 〈平成31年10月〉 工学博士	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	教授	大谷　幸利 〈平成31年10月〉 博士(工学)	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	早崎　芳夫 <平成31年10月> 博士(工学)	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	教授	松田　勝 <平成31年4月> 博士(理学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ アカデミックコミュニケーション 文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	教授	大庭　亨 <平成32年4月> 博士(工学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	教授	東　徳洋 <平成31年10月> 農学博士	食品機能科学※
兼担	教授	横田　信三 <平成31年4月> 農学博士	国際インターンシップ
兼担	教授	橋本　啓 <平成31年10月> 博士(農学)	食品機能科学※
兼担	教授	高山　善匡 <平成31年10月> 工学博士	メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	横田 和隆 <平成31年4月> Doctor of Philosophy （イギリス）	アカデミックコミュニケーション メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	長谷川　裕晃 <平成31年10月> 博士(工学)	メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	尾崎　功一 <平成31年10月> 博士(工学)	メカニカル・エンジニアリング※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	早崎　芳夫 <平成31年10月> 博士(工学)	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	教授	松田　勝 <平成31年4月> 博士(理学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ アカデミックコミュニケーション 文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	教授	大庭　亨 <平成32年4月> 博士(工学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	教授	東　徳洋 <平成31年10月> 農学博士	食品機能科学※
兼担	教授	横田　信三 <平成31年4月> 農学博士	国際インターンシップ
兼担	教授	橋本　啓 <平成31年10月> 博士(農学)	食品機能科学※
兼担	教授	高山　善匡 <平成31年10月> 工学博士	メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	横田 和隆 <平成31年4月> Doctor of Philosophy （イギリス）	アカデミックコミュニケーション メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	長谷川　裕晃 <平成31年10月> 博士(工学)	メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	尾崎　功一 <平成31年10月> 博士(工学)	メカニカル・エンジニアリング※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	吉田　勝俊 〈平成31年10月〉 博士（工学）	メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	嶋脇　聡 〈平成31年10月〉 博士（工学）	メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	川田　重夫 〈平成31年4月〉 工学博士	情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	横田　隆史 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	伊藤　聡志 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	古神　義則 〈平成31年4月〉 博士（学術）	アカデミックコミュニケーション 情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	長谷川　光司 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 実践経営マネジメント概論 実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※
兼担	教授	長谷川　まどか 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	山根　健治 〈平成31年4月〉 博士（農学）	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ アカデミックコミュニケーション
兼担	教授	飯塚　和也 〈平成32年4月〉 博士（農学）	アカデミックコミュニケーション

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	吉田　勝俊 〈平成31年10月〉 博士（工学）	メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	嶋脇　聡 〈平成31年10月〉 博士（工学）	メカニカル・エンジニアリング※
兼担	教授	川田　重夫 〈平成31年4月〉 工学博士	情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	横田　隆史 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	伊藤　聡志 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	古神　義則 〈平成31年4月〉 博士（学術）	アカデミックコミュニケーション 情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	長谷川　光司 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 実践経営マネジメント概論 実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※
兼担	教授	長谷川　まどか 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学概論※
兼担	教授	山根　健治 〈平成31年4月〉 博士（農学）	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ アカデミックコミュニケーション
兼担	教授	飯塚　和也 〈平成32年4月〉 博士（農学）	アカデミックコミュニケーション

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	杉田　直樹 〈平成31年4月〉 博士(農学)	マーケティング論
兼担	准教授	松本　浩道 〈平成31年4月〉 博士(農学)	博物学史※
兼担	准教授	西川　尚志 〈平成31年10月〉 博士(農学)	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	准教授	児玉　豊 〈平成31年4月〉 博士(バイオサイエンス)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※
兼担	准教授	鈴木　智大 〈平成31年4月〉 博士(農学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※
兼担	准教授	宮川　一志 〈平成31年4月〉 博士(環境科学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※
兼担	准教授	前田　勇 〈平成31年4月〉 博士(薬学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ アカデミックコミュニケーション
兼担	准教授	渡邊　信一 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※
兼担	准教授	山野　有紀 〈平成31年10月〉 修士(言語学)	外国語コミュニケーション演習
兼担	准教授	森田　香緒里 〈平成31年10月〉 修士(教育学)(※)	論理表現コミュニケーション演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	杉田　直樹 〈平成31年4月〉 博士(農学)	マーケティング論
兼担	准教授	松本　浩道 〈平成31年4月〉 博士(農学)	博物学史※
兼担	准教授	西川　尚志 〈平成31年10月〉 博士(農学)	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	准教授	児玉　豊 〈平成31年4月〉 博士(バイオサイエンス)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※
兼担	准教授	鈴木　智大 〈平成31年4月〉 博士(農学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※
兼担	准教授	宮川　一志 〈平成31年4月〉 博士(環境科学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※
兼担	准教授	前田　勇 〈平成31年4月〉 博士(薬学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ アカデミックコミュニケーション
兼担	准教授	渡邊　信一 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※
兼担	准教授	山野　有紀 〈平成31年10月〉 修士(言語学)	外国語コミュニケーション演習
兼担	准教授	森田　香緒里 〈平成31年10月〉 修士(教育学)(※)	論理表現コミュニケーション演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	久保　元芳 〈平成31年10月〉 修士(教育学) 修士(体育学)(※)	ヘルスプロモーション特論
兼担	准教授	出口 明子 〈平成31年10月〉 博士(学術)	科学コミュニケーション演習
兼担	准教授	黒倉　健 〈平成31年10月〉 Doctor of Philosophy in Plant Sciences （イギリス）	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	講師	山田　潔 〈平成31年10月〉 博士(農学)	食品機能科学※
兼担	講師	栗原　望 〈平成31年4月〉 博士(農学)	博物学史※
兼担	講師	堀尾　佳以 〈平成31年4月〉 博士(芸術工学)	技術日本語
兼担	講師	石塚　諭 〈平成31年4月〉 修士(教育学)	生涯身体発達支援論
兼担	講師	岡本　昌憲 〈平成31年10月〉 博士(理学)	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	助教	池田　裕樹 〈平成31年4月〉 博士(農学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	助教	原　紳 〈平成31年4月〉 工学士(※)	実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	久保　元芳 〈平成31年10月〉 修士(教育学) 修士(体育学)(※)	ヘルスプロモーション特論
兼担	准教授	出口 明子 〈平成31年10月〉 博士(学術)	科学コミュニケーション演習
兼担	准教授	黒倉　健 〈平成31年10月〉 Doctor of Philosophy in Plant Sciences （イギリス）	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	講師	山田　潔 〈平成31年10月〉 博士(農学)	食品機能科学※
兼担	講師	栗原　望 〈平成31年4月〉 博士(農学)	博物学史※
兼担	講師	堀尾　佳以 〈平成31年4月〉 博士(芸術工学)	技術日本語
兼担	講師	石塚　諭 〈平成31年4月〉 修士(教育学)	生涯身体発達支援論
兼担	講師	岡本　昌憲 〈平成31年10月〉 博士(理学)	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門※
兼担	助教	池田　裕樹 〈平成31年4月〉 博士(農学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	助教	原　紳 〈平成31年4月〉 工学士(※)	実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	助教	兒島　建彦 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy in Political Science （アメリカ）	International Political Economy
兼任	講師	矢野　正広 〈平成31年4月〉 社会学士	国際NPO起業とその実践Ⅰ※
兼任	講師	筒井　哲朗 〈平成31年4月〉 理学士	国際NPO起業とその実践Ⅰ※
兼任	講師	荒川　朋子 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Sociology （アメリカ）	国際NPO起業とその実践Ⅱ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	助教	兒島　建彦 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy in Political Science （アメリカ）	International Political Economy
兼任	講師	矢野　正広 〈平成31年4月〉 社会学士	国際NPO起業とその実践Ⅰ※
兼任	講師	筒井　哲朗 〈平成31年4月〉 理学士	国際NPO起業とその実践Ⅰ※
兼任	講師	荒川　朋子 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Sociology （アメリカ）	国際NPO起業とその実践Ⅱ※
兼任	**講師**	**高木竜輔** **〈令和元年10月〉** **修士（社会学）**	**都市と地域の社会学**
兼任	**講師**	**海老田大五朗** **〈令和元年10月〉** **博士（文学）**	**福祉経営論**

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）－②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・松村啓子准教授を教授に昇任。平成３０年１２月ＡＣ教員審査済み。
- ・戚傑准教授を教授に昇任。平成３０年１２月ＡＣ教員審査済み。
- ・木下大輔准教授を教授に昇任。平成３０年１２月ＡＣ教員審査済み。
- ・Andrew Neal Reimann准教授が平成３１年３月辞任により、「兼任教員」に変更。
- ・田口卓臣准教授が平成３１年３月辞任により、「兼任教員」に変更。
- ・谷光生准教授平成３１年３月辞任。後任未定であるが、令和元年１０月から専任教員採用予定で公募中。
- ・呉世雄講師平成３１年３月辞任。
- ・澤崎(吉野)文講師が平成３１年３月辞任により「兼任教員」に変更。
- ・松本美紀助教平成３０年１１月辞任。
- ・平成３１年４月藤原(羽月) 紀沙助教就任。平成３１年２月教員審査済み。
- ・令和元年１０月高木竜輔兼任講師就任予定。
- ・令和元年１０月海老田大五郎兼任講師就任予定。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（2） 専任教員数等

（2）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
13 名	7 名	3 名

（注）・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（2）－② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
49 (52)	58 (52)	6 (4)	9 (9)	122 (117)	52	52	4	9	117

設置時の計画 研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	現在（報告時）の状況 研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
110 (107)	11 (9)	1 (1)	107	9	1

現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
52 [3]	52 [△6]	4 [△2]	9 [0]	117 [△5]	52 [3]	52 [△6]	4 [△2]	9 [0]	117 [△5]

完成年度時の状況 研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	完成年度時の計画 研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
107 [△3]	9 [△2]	1 [0]	107 [△3]	9 [△2]	1 [0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（2）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（2）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{117}{122} = 96\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（2）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{117} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	准教授	Andrew Neal Reimann	H31.3	必修	グローカルな視座を養う	②	H31.3.31付け他大学転出のため就任辞退(元)
				選択	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	②	
				選択	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅱ	②	
				選択	多文化共生学特別演習	①	
				選択	多文化共生学特別研究	①	
				選択	多文化共生学実践プロジェクト	①	
				選択	グローバル・エリアスタディーズ特別演習	①	
				選択	グローバル・エリアスタディーズ特別研究	①	
2	准教授	田口　卓臣	H31.3	選択	フランス思想・文化研究Ⅰ	②	H31.3.31付け他大学転出のため就任辞退(元)
				選択	フランス思想・文化研究Ⅱ	②	
				選択	多文化共生学特別演習	①	
				選択	多文化共生学特別研究	①	
				選択	多文化共生学実践プロジェクト	①	
				選択	グローバル・エリアスタディーズ特別演習	①	
				選択	グローバル・エリアスタディーズ特別研究	①	
3	准教授	谷　光生	H31.3	選択	英語学研究Ⅰ	①	H31.3.31付け他大学転出のため就任辞退(元)
				選択	英語学研究Ⅱ	①	
				選択	多文化共生学特別演習	①	
				選択	多文化共生学特別研究	①	
				選択	多文化共生学実践プロジェクト	①	
				選択	地域人間発達支援学特別演習	①	
				選択	地域人間発達支援学特別研究	①	
4	講師	呉　世雄	H31.3	選択	福祉経営論	②	H31.3.31付け他大学転出のため就任辞退(元)
				選択	コミュニティデザイン学特別演習	①	
				選択	コミュニティデザイン学特別研究	①	
				選択	コミュニティデザイン学実践プロジェクト	①	
				選択	農業・農村経済学特別演習	①	
				選択	農業・農村経済学特別研究	①	
5	講師	澤﨑　文	H31.3	選択	古代日本言語文化研究Ⅰ	②	H31.3.31付け他大学転出のため就任辞退(元)
				選択	古代日本言語文化研究Ⅱ	②	
				選択	多文化共生学特別演習	①	
				選択	多文化共生学特別研究	①	
				選択	多文化共生学実践プロジェクト	①	
				選択	地域人間発達支援学特別演習	①	
				選択	地域人間発達支援学特別研究	①	
6	助教	松本　美紀	H30.11	選択	土木工学特別演習	①	H30.11.30付け一身上の都合により就任辞退(元)
				選択	土木工学特別研究	①	
				選択	農業土木学特別演習	①	
				選択	農業土木学特別研究	①	

合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）			
6　人	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	
	選択	38	科目	選択	31	科目	選択	7	科目	選択	0	科目	
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
	計	39	科目	計	31	科目	計	8	科目	計	0	科目	

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし							

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
6　人	必修	1	科目	必修	0 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	38	科目	選択	31 科目	選択	7 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	39	科目	計	31 科目	計	8 科目	計	0 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{6}{122} = \boxed{4.91}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし						

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

Andrew Neal Reimann准教授、田口卓臣准教授、澤崎(吉野)文講師の授業科目については、転出先の他大学から非常勤講師として担当するため実質的な変更はない。谷光生准教授については、後任人事を進め、令和元年10月就任を予定している。呉世雄講師の授業科目については、非常勤講師で対応を予定している。
研究指導科目については、十分な教員数を確保しているため、現在の教員組織で対応可能である。
学生に対しては、シラバス等において、担当教員を周知している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和元年）	新たな研究科設置の趣旨・目的に掲げている「融合・連携」の実現に向けて，以下の点を踏まえ，設置計画を着実に履行すること。 （１）学生からの相談窓口として，新たに配置するコーディネーターや研究アドバイザーのそれぞれの役割及び実施体制を明確に学生に示すとともに，修士論文を課さない場合のコースワークでも同様の取組が生かされるよう配慮し，幅広い学生からの相談に組織的に対応が可能な体制を充実させること。 （２）主指導教員，副指導教員の実質的な協力の下，例えばシラバスにおいても「融合・連携」の趣旨を適切に周知するとともに，大学が実施する研究活動を含めて，本研究科が目指す「融合・連携」の強化に努めること。	遵守事項	附帯事項（１）を踏まえ，学生の研究テーマや希望に係る主指導教員・副指導教員以外の研究，関連研究者の相談に対応するための学生相談担当窓口として，新たに「研究サポートコーディネーター」として専攻長及び専攻長補佐を配置し，学生からの研究相談に対応可能となる教員「研究アドバイザー」を決定することとしている。 　なお，「研究アドバイザー」は，学生の学修・研究計画の作成，その着実な履修と進捗等に対して具体的な指導・助言を行うこととしている。 　また，「研究サポートコーディネーター」及び「研究アドバイザー」については，修士論文及び修士論文を課さないコースワークの区別無く同様に指導・助言できる組織として，専門領域に加えて境界領域・学際的領域が連携・融合した地域創生科学研究科研究指導実施体制の組織である旨の資料を整理し，学生便覧等に記載するとともに，ガイダンスにおいても，幅広い学生（16プログラム）からの相談に対応する旨の説明を実施した。【別添〔資料１〕のとおり】 附帯事項（２）を踏まえ，学生の研究及び論文指導等（特定の課題についての研究の成果等の指導を含む。）については，高度な次元で専門領域・学際的領域が連携・融合した研究指導体制（デュアル副指導体制）として，主指導教員，第１副指導教員，第２副指導教員の３名を指導チームとし，当該学生に対する学修・研究計画の作成，着実な履修と学修の進捗等について，担当する学生の情報を共有することにより，適切な指導・助言を行えるよう協力関係を構築した。	履行中	学内の異なる研究分野の研究者が分野融合による新たな研究分野の開拓・創成を促進し，工農融合，フードサイエンス，ものづくりにおける融合的イノベーションの創出，光工学分野などの世界に通じる先端的研究の開発・推進に取り組み，地域志向研究を活性化して，新産業の創出や既存産業の高付加価値化に結びつく地域イノベーションの創出を目指すため，学長戦略経費「分野融合型研究支援事業」として重点的に配分し，「融合・連携」の強化に繋がるよう努めることとしている。

			なお，研究アドバイザーを置いた場合は，指導チームと一体となって半年ごとに，着実な履修と学修の進捗等に対する指導・助言を行うこととしている。		
認　可　時 （令和元年）	本研究科に16学位プログラムを構成する前提となっている課題のうち，「オプトバイオのイノベーション創造」については，単に大学の強み・特長と説明するのではなく，目指すべきものを具体的に社会・学生に対して誤解がないよう周知すること。	遵守事項	本研究科に16学位プログラムを構成する前提となっている課題のうち，「オプトバイオのイノベーション創造」に関しては，環境・生活・経済と密接に関連している「光工学」と資源・環境・生活と密接に関連している「分子農学」の２つを教育研究分野としている。 　「光工学」においては，超短パルスレーザーの活用など光工学に関する画期的な技術革新が求められていることから，光学に関する高度な知識・技術を修得して，実践的な技術者・研究者としての能力を有し，広く世界の光学技術の創造・発展をリードして，持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材育成を目指している。 　「分子農学」においては，乾燥に強い植物のメカニズム解明と応用など画期的な技術革新等が求められていることから，分子農学に関する高度な知識・技術を修得して，遺伝子情報の解析技術とその発現機構に基づく分子レベルの知見を応用し実践する能力を有し，持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材育成を目指している。 　附帯事項を踏まえ，以上について，社会・学生に対して誤解のないように「学生募集要項」，「本学公式ホームページ」及び「学生便覧」において周知した。 【別添〔資料２〕のとおり】	履行済	

認　可　時 （令和元年）	シラバス等について，以下の点を踏まえ適切に修正の上，設置計画を着実に履行すること。 （１）「生涯発達支援論」，「人間発達支援方法論」，「社会的思考支援論」については，シラバスの授業計画においても，大学院レベルの質保証が図られていることを明確にすること。 （２）新たに開設する計画とした「農業・農村経済学」について，設置の趣旨・目的，到達目標を踏まえれば，経済学分野の基礎的な内容を充実するとともに，その内容をシラバスにおいて明記すること。 （３）グローバル・エリアスタディーズプログラムについて，特に国名を冠した科目は，プログラムの目的に掲げる，グローバルな観点から社会をデザインする能力を育成するのにふさわしい幅広い知識等を授けることを，シラバスにおいても学生に誤解のないよう周知すること。	遵守事項	附帯事項（１）を踏まえ，「生涯発達支援論」，「人間発達支援方法論」，「社会的思考支援論」について，人間発達プログラム担当者間で，専門性の近い教員の相互チェック並びにプログラム内と外部の相互チェックを行うなど，シラバスの授業計画においても，大学院レベルの質保証が図られていることを明確にし，再度，該当科目について教員審査手続きを行い対応した。 附帯事項（２）を踏まえ，経済学分野の基礎的な内容を充実する観点から，「農業・農村経済学」科目について，農業・農村経済学プログラムにおける基盤的性格を持ち，基礎から応用に至る高度な専門分析能力の養成を試みる。加えて社会デザイン科学専攻他プログラム及び工農総合科学専攻に所属する院生を受け入れ，それらの院生にも経済学の基礎知識を修得できるような学際的講義の性格を持たせる。こうした授業の性格を踏まえて，基礎科学である経済学，経営学，歴史学，社会学等の今日的論点と課題を整理するとともに，農業・農村経済学を構成する専門領域の理論と問題構図を今日の食料・農業・農村問題に引きつける授業の内容にシラバスを修正するとともにし，再度，「農業・農村経済学」科目について教員審査手続きを行い対応した。 附帯事項（３）を踏まえ，グローバル・エリアスタディーズプログラムにおける，エリアスタディーズ科目群における国名を冠した科目「タイの開発と地域社会Ⅰ，Ⅱ」，「東アジアの国際政治と歴史Ⅰ，Ⅱ」，「東アジアの歴史と文化Ⅰ，Ⅱ」，「日本の自然と地域生活Ⅰ，Ⅱ」，「アメリカの経済と金融Ⅰ，Ⅱ」，「ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ，Ⅱ」，「中東地域の政治と社会Ⅰ，Ⅱ」，「東アフリカの社会開発と文化Ⅰ，Ⅱ」に係るシラバスについて，社会をデザインする能力を育成するのにふさわしい幅広い知識等を授けることを学生に誤解のないよう，いずれも	履行済	

			グローバリゼーションを理解するうえで重要であり，これらの学習を通じて，日本及び世界各地で発生している諸問題を理解・解決するための高度な知識・技術を修得して， グローバルな観点から社会をデザインする能力を涵養することを記載のうえ修正した。		
認　可　時 （令和元年）	コミュニティデザイン学プログラムにおいて，「急速な社会の変容や多様化，複雑化する地域課題に対応するとともに，地域社会をより豊かで持続可能にするために求められるコミュニティデザインを実現する能力」を養成することを目的としているため，「共生社会論」や「農村社会学」を本プログラムにも必要な科目として位置付けるとともに，例えば，「地域社会学」や「都市社会学」に関連する科目を開設することや特任教員等を活用した教育体制の充実を図ることで設置計画を着実に履行すること。	遵守事項	附帯事項を踏まえ，他の学位プログラム開講科目でコミュニティを構成する多様なアクターが共生する社会の可能性を学ぶ「共生社会論」及び少子高齢化の中でその持続可能性が現代の最重要課題である農村の未来を地域社会の構造に関する学問的営為に根ざして分析する「農村社会学」については，コミュニティデザイン学プログラムにおける人材像「急速な社会の変容や多様化，複雑化する地域課題に対応するとともに，地域社会をより豊かで持続可能にするために求められるコミュニティデザインを実現する能力」に強く関連づいているため選択必修科目とするとともに，都市社会学，地域社会学の研究を読み解くことを通じて，都市・地域コミュニティにおける人々や集団の実践をマクロな都市・地域社会構造のなかに位置づけて理解するための視点を身につけることを目標とした「都市と地域の社会学」を新たに「社会システムデザイン科目」として選択必修科目（１年前期１単位）に配置し対応している。	履行中	「都市と地域の社会学」については，兼任教員で対応しているが，今後，教育体制の充実を図るためコミュニティデザイン学プログラム専任教員の採用等について，人件費を踏まえ検討している。

認　可　時 （令和元年）	修士論文を課さないコースワークについて，以下の点を踏まえ，設置計画を着実に履行すること。 （１）ＴＡ，チューターなどの教育活動の不確定要素をもって評価することや，既に単位認定している授業科目のGPAを評価項目に含めることについて，学位の質保証が担保されるよう努めること。 （２）修了要件や評価体制，最終試問を含めた修了までのプロセスについて，学生に対して具体的な内容が理解されるよう確実に周知すること。 （３）課題に対する研究成果や社会活動における社会的な受賞について，想定している研究成果や社会的な受賞の具体的な内容について，事前に学生に対して周知すること。	遵守事項	附帯事項を踏まえ，コースワークの対象となる各学位プログラムにおいて，総合評価スコアにおけるＴＡ，チューターなどの教育活動の不確定要素について，統一した具体的な基準で評価することや，既に単位認定している授業科目のGPAを評価項目に含めること等について検討した。その結果，対象となる各学位プログラムにおいて，これらの不確定要素等について，統一した具体的な基準を策定することが困難であること及び学位の質保証を担保する観点から，修士論文を課さないコースワークについても，「課題研究報告書（付随する作品等を含む）」の作成・提出を修了要件とした。具体的には，修士論文を課す場合及び修士論文を課さないコースワークの場合について，以下のとおり，修了の要件及び修士論文を課す場合とコースワークの学位評価体制を整理のうえ対応することとし，学生に対し「学生便覧」及び「ガイダンス」等において周知した。 ○修了の要件 「修士論文を課す場合の修了３要件」 １．地域創生リテラシーから10単位以上・専門科目から20単位を修得し、合計30単位以上を修得すること。 ２．修士論文を作成・提出し、審査に合格すること。 ３．修士論文に関する最終試験に合格すること。 「コースワークの修了３要件」 １．地域創生リテラシーから10単位以上・専門科目から20単位を修得し、合計30単位以上を修得すること。 ２．課題研究報告書を作成・提出し、審査に合格すること。課題研究報告書には作品等が付随する場合があり、その場合は課題研究報告書に付随する作品等を含むものとする。 ３．課題研究報告書に関する最終試験に合格すること。	履行中	

				○修士論文を課す場合とコースワークの学位評価体制 ＜学位審査委員会＞ 　学位審査委員会は，①主指導教員１名と②第１副指導教員１名（同じ専門分野），③第２副指導教員１名（他の学位プログラム教員）に④同じ専門分野の教員１名を加えた４名で構成する。なお，④同じ専門分野の教員は，公正性を担保するために「研究科代議員会」で決定する。また，審査委員長（主査）は専門性と客観的な学位の質保証の観点から④同じ専門分野の教員が務め，委員会で意見が分かれた場合には委員長の裁定によるものとする。 ＜修了の審査＞ 　修士論文を課す場合には，学位審査委員会は修士論文の審査を行う。 　また，修士論文を課さない場合には，学位審査委員会は課題研究報告書中心として評価しコースワークの修了要件を満たしているかについて審査を行う。 ＜学位審査プロセス＞ 　学位審査委員会による評価・審査結果について，学位プログラム会議で審議され，その結果は各専攻教授会での審議を経て，研究科代議員会で最終決定する。 　ここに至るプロセスにおいても客観性を保証する観点から，学位審査委員の選出は研究科代議員会で決定する。また，学位論文の審査に関連する中間発表会と最終発表会は原則公開とし，指導教員以外からも多くの教員が参加して，質疑応答を実施する。		

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜地域創生科学研究科　社会デザイン科学専攻＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

〔全学組織〕教育企画会議（別添〔資料３〕「宇都宮大学教育企画会議の運営に関する申合せ」のとおり）

〔地域創生科学研究科〕地域創生科学研究科代議員会

（別添〔資料４〕「宇都宮大学大学院地域創生科学研究科代議員会内規」のとおり）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〔全学組織〕９回（教員１３人、事務１人）

〔地域創生科学研究科〕地域創生科学研究科代議員会（年数回開催、18名）

ｃ　委員会の審議事項等

〔全学組織〕全学的な教育改善、特色ある教育の展開方向

〔地域創生科学研究科〕地域創生科学研究科におけるＦＤに関する事項

②　実施状況

ａ　実施内容

〔全学組織〕

・「全学ＦＤの日」の企画・実施（ベストレクチャー賞受賞者による実践報告、全学シンポジウム等）

・ベストレクチャー賞の選考

・アクティブラーニングに関する教員研修プログラムの実施

・教員相互の授業参観の実施

・授業評価アンケートの実施

ｂ　実施方法

〔全学組織〕

諸会議等における周知及び各学部事務部を通じて教員へ周知の上、実施

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

〔全学組織〕

・全学ＦＤの日　平成30年9月21日実施　午前186名、午後222名の教員が参加

・アクティブラーニングに関する教員研修プログラム　277名の教員が参加

・教員相互の授業参観　199名の教員が参観

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

〔全学組織〕

・授業評価中間アンケート結果は、各教員が直ちに実施中の授業の改善に役立てた。

・学期末の授業評価アンケート結果は、教育企画会議から各教員に送付し、教員から授業改善等のコメントを提出させ、報告書に取りまとめている。

・教員の指導力向上及び学生の学力向上につなげるため、授業評価アンケートの質問項目の見直しを図った。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

〔全学組織〕

・授業評価中間アンケート　6月上旬、11月上旬

・授業評価アンケート　7月中旬、1月中旬

b　教員や学生への公開状況、方法等

〔全学組織〕

授業評価結果については、「学生による授業評価」報告書にとりまとめ、各教員に配布すると共に、附属図書館、学務部で閲覧させている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置申請に沿ったカリキュラムの用意及び研究指導体制等の整備を行い，平成31年４月より学生の受入を開始し，設置計画を着実に実行した。
引き続き，設置の趣旨・目的の達成に向け取り組む。

②　自己点検・評価報告書

a　公表（予定）時期

・未定

b　公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③　認証評価を受ける計画

・平成２７年度に大学として機関別認証評価を実施しており、その後の評価については平成３４年度までに受審することになっている（受審する年度は学内で検討中）。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和元年度）

ａ　ホームページへの公表予定の有無　　（　有（○印）　・　無　）

ｂ　公表有の場合の公表（予定）時期　　（　令和元年５月３１日　）

ｂ　公表無の場合の特段の理由　　（　　　　　　　　　　）

（注）・　今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

国立大学法人　宇都宮大学

（２）大　学　名

宇都宮大学

（３）調査対象大学等の位置

〒３２１－８５０５
栃木県宇都宮市峰町３５０

〒３２１－８５８５
栃木県宇都宮市陽東７の１の２

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　　考
理 事 長	（フリガナ） 氏　　名 （現職就任年月）	（フリガナ） 氏　　名 （現職就任年月）	
学　　長	（イシダ　トモヤス） 石田　朋靖 （平成２７年４月）		
研 究 科 長	（カワタ　シゲオ） 川田　重夫 （平成３１年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
　　令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（5）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
地域創生科学研究科 工農総合科学専攻 修士（光工学） 修士（分子農学） 修士（工学） 修士（農学）	工学関係 農学関係	年 2	人 258	年次 人	人 516	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	人　人 (　) [　]		人　人 (　) [　]		人　人 (　) [　]		人　人 (　) [　]		人　人 258 (−) [−]		1.00倍	−	
志願者数	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	312 (−) [7]	(　) [　]			
受験者数	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	304 (−) [6]	(　) [　]			
合格者数	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	284 (−) [6]	(　) [　]			
B　入学者数	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	260 (−) [6]	(　) [　]			
入学定員超過率 B／A									1.00				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　（　）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　　]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		備　　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ]	[ ]	260 [11]	- [-]	
２年次			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
３年次					[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
４年次							[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ ] ( )		[ ] ( )		[ ] ( )		[ ] ( )		260 [11] (-)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　[　　]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

（５） ー④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	260 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合　計		0 人		人	人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学　・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５） ー⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) / 平成27年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ #DIV/0! %

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ #DIV/0! %

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ #DIV/0! %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) ＝ 0 / 260 ＝ 0 %

（注） ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜工農総合科学専攻＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー 学際的思考力	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2			1	2		1		5
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1			4	3				
	グローカルな視座を養う	1後	1								10
	アカデミックコミュニケーション	2通	2			7	1				8
文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1		1					
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1							1
	観光地理学研究	1後		1							1
	ソーシャルビジネス論	1前		1							1
	防災と国際協力Ⅰ	1後		1							1
	環境問題とガバナンスⅠ	1後		1							1
	人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1							1
	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1							1
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1							1
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1							1
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1							1
	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1							1
	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1							1
	日本語論述表現法Ⅰ	1前		1							1
	アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1							1
	フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1							1
	西洋史研究Ⅰ	1前		1							1
	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1							1
	ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1							1
	多文化教育研究Ⅰ	1後		1							1
	シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1							1
	日本文化研究Ⅰ	1後		1							1
	文化人類学研究Ⅰ	1前		1							1
	英語学研究Ⅰ	1後		1							1
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1							1
	西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1							1
	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1							1
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1							1
	技術日本語	1前		1				1			
実践力	実践インターンシップ	1･2前･後		2		1	1		1		
	実践フィールドワーク	1･2前･後		2							1
	創成工学プロジェクト演習	1前		2		1	1		1		
	International Political Economy	1前		2							1
	Global Management	1前		2							1
	Globalization and Society	1後		2							1
	国際インターンシップ	1･2前･後		2		1					
	臨地研究	1･2前･後		2							2
	小計（41科目）	―	6	45	0	9	5	1	2	0	50
境界・学際領域科目	基礎光学	1前		1					1		
	光学基盤技術	1後		1							4
	遺伝子情報解析技術論	1前		1		1					
	細胞解析技術論	1前		1			1				
	質量分析装置解析技術論	1後		1			1				
	バイオデザイン・プロセス学	1後		1			2				
	環境分析化学	1後		1		2					
	化学システム工学	1後		1			1				
	物質プロセス工学	2前		1			1				
	分子生理化学	2前		1			2				
	界面化学	2前		1		1					
	食品機能科学	1後		1		2		1			
	材料組織評価学	1前		2			1				

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー 学際的思考力	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2			1	2		1		5
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1			4	3				
	グローカルな視座を養う	1後	1								10
	アカデミックコミュニケーション	2通	2			7	1				8
文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1		1					
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1							1
	観光地理学研究	1後		1							1
	ソーシャルビジネス論	1前		1							1
	防災と国際協力Ⅰ	1後		1							1
	環境問題とガバナンスⅠ	1後		1							1
	人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1							1
	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1							1
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1							1
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1							1
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1							1
	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1							1
	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1							1
	日本語論述表現法Ⅰ	1前		1							1
	アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1							1
	フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1							1
	西洋史研究Ⅰ	1前		1							1
	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1							1
	ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1							1
	多文化教育研究Ⅰ	1後		1							1
	シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1							1
	日本文化研究Ⅰ	1後		1							1
	文化人類学研究Ⅰ	1前		1							1
	英語学研究Ⅰ	1後		1							1
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1							1
	西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1							1
	Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1							1
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1							1
	技術日本語	1前		1				1			
実践力	実践インターンシップ	1･2前･後		2		1	1		1		
	実践フィールドワーク	1･2前･後		2							1
	創成工学プロジェクト演習	1前		2		1	1		1		
	International Political Economy	1前		2							1
	Global Management	1前		2							1
	Globalization and Society	1後		2							1
	国際インターンシップ	1･2前･後		2		1					
	臨地研究	1･2前･後		2							2
	小計（41科目）	―	6	45	0	9	5	1	2	0	50
境界・学際領域科目	基礎光学	1前		1					1		
	光学基盤技術	1後		1							4
	遺伝子情報解析技術論	1前		1		1					
	細胞解析技術論	1前		1			1				
	質量分析装置解析技術論	1後		1			1				
	バイオデザイン・プロセス学	1後		1			2				
	環境分析化学	1後		1		2					
	化学システム工学	1後		1			1				
	物質プロセス工学	2前		1			1				
	分子生理化学	2前		1			2				
	界面化学	2前		1		1					
	食品機能科学	1後		1		2		1			
	材料組織評価学	1前		2			1				

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
境界・学際領域科目		生体機械工学	1前		2		1					
		マイクロ・ナノ工学	1後		2		1					
		メカトロニクス制御	1後		2		1					
		基礎／発展　電磁気学	1前		2					1		
		量子エレクトロニクス	1後		2			1				
		エンジニアコーチング	1前		1		1					1
		情報電気電子システム工学特別講義	1・2後		1		1					
		スマート農林業	1後		1		6	1				
		政策課題演習	1後		1		6	1				
		小計（22科目）	―	0	28	0	16	11	1	2	0	5
光工学プログラム	プログラム専門科目	Scientific Writing	2前		1		1					
		波動光学	1・2前		2		1					
		光計測	1・2後		2		1					
		光導波路デバイス	1・2後		2		1					
		情報光学	1・2後		2		1					
		レーザープラズマ工学	1・2前		2		1					
		光学設計	1後		2							1
		数理光物理学	1・2前		2			1				
		感性情報処理	1・2前		2		1					
		先端フォトニクス	1・2前		2			1				
		オプトメカトロニクス	1・2前		2		1					
		光学システム科学	1・2後		2					1		
		可視化情報工学	1・2後		2			1				
		画像工学	1後		2							2
		ディスプレイ工学	1・2後		2			1				
		パワーレーザー工学	1・2前		2							1
		光工学特別演習	1～2通		4		9	12	1	5		
		光工学特別研究	1～2通		6		9	12	1	5		
		小計（18科目）	―	0	41	0	9	12	1	5	0	4
分子農学プログラム	プログラム専門科目	植物分子保護学	1・2後		2			1		1		
		植物分子遺伝育種学	1・2後		2			2	1			
		分子植物生理学	1・2前		2			2		1		
		分子進化生態学	1・2後		2			1				
		動物分子生理学	1・2前		2		1					
		動物生殖遺伝学	1・2後		2		1	1				
		分子農学特別演習	1～2通		4		11	15	1	6		
		分子農学特別研究	1～2通		6		11	15	1	6		
		小計（8科目）	―	0	22	0	11	15	1	6	0	0
物質環境化学プログラム	プログラム専門科目	物理化学要論	1前		2		2	1				
		分子構造化学	1前		2		6	9				
		分子機能化学	1後		2		2	2				
		物質・環境工学	1後		2		1	3				
		物質環境化学特別演習	1～2通		4		14	16	2	5		
		物質環境化学特別研究	1～2通		6		14	16	2	5		
		小計（6科目）	―	0	18	0	14	16	2	5	0	0
農芸化学プログラム	プログラム専門科目	フロンティア農芸化学	1前		2		4					
		生理活性物質化学	1前		2			2				
		栄養生理化学	2前		2		2		1			
		植物機能化学	1後		2		2	1				
		科学技術と私たちの暮らし	1前		2		1					
		農芸化学特別演習	1～2通		4		16	16	3	6		
		農芸化学特別研究	1～2通		6		16	16	3	6		
		小計（7科目）	―	0	20	0	16	16	3	6	0	0
機械知能工学プログラム	プログラム専門科目	実験流体力学	1後		2		1					
		材料・接合工学	1前		2		1					
		生産技術工学	1前		2			1				
		先端精密加工工学	1後		2			1				
		成形プロセス工学	1前		2			1				
		力学系理論	1前		2			1				
		確率システム理論	1後		2		1					
		ロボット技術	1後		2		1					
		知能ロボット	1後		2			1				
		幾何数理機械工学	1前		2			1				
		非線形現象の幾何学Ⅰ	1前		2		1					
		非線形現象の幾何学Ⅱ	1後		2		1					
		機械知能工学特別演習	1～2通		4		10	11	1	5		
		機械知能工学特別研究	1～2通		6		10	11	1	5		
		小計（14科目）	―	0	34	0	10	11	1	5	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
境界・学際領域科目		生体機械工学	1前		2		1					
		マイクロ・ナノ工学	1後		2		1					
		メカトロニクス制御	1後		2		1					
		基礎／発展　電磁気学	1前		2					1		
		量子エレクトロニクス	1後		2			1				
		エンジニアコーチング	1前		1		1					1
		情報電気電子システム工学特別講義	1・2後		1		1					
		スマート農林業	1後		1		6	1				
		政策課題演習	1後		1		6	1				
		小計（22科目）	―	0	28	0	16	11	1	2	0	5
光工学プログラム	プログラム専門科目	Scientific Writing	2前		1		1					
		波動光学	1・2前		2		1					
		光計測	1・2後		2		1					
		光導波路デバイス	1・2後		2		1					
		情報光学	1・2後		2		1					
		レーザープラズマ工学	1・2前		2		1					
		光学設計	1後		2							1
		数理光物理学	1・2前		2			1				
		感性情報処理	1・2前		2		1					
		先端フォトニクス	1・2前		2			1				
		オプトメカトロニクス	1・2前		2		1					
		光学システム科学	1・2後		2					1		
		可視化情報工学	1・2後		2			1				
		画像工学	1後		2							2
		ディスプレイ工学	1・2後		2			1				
		パワーレーザー工学	1・2前		2							1
		光工学特別演習	1～2通		4		9	12	1	5		
		光工学特別研究	1～2通		6		9	12	1	5		
		小計（18科目）	―	0	41	0	9	12	1	5	0	4
分子農学プログラム	プログラム専門科目	植物分子保護学	1・2後		2			1		1		
		植物分子遺伝育種学	1・2後		2			2	1			
		分子植物生理学	1・2前		2			2		1		
		分子進化生態学	1・2後		2			1				
		動物分子生理学	1・2前		2		1					
		動物生殖遺伝学	1・2後		2		1	1				
		分子農学特別演習	1～2通		4		11	15	1	6		
		分子農学特別研究	1～2通		6		11	15	1	6		
		小計（8科目）	―	0	22	0	11	15	1	6	0	0
物質環境化学プログラム	プログラム専門科目	物理化学要論	1前		2		2	1				
		分子構造化学	1前		2		6	9				
		分子機能化学	1後		2		2	2				
		物質・環境工学	1後		2		1	3				
		物質環境化学特別演習	1～2通		4		14	16	2	5		
		物質環境化学特別研究	1～2通		6		14	16	2	5		
		小計（6科目）	―	0	18	0	14	16	2	5	0	0
農芸化学プログラム	プログラム専門科目	フロンティア農芸化学	1前		2		4					
		生理活性物質化学	1前		2			2				
		栄養生理化学	2前		2		2		1			
		植物機能化学	1後		2		2	1				
		科学技術と私たちの暮らし	1前		2		1					
		農芸化学特別演習	1～2通		4		16	16	3	6		
		農芸化学特別研究	1～2通		6		16	16	3	6		
		小計（7科目）	―	0	20	0	16	16	3	6	0	0
機械知能工学プログラム	プログラム専門科目	実験流体力学	1後		2		1					
		材料・接合工学	1前		2		1					
		生産技術工学	1前		2			1				
		先端精密加工工学	1後		2			1				
		成形プロセス工学	1前		2			1				
		力学系理論	1前		2			1				
		確率システム理論	1後		2		1					
		ロボット技術	1後		2		1					
		知能ロボット	1後		2			1				
		幾何数理機械工学	1前		2			1				
		非線形現象の幾何学Ⅰ	1前		2		1					
		非線形現象の幾何学Ⅱ	1後		2		1					
		機械知能工学特別演習	1～2通		4		10	12	1	5		
		機械知能工学特別研究	1～2通		6		10	12	1	5		
		小計（14科目）	―	0	34	0	10	12	1	5	0	0

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
情報電気電子システム工学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	数理科学特論	1前		2		1					
			数理解析特論	1後		2			1				
			非線形解析特論	1前		2		1					
			応用数学特論	1後		2			1				
		基盤要素技術科目	信号処理特論	1後		2		1					
			ソフトウェア概論	1前		2		1					
			データ工学	1後		2			1				
			ディジタル画像工学	1後		2		1					
			音響情報工学	1後		2		1					
			情報量統計学	1前		2			1				
			超伝導エレクトロニクス	1前		2		1					
			スピントロニクス	1後		2			1				
			光制御回路工学	1前		2			1				
			マイクロ波・ミリ波回路工学	1前		2			1				
			エネルギー科学	1前		1		1					
			レーザー工学	1前		2		1					
			電気自動車	1前		2			1				
			アドバンストパワーエレクトロニクス	1前		2		1					
			ロバスト制御理論	1前		2		1					
			材料物性の量子論	1前		2		1					
			ソリッドステートの物理	1後		2			1				
		システム応用技術科目	応用情報システム特論	1後		2		1					
			情報ネットワーク特論	1前		2			1				
			計算機アーキテクチャ特論	1前		2			1				
			スマートシティーテクノロジー	1後		1		1					
			大規模システム最適化	1前		2			1				
			システムバイオロジー	1後		2			1				
			画像復元処理特論	1後		2		1					
			感性情報処理システム	1後		2			1				
			コンピュータグラフィックス特論	1後		2			1				
			ネットワークコンピューティング特論	1後		2		1					
			情報電気電子システム工学特別演習	1～2通		4		16	23		11		
			情報電気電子システム工学特別研究	1～2通		6		16	23		11		
			小計（33科目）	―	0	70	0	16	23	0	11	0	0
農業生産環境保全学プログラム	プログラム専門科目		地球環境史特論	1前		1		1					
			作物生理生態学	1前		1		1					
			植物栄養・肥料学	1前		1		1					
			地域土壌圏科学	1前		1		1					
			園芸作物生理学	1前		1		1					
			植物細菌学	1後		1			1				
			作物生産技術の現状と課題，展望	1後		1			1				
			園芸フィールド生理学	1前		1					1		
			作物品種改良学	1後		1		1					
			防除分子生態学	1後		1		1					
			生物とウイルスの関係学	1後		1			1				
			動物行動管理学	1後		1			1				
			動物形態学	1前		1				1			
			ヒトと動物の関係学	1後		1		1					
			雑草管理学	1前		1		1					
			植生管理学	1前		1			1				
			野生動物管理学	1前		1			1				
			生物生産環境情報工学	1前		1		1					
			生物環境調節学	1後		1		1					
			生物生産機械学	1後		1		1					
			生物環境システム工学	1後		1			1				
			食品流通工学	1前		1					1		
			生産流通システム工学	1後		1			1				
			植物生産環境学	1後		1					1		
			Scientific English	1前		1			1				
			農業生産環境保全学特別講義Ⅰ	1通		1		1					4
			農業生産環境保全学特別講義Ⅱ	1通		1		1					4
			農業生産環境保全学特別講義Ⅲ	1通		1		3	2		1		
			農業生産環境保全学特別演習	1～2通		4		27	23	2	10		
			農業生産環境保全学特別研究	1～2通		6		27	23	2	10		
			小計（30科目）	―	0	38	0	27	23	2	10	0	8

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
情報電気電子システム工学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	数理科学特論	1前		2		1					
			数理解析特論	1後		2			1				
			非線形解析特論	1前		2		1					
			応用数学特論	1後		2			1				
		基盤要素技術科目	信号処理特論	1後		2		1					
			ソフトウェア概論	1前		2		1					
			データ工学	1後		2			1				
			ディジタル画像工学	1後		2		1					
			音響情報工学	1後		2		1					
			情報量統計学	1前		2			1				
			超伝導エレクトロニクス	1前		2		1					
			スピントロニクス	1後		2			1				
			光制御回路工学	1前		2			1				
			マイクロ波・ミリ波回路工学	1前		2			1				
			エネルギー科学	1前		1		1					
			レーザー工学	1前		2		1					
			電気自動車	1前		2			1				
			アドバンストパワーエレクトロニクス	1前		2		1					
			ロバスト制御理論	1前		2		1					
			材料物性の量子論	1前		2		1					
			ソリッドステートの物理	1後		2			1				
		システム応用技術科目	応用情報システム特論	1後		2		1					
			情報ネットワーク特論	1前		2		1					
			計算機アーキテクチャ特論	1前		2			1				
			スマートシティーテクノロジー	1後		1		1					
			大規模システム最適化	1前		2			1				
			システムバイオロジー	1後		2			1				
			画像復元処理特論	1後		2		1					
			感性情報処理システム	1後		2			1				
			コンピュータグラフィックス特論	1後		2			1				
			ネットワークコンピューティング特論	1後		2		1					
			情報電気電子システム工学特別演習	1～2通		4		16	22		10		
			情報電気電子システム工学特別研究	1～2通		6		16	22		10		
			小計（33科目）	―	0	70	0	16	22	0	10	0	0
農業生産環境保全学プログラム	プログラム専門科目		地球環境史特論	1前		1		1					
			作物生理生態学	1前		1		1					
			植物栄養・肥料学	1前		1		1					
			地域土壌圏科学	1前		1		1					
			園芸作物生理学	1前		1		1					
			植物細菌学	1後		1			1				
			作物生産技術の現状と課題，展望	1後		1			1				
			園芸フィールド生理学	1前		1					1		
			作物品種改良学	1後		1		1					
			防除分子生態学	1後		1		1					
			生物とウイルスの関係学	1後		1			1				
			動物行動管理学	1後		1			1				
			動物形態学	1前		1				1			
			ヒトと動物の関係学	1後		1		1					
			雑草管理学	1前		1		1					
			植生管理学	1前		1			1				
			野生動物管理学	1前		1			1				
			生物生産環境情報工学	1前		1		1					
			生物環境調節学	1後		1		1					
			生物生産機械学	1後		1		1					
			生物環境システム工学	1後		1			1				
			食品流通工学	1前		1					1		
			生産流通システム工学	1後		1			1				
			植物生産環境学	1後		1					1		
			Scientific English	1前		1			1				
			農業生産環境保全学特別講義Ⅰ	1通		1		1					4
			農業生産環境保全学特別講義Ⅱ	1通		1		1					4
			農業生産環境保全学特別講義Ⅲ	1通		1		3	2		1		
			農業生産環境保全学特別演習	1～2通		4		27	23	2	10		
			農業生産環境保全学特別研究	1～2通		6		27	23	2	10		
			小計（30科目）	―	0	38	0	27	23	2	10	0	8

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
森林生産保全学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	森林生産育林学	1前		1		1	1				
			森林管理政策学	1前		1		1	1		1		
			森林工学	1前		1		1	1				
			森林生産利用学	1前		1		1		1			
		応用科目	森林生態育林学	1前		1		1					
			治山砂防学	1前		1		1					
			森林政策学	1前		1		1					
			森林管理計画学	1前		1			1				
			森林作業学	1前		1			1				
			森林植物学	1後		1			1				
			森林経済学	1前		1					1		
			樹木木質学	1前		1		1					
			森林資源管理学	1後		1				1			
			森林生産保全学特別講義	1通		1		4	3	1	1		
			森林生産保全学特別演習	1~2通		4		23	15	1	7		
			森林生産保全学特別研究	1~2通		6		23	15	1	7		
			小計(16科目)	—	0	24	0	23	15	1	7	0	0
合計(195科目)				−	6	312	0	60	62	6	28	0	67

卒業要件及び履修方法

修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目(「特別演習」「特別研究」を含む)から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。
なお，地域創生リテラシー科目は，「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。

光工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)，光学基盤技術(1単位)，遺伝子情報解析技術論(1単位)，細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単位)から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の光工学特別演習(4単位)及び光工学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。

分子農学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)，光学基盤技術(1単位)，遺伝子情報解析技術論(1単位)，細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単位)から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の分子農学特別演習(4単位)及び分子農学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

物質環境化学プログラム
・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)，環境分析化学(1単位)，化学システム工学(1単位)，物質プロセス工学(1単位)，分子生理化学(1単位)，界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の物質環境化学特別演習(4単位)及び物質環境化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

農芸化学プログラム
・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)，環境分析化学(1単位)，化学システム工学(1単位)，物質プロセス工学(1単位)，分子生理化学(1単位)，界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の農芸化学特別演習(4単位)及び農芸化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

機械知能工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の材料組織評価学(2単位)，生体機械工学(2単位)，マイクロ・ナノ工学(2単位)又はメカトロニクス制御(2単位)から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の機械知能工学特別演習(4単位)及び機械知能工学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

情報電気電子システム工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎／発展　電磁気学(2単位)，量子エレクトロニクス(2単位)，エンジニアコーチング(1単位)又は情報電気電子システム工学特別講義(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「基盤要素技術科目」から2単位以上，「システム応用技術科目」から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の情報電気電子システム工学特別演習(4単位)及び情報電気電子システム工学特別研究(6単位)を必ず修得すること。

農業生産環境保全学プログラム
・「境界・学際領域科目」のスマート農林業(1単位)及び政策課題演習(1単位)を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から農業生産環境保全学特別演習(4単位)及び農業生産環境保全学特別研究(6単位)を含み15単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
森林生産保全学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	森林生産育林学	1前		1		1	1				
			森林管理政策学	1前		1		1	1		1		
			森林工学	1前		1		1	1				
			森林生産利用学	1前		1		1		1			
		応用科目	森林生態育林学	1前		1		1					
			治山砂防学	1前		1		1					
			森林政策学	1前		1		1					
			森林管理計画学	1前		1			1				
			森林作業学	1前		1			1				
			森林植物学	1後		1			1				
			森林経済学	1前		1					1		
			樹木木質学	1前		1		1					
			森林資源管理学	1後		1				1			
			森林生産保全学特別講義	1通		1		4	3	1	1		
			森林生産保全学特別演習	1~2通		4		23	14	1	6		
			森林生産保全学特別研究	1~2通		6		23	14	1	6		
			小計(16科目)	—	0	24	0	23	14	1	6	0	0
合計(195科目)				−	6	312	0	60	61	6	27	0	67

卒業要件及び履修方法

修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目(「特別演習」「特別研究」を含む)から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。
なお，地域創生リテラシー科目は，「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。

光工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)，光学基盤技術(1単位)，遺伝子情報解析技術論(1単位)，細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単位)から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の光工学特別演習(4単位)及び光工学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。

分子農学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)，光学基盤技術(1単位)，遺伝子情報解析技術論(1単位)，細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単位)から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の分子農学特別演習(4単位)及び分子農学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

物質環境化学プログラム
・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)，環境分析化学(1単位)，化学システム工学(1単位)，物質プロセス工学(1単位)，分子生理化学(1単位)，界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の物質環境化学特別演習(4単位)及び物質環境化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

農芸化学プログラム
・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)，環境分析化学(1単位)，化学システム工学(1単位)，物質プロセス工学(1単位)，分子生理化学(1単位)，界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の農芸化学特別演習(4単位)及び農芸化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

機械知能工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の材料組織評価学(2単位)，生体機械工学(2単位)，マイクロ・ナノ工学(2単位)又はメカトロニクス制御(2単位)から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の機械知能工学特別演習(4単位)及び機械知能工学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

情報電気電子システム工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎／発展　電磁気学(2単位)，量子エレクトロニクス(2単位)，エンジニアコーチング(1単位)又は情報電気電子システム工学特別講義(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「基盤要素技術科目」から2単位以上，「システム応用技術科目」から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の情報電気電子システム工学特別演習(4単位)及び情報電気電子システム工学特別研究(6単位)を必ず修得すること。

農業生産環境保全学プログラム
・「境界・学際領域科目」のスマート農林業(1単位)及び政策課題演習(1単位)を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から農業生産環境保全学特別演習(4単位)及び農業生産環境保全学特別研究(6単位)を含み15単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

森林生産保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」4単位，「応用科目」から4単位を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の森林生産保全学特別演習（4単位）及び森林生産保全学特別研究（6単位）を必ず修得すること。	森林生産保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」4単位，「応用科目」から4単位を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の森林生産保全学特別演習（4単位）及び森林生産保全学特別研究（6単位）を必ず修得すること。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・准教授の担当授業科目の追加により、「機械知能工学特別演習」、「機械知能工学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授１１」から「准教授１２」に変更。 ・准教授の辞任による担当教員の変更により、「情報ネットワーク特論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。 ・准教授の辞任、助教の辞任により、「情報電気電子システム工学特別演習」、「情報電気電子システム工学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授２３」、「助教１１」から「准教授２２」、「助教１０」に変更。 ・准教授と助教の辞任により、「森林生産保全学特別演習」、「森林生産保全学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授１５」、「助教７」から「准教授１４」、「助教６」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
4 科目	191 科目	0 科目	195 科目	4 科目 [ ]	191 科目 [ ]	0 科目 [ ]	195 科目 [ ]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目（３）と廃止科目（４）の計 / 設置時の計画の授業科目数の計（Ａ） ＝ 0 / 195 ＝ 0 %

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2　授業科目の概要

峰キャンパス

＜工農総合科学専攻＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー		地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2				1		1		2
		現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1			4	3				
		グローカルな視座を養う	1後	1								10
		アカデミックコミュニケーション	2通	2			3	1				5
	学際的思考力	ソーシャルビジネス論	1前		1							1
		防災と国際協力Ⅰ	1後		1							1
		環境問題とガバナンスⅠ	1後		1							1
		人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1							1
		国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1							1
		東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1							1
		ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1							1
		東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1							1
		感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1							1
		グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1							1
		日本語論述表現法Ⅰ	1前		1							1
		アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1							1
		フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1							1
		西洋史研究Ⅰ	1前		1							1
		東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1							1
		ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1							1
		多文化教育研究Ⅰ	1後		1							1
		シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1							1
		日本文化研究Ⅰ	1後		1							1
		文化人類学研究Ⅰ	1前		1							1
		英語学研究Ⅰ	1後		1							1
		外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1							1
		西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1							1
		Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1							1
		日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1							1
	実践力	International Political Economy	1前		2							1
		Global Management	1前		2							1
		Globalization and Society	1後		2							1
		国際インターンシップ	1·2前·後		2		1					
		臨地研究	1·2前·後		2							2
		小計（34科目）	—	6	35	0	6	4	0	1	0	47
境界・学際領域科目		遺伝子情報解析技術論	1前		1		1					
		細胞解析技術論	1前		1			1				
		質量分析装置解析技術論	1後		1			1				
		バイオデザイン・プロセス学	1後		1			2				
		環境分析化学	1後		1		2					
		分子生理化学	2前		1			2				
		食品機能科学	1後		1		2		1			
		スマート農林業	1後		1		6	1				
		政策課題演習	1後		1		6	1				
		小計（9科目）	—	0	9	0	11	7	1	0	0	0

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー		地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2				1		1		2
		現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1			4	3				
		グローカルな視座を養う	1後	1								10
		アカデミックコミュニケーション	2通	2			3	1				5
	学際的思考力	ソーシャルビジネス論	1前		1							1
		防災と国際協力Ⅰ	1後		1							1
		環境問題とガバナンスⅠ	1後		1							1
		人間の安全保障と国連Ⅰ	1前		1							1
		国際人権保障と平和構築Ⅰ	1後		1							1
		東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1前		1							1
		ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1後		1							1
		東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1前		1							1
		感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1後		1							1
		グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ	1前		1							1
		日本語論述表現法Ⅰ	1前		1							1
		アメリカ文化研究Ⅰ	1後		1							1
		フランス思想・文化研究Ⅰ	1後		1							1
		西洋史研究Ⅰ	1前		1							1
		東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1前		1							1
		ジェンダーとアイデンティティⅠ	1前		1							1
		多文化教育研究Ⅰ	1後		1							1
		シティズンシップ教育Ⅰ	1後		1							1
		日本文化研究Ⅰ	1後		1							1
		文化人類学研究Ⅰ	1前		1							1
		英語学研究Ⅰ	1後		1							1
		外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1							1
		西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1							1
		Comparative Study of Contemporary Cultures Ⅰ	1前		1							1
		日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1							1
	実践力	International Political Economy	1前		2							1
		Global Management	1前		2							1
		Globalization and Society	1後		2							1
		国際インターンシップ	1·2前·後		2		1					
		臨地研究	1·2前·後		2							2
		小計（34科目）	—	6	35	0	6	4	0	1	0	47
境界・学際領域科目		遺伝子情報解析技術論	1前		1		1					
		細胞解析技術論	1前		1			1				
		質量分析装置解析技術論	1後		1			1				
		バイオデザイン・プロセス学	1後		1			2				
		環境分析化学	1後		1		2					
		分子生理化学	2前		1			2				
		食品機能科学	1後		1		2		1			
		スマート農林業	1後		1		6	1				
		政策課題演習	1後		1		6	1				
		小計（9科目）	—	0	9	0	11	7	1	0	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
光工学プログラム	プログラム専門科目	光工学特別演習	1~2通		4		4	8	1	1		
		光工学特別研究	1~2通		6		4	8	1	1		
		小計（2科目）	―	0	10	0	4	8	1	1	0	0
分子農学プログラム	プログラム専門科目	植物分子保護学	1･2後		2			1		1		
		植物分子遺伝育種学	1･2後		2			2	1			
		分子植物生理学	1･2前		2			2		1		
		分子進化生態学	1･2後		2			1				
		動物分子生理学	1･2前		2		1					
		動物生殖遺伝学	1･2後		2		1	1				
		分子農学特別演習	1~2通		4		6	11	1	2		
		分子農学特別研究	1~2通		6		6	11	1	2		
		小計（8科目）	―	0	22	0	6	11	1	2	0	0
物質環境化学プログラム	プログラム専門科目	物質環境化学特別演習	1~2通		4		8	7	2			
		物質環境化学特別研究	1~2通		6		8	7	2			
		小計（2科目）	―	0	10	0	8	7	2	0	0	0
農芸化学プログラム	プログラム専門科目	フロンティア農芸化学	1前		2		4					
		生理活性物質化学	1前		2			2				
		栄養生理化学	2前		2		2		1			
		植物機能化学	1後		2		2	1				
		科学技術と私たちの暮らし	1前		2		1					
		農芸化学特別演習	1~2通		4		10	7	3	1		
		農芸化学特別研究	1~2通		6		10	7	3	1		
		小計（7科目）	―	0	20	0	10	7	3	1	0	0
機械知能工学プログラム	プログラム専門科目	機械知能工学特別演習	1~2通		4		3	4	1			
		機械知能工学特別研究	1~2通		6		3	4	1			
		小計（2科目）	―	0	10	0	3	4	1	0	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
光工学プログラム	プログラム専門科目	光工学特別演習	1~2通		4		4	8	1	1		
		光工学特別研究	1~2通		6		4	8	1	1		
		小計（2科目）	―	0	10	0	4	8	1	1	0	0
分子農学プログラム	プログラム専門科目	植物分子保護学	1･2後		2			1		1		
		植物分子遺伝育種学	1･2後		2			2	1			
		分子植物生理学	1･2前		2			2		1		
		分子進化生態学	1･2後		2			1				
		動物分子生理学	1･2前		2		1					
		動物生殖遺伝学	1･2後		2		1	1				
		分子農学特別演習	1~2通		4		6	11	1	2		
		分子農学特別研究	1~2通		6		6	11	1	2		
		小計（8科目）	―	0	22	0	6	11	1	2	0	0
物質環境化学プログラム	プログラム専門科目	物質環境化学特別演習	1~2通		4		8	7	2			
		物質環境化学特別研究	1~2通		6		8	7	2			
		小計（2科目）	―	0	10	0	8	7	2	0	0	0
農芸化学プログラム	プログラム専門科目	フロンティア農芸化学	1前		2		4					
		生理活性物質化学	1前		2			2				
		栄養生理化学	2前		2		2		1			
		植物機能化学	1後		2		2	1				
		科学技術と私たちの暮らし	1前		2		1					
		農芸化学特別演習	1~2通		4		10	7	3	1		
		農芸化学特別研究	1~2通		6		10	7	3	1		
		小計（7科目）	―	0	20	0	10	7	3	1	0	0
機械知能工学プログラム	プログラム専門科目	機械知能工学特別演習	1~2通		4		3	4	1			
		機械知能工学特別研究	1~2通		6		3	4	1			
		小計（2科目）	―	0	10	0	3	4	1	0	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
情報電気電子システム工学プログラム	プログラム専門科目	情報電気電子システム工学特別演習	1～2通		4			7		3		
		情報電気電子システム工学特別研究	1～2通		6			7		3		
		小計（2科目）	ー	0	10	0	0	7	0	3	0	0
農業生産環境保全学プログラム	プログラム専門科目	地球環境史特論	1前		1		1					
		作物生理生態学	1前		1		1					
		植物栄養・肥料学	1前		1		1					
		地域土壌圏科学	1前		1		1					
		園芸作物生理学	1前		1		1					
		植物細菌学	1後		1			1				
		作物生産技術の現状と課題，展望	1後		1			1				
		園芸フィールド生理学	1前		1					1		
		作物品種改良学	1後		1		1					
		防除分子生態学	1後		1		1					
		生物とウイルスの関係学	1後		1			1				
		動物行動管理学	1後		1			1				
		動物形態学	1前		1				1			
		ヒトと動物の関係学	1後		1		1					
		雑草管理学	1前		1		1					
		植生管理学	1前		1			1				
		野生動物管理学	1前		1			1				
		生物生産環境情報工学	1前		1		1					
		生物環境調節学	1後		1		1					
		生物生産機械学	1後		1		1					
		生物環境システム工学	1後		1			1				
		食品流通工学	1前		1					1		
		生産流通システム工学	1後		1			1				
		植物生産環境学	1後		1					1		
		Scientific English	1前		1			1				
		農業生産環境保全学特別講義Ⅰ	1通		1		1					4
		農業生産環境保全学特別講義Ⅱ	1通		1		1					4
		農業生産環境保全学特別講義Ⅲ	1通		1		3	2		1		
		農業生産環境保全学特別演習	1～2通		4		16	11	2	4		
		農業生産環境保全学特別研究	1～2通		6		16	11	2	4		
		小計（30科目）	ー	0	38	0	16	11	2	4	0	8
森林生産保全学プログラム	プログラム専門科目 基盤科目	森林生産育林学	1前		1		1	1				
		森林管理政策学	1前		1		1	1		1		
		森林工学	1前		1		1	1				
		森林生産利用学	1前		1		1		1			
	プログラム専門科目 応用科目	森林生態育林学	1前		1		1					
		治山砂防学	1前		1		1					
		森林政策学	1前		1		1					
		森林管理計画学	1前		1			1				
		森林作業学	1前		1			1				
		森林植物学	1後		1			1				
		森林経済学	1前		1					1		
		樹木木質学	1前		1		1					
		森林資源管理学	1後		1				1			
		森林生産保全学特別講義	1通		1		4	3	1	1		
	プログラム専門科目	森林生産保全学特別演習	1～2通		4		12	5	1	1		
		森林生産保全学特別研究	1～2通		6		12	5	1	1		
		小計（16科目）	ー	0	24	0	12	5	1	1	0	0
合計（112科目）			－	6	206	0	76	71	12	13	0	55

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
情報電気電子システム工学プログラム	プログラム専門科目	情報電気電子システム工学特別演習	1～2通		4			7		3		
		情報電気電子システム工学特別研究	1～2通		6			7		3		
		小計（2科目）	ー	0	10	0	0	7	0	3	0	0
農業生産環境保全学プログラム	プログラム専門科目	地球環境史特論	1前		1		1					
		作物生理生態学	1前		1		1					
		植物栄養・肥料学	1前		1		1					
		地域土壌圏科学	1前		1		1					
		園芸作物生理学	1前		1		1					
		植物細菌学	1後		1			1				
		作物生産技術の現状と課題，展望	1後		1			1				
		園芸フィールド生理学	1前		1					1		
		作物品種改良学	1後		1		1					
		防除分子生態学	1後		1		1					
		生物とウイルスの関係学	1後		1			1				
		動物行動管理学	1後		1			1				
		動物形態学	1前		1				1			
		ヒトと動物の関係学	1後		1		1					
		雑草管理学	1前		1		1					
		植生管理学	1前		1			1				
		野生動物管理学	1前		1			1				
		生物生産環境情報工学	1前		1		1					
		生物環境調節学	1後		1		1					
		生物生産機械学	1後		1		1					
		生物環境システム工学	1後		1			1				
		食品流通工学	1前		1					1		
		生産流通システム工学	1後		1			1				
		植物生産環境学	1後		1					1		
		Scientific English	1前		1			1				
		農業生産環境保全学特別講義Ⅰ	1通		1		1					4
		農業生産環境保全学特別講義Ⅱ	1通		1		1					4
		農業生産環境保全学特別講義Ⅲ	1通		1		3	2		1		
		農業生産環境保全学特別演習	1～2通		4		16	11	2	4		
		農業生産環境保全学特別研究	1～2通		6		16	11	2	4		
		小計（30科目）	ー	0	38	0	16	11	2	4	0	8
森林生産保全学プログラム	プログラム専門科目 基盤科目	森林生産育林学	1前		1		1	1				
		森林管理政策学	1前		1		1	1		1		
		森林工学	1前		1		1	1				
		森林生産利用学	1前		1		1		1			
	プログラム専門科目 応用科目	森林生態育林学	1前		1		1					
		治山砂防学	1前		1		1					
		森林政策学	1前		1		1					
		森林管理計画学	1前		1			1				
		森林作業学	1前		1			1				
		森林植物学	1後		1			1				
		森林経済学	1前		1					1		
		樹木木質学	1前		1		1					
		森林資源管理学	1後		1				1			
		森林生産保全学特別講義	1通		1		4	3	1	1		
	プログラム専門科目	森林生産保全学特別演習	1～2通		4		12	5	1	1		
		森林生産保全学特別研究	1～2通		6		12	5	1	1		
		小計（16科目）	ー	0	24	0	12	5	1	1	0	0
合計（112科目）			－	6	206	0	76	71	12	13	0	55

卒業要件及び履修方法

修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目（「特別演習」「特別研究」を含む）から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。
なお，地域創生リテラシー科目は，「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。

光工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎光学（1単位），光学基盤技術（1単位），遺伝子情報解析技術論（1単位），細胞解析技術論（1単位）又は質量分析装置解析技術論（1単位）から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の光工学特別演習（4単位）及び光工学特別研究（6単位）を含み16単位以上を必ず修得すること。

分子農学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎光学（1単位），光学基盤技術（1単位），遺伝子情報解析技術論（1単位），細胞解析技術論（1単位）又は質量分析装置解析技術論（1単位）から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の分子農学特別演習（4単位）及び分子農学特別研究（6単位）を含み16単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

物質環境化学プログラム
・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学（1単位），環境分析化学（1単位），化学システム工学（1単位），物質プロセス工学（1単位），分子生理化学（1単位），界面化学（1単位）又は食品機能科学（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の物質環境化学特別演習（4単位）及び物質環境化学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

農芸化学プログラム
・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学（1単位），環境分析化学（1単位），化学システム工学（1単位），物質プロセス工学（1単位），分子生理化学（1単位），界面化学（1単位）又は食品機能科学（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の農芸化学特別演習（4単位）及び農芸化学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

機械知能工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の材料組織評価学（2単位），生体機械工学（2単位），マイクロ・ナノ工学（2単位）又はメカトロニクス制御（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の機械知能工学特別演習（4単位）及び機械知能工学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

情報電気電子システム工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎／発展　電磁気学（2単位），量子エレクトロニクス（2単位），エンジニアコーチング（1単位）又は情報電気電子システム工学特別講義（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「基盤要素技術科目」から2単位以上，「システム応用技術科目」から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の情報電気電子システム工学特別演習（4単位）及び情報電気電子システム工学特別研究（6単位）を必ず修得すること。

農業生産環境保全学プログラム
・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から農業生産環境保全学特別演習（4単位）及び農業生産環境保全学特別研究（6単位）を含み15単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

森林生産保全学プログラム
・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」4単位，「応用科目」から4単位を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の森林生産保全学特別演習（4単位）及び森林生産保全学特別研究（6単位）を必ず修得すること。

卒業要件及び履修方法

修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目（「特別演習」「特別研究」を含む）から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。
なお，地域創生リテラシー科目は，「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。

光工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎光学（1単位），光学基盤技術（1単位），遺伝子情報解析技術論（1単位），細胞解析技術論（1単位）又は質量分析装置解析技術論（1単位）から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の光工学特別演習（4単位）及び光工学特別研究（6単位）を含み16単位以上を必ず修得すること。

分子農学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎光学（1単位），光学基盤技術（1単位），遺伝子情報解析技術論（1単位），細胞解析技術論（1単位）又は質量分析装置解析技術論（1単位）から1単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の分子農学特別演習（4単位）及び分子農学特別研究（6単位）を含み16単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

物質環境化学プログラム
・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学（1単位），環境分析化学（1単位），化学システム工学（1単位），物質プロセス工学（1単位），分子生理化学（1単位），界面化学（1単位）又は食品機能科学（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の物質環境化学特別演習（4単位）及び物質環境化学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

農芸化学プログラム
・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学（1単位），環境分析化学（1単位），化学システム工学（1単位），物質プロセス工学（1単位），分子生理化学（1単位），界面化学（1単位）又は食品機能科学（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の農芸化学特別演習（4単位）及び農芸化学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

機械知能工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の材料組織評価学（2単位），生体機械工学（2単位），マイクロ・ナノ工学（2単位）又はメカトロニクス制御（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の機械知能工学特別演習（4単位）及び機械知能工学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

情報電気電子システム工学プログラム
・「境界・学際領域科目」の基礎／発展　電磁気学（2単位），量子エレクトロニクス（2単位），エンジニアコーチング（1単位）又は情報電気電子システム工学特別講義（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「基盤要素技術科目」から2単位以上，「システム応用技術科目」から2単位以上を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の情報電気電子システム工学特別演習（4単位）及び情報電気電子システム工学特別研究（6単位）を必ず修得すること。

農業生産環境保全学プログラム
・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」から農業生産環境保全学特別演習（4単位）及び農業生産環境保全学特別研究（6単位）を含み15単位以上を必ず修得すること。
・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。

森林生産保全学プログラム
・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の「基盤科目」4単位，「応用科目」から4単位を必ず修得すること。
・「プログラム専門科目」の森林生産保全学特別演習（4単位）及び森林生産保全学特別研究（6単位）を必ず修得すること。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

特になし。

（注）・　２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
4 科目	108 科目	0 科目	112 科目	4 科目 [ ]	108 科目 [ ]	0 科目 [ ]	112 科目 [ ]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{112} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

２　授業科目の概要

陽東キャンパス

＜工農総合科学専攻＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー	学際的思考力	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2			1	1				3
		アカデミックコミュニケーション	2通	2			4					3
	学際的思考力 文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1		1					
		農業・農村の組織マネジメント	1後		1							1
		観光地理学研究	1後		1							1
		技術日本語	1前		1				1			
	実践力	実践インターンシップ	1･2前･後		2		1	1		1		
		実践フィールドワーク	1･2前･後		2							1
		創成工学プロジェクト演習	1前		2		1	1		1		
		小計（9科目）	－	4	10	0	7	2	1	1	0	9
境界・学際領域科目		基礎光学	1前		1					1		
		光学基盤技術	1後		1							4
		化学システム工学	1後		1			1				
		物質プロセス工学	2前		1			1				
		界面化学	2前		1		1					
		材料組織評価学	1前		2			1				
		生体機械工学	1前		2		1					
		マイクロ・ナノ工学	1後		2		1					
		メカトロニクス制御	1後		2		1					
		基礎／発展　電磁気学	1前		2					1		
		量子エレクトロニクス	1後		2			1				
		エンジニアコーチング	1前		1		1					1
		情報電気電子システム工学特別講義	1･2後		1		1					
		小計（13科目）	－	0	19	0	5	4	0	2	0	5
光工学プログラム	プログラム専門科目	Scientific Writing	2前		1		1					
		波動光学	1･2前		2		1					
		光計測	1･2後		2		1					
		光導波路デバイス	1･2後		2		1					
		情報光学	1･2後		2		1					
		レーザープラズマ工学	1･2前		2		1					
		光学設計	1後		2							1
		数理光物理学	1･2前		2			1				
		感性情報処理	1･2前		2		1					
		先端フォトニクス	1･2前		2			1				
		オプトメカトロニクス	1･2前		2		1					
		光学システム科学	1･2後		2					1		
		可視化情報工学	1･2後		2			1				
		画像工学	1後		2							2
		ディスプレイ工学	1･2後		2			1				
		パワーレーザー工学	1･2前		2							1
		光工学特別演習	1～2通		4		5	4		4		
		光工学特別研究	1～2通		6		5	4		4		
		小計（18科目）	－	0	41	0	5	4	0	4	0	4
分子農学プログラム	プログラム専門科目	分子農学特別演習	1～2通		4		5	4		4		
		分子農学特別研究	1～2通		6		5	4		4		
		小計（2科目）	－	0	10	0	5	4	0	4	0	0

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
地域創生リテラシー	学際的思考力	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション	1前	2			1	1				3
		アカデミックコミュニケーション	2通	2			4					3
	学際的思考力 文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1		1					
		農業・農村の組織マネジメント	1後		1							1
		観光地理学研究	1後		1							1
		技術日本語	1前		1				1			
	実践力	実践インターンシップ	1･2前･後		2		1	1		1		
		実践フィールドワーク	1･2前･後		2							1
		創成工学プロジェクト演習	1前		2		1	1		1		
		小計（9科目）	－	4	10	0	7	2	1	1	0	9
境界・学際領域科目		基礎光学	1前		1					1		
		光学基盤技術	1後		1							4
		化学システム工学	1後		1			1				
		物質プロセス工学	2前		1			1				
		界面化学	2前		1		1					
		材料組織評価学	1前		2			1				
		生体機械工学	1前		2		1					
		マイクロ・ナノ工学	1後		2		1					
		メカトロニクス制御	1後		2		1					
		基礎／発展　電磁気学	1前		2					1		
		量子エレクトロニクス	1後		2			1				
		エンジニアコーチング	1前		1		1					1
		情報電気電子システム工学特別講義	1･2後		1		1					
		小計（13科目）	－	0	19	0	5	4	0	2	0	5
光工学プログラム	プログラム専門科目	Scientific Writing	2前		1		1					
		波動光学	1･2前		2		1					
		光計測	1･2後		2		1					
		光導波路デバイス	1･2後		2		1					
		情報光学	1･2後		2		1					
		レーザープラズマ工学	1･2前		2		1					
		光学設計	1後		2							1
		数理光物理学	1･2前		2			1				
		感性情報処理	1･2前		2		1					
		先端フォトニクス	1･2前		2			1				
		オプトメカトロニクス	1･2前		2		1					
		光学システム科学	1･2後		2					1		
		可視化情報工学	1･2後		2			1				
		画像工学	1後		2							2
		ディスプレイ工学	1･2後		2			1				
		パワーレーザー工学	1･2前		2							1
		光工学特別演習	1～2通		4		5	4		4		
		光工学特別研究	1～2通		6		5	4		4		
		小計（18科目）	－	0	41	0	5	4	0	4	0	4
分子農学プログラム	プログラム専門科目	分子農学特別演習	1～2通		4		5	4		4		
		分子農学特別研究	1～2通		6		5	4		4		
		小計（2科目）	－	0	10	0	5	4	0	4	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
物質環境化学プログラム	プログラム専門科目	物理化学要論	1前		2		2	1				
		分子構造化学	1前		2		6	9				
		分子機能化学	1後		2		2	2				
		物質・環境工学	1後		2		1	3				
		物質環境化学特別演習	1~2通		4		6	9		5		
		物質環境化学特別研究	1~2通		6		6	9		5		
		小計（6科目）	―	0	18	0	6	9	0	5	0	0
農芸化学プログラム	プログラム専門科目	農芸化学特別演習	1~2通		4		6	9		5		
		農芸化学特別研究	1~2通		6		6	9		5		
		小計（7科目）	―	0	10	0	6	9		5	0	0
機械知能工学プログラム	プログラム専門科目	実験流体力学	1後		2		1					
		材料・接合工学	1前		2		1					
		生産技術工学	1前		2			1				
		先端精密加工学	1後		2			1				
		成形プロセス工学	1前		2			1				
		力学系理論	1前		2			1				
		確率システム理論	1後		2		1					
		ロボット技術	1後		2		1					
		知能ロボット	1後		2			1				
		幾何数理機械工学	1前		2			1				
		非線形現象の幾何学Ⅰ	1前		2		1					
		非線形現象の幾何学Ⅱ	1後		2		1					
		機械知能工学特別演習	1~2通		4		7	7		5		
		機械知能工学特別研究	1~2通		6		7	7		5		
		小計（14科目）	―	0	34	0	8	7	0	5	0	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
物質環境化学プログラム	プログラム専門科目	物理化学要論	1前		2		2	1				
		分子構造化学	1前		2		6	9				
		分子機能化学	1後		2		2	2				
		物質・環境工学	1後		2		1	3				
		物質環境化学特別演習	1~2通		4		6	9		5		
		物質環境化学特別研究	1~2通		6		6	9		5		
		小計（6科目）	―	0	18	0	6	9	0	5	0	0
農芸化学プログラム	プログラム専門科目	農芸化学特別演習	1~2通		4		6	9		5		
		農芸化学特別研究	1~2通		6		6	9		5		
		小計（7科目）	―	0	10	0	6	9		5	0	0
機械知能工学プログラム	プログラム専門科目	実験流体力学	1後		2		1					
		材料・接合工学	1前		2		1					
		生産技術工学	1前		2			1				
		先端精密加工学	1後		2			1				
		成形プロセス工学	1前		2			1				
		力学系理論	1前		2			1				
		確率システム理論	1後		2		1					
		ロボット技術	1後		2		1					
		知能ロボット	1後		2			1				
		幾何数理機械工学	1前		2			1				
		非線形現象の幾何学Ⅰ	1前		2		1					
		非線形現象の幾何学Ⅱ	1後		2		1					
		機械知能工学特別演習	1~2通		4		7	8		5		
		機械知能工学特別研究	1~2通		6		7	8		5		
		小計（14科目）	―	0	34	0	8	8	0	5	0	0

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
情報電気電子システム工学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	数理科学特論	1前		2		1					
			数理解析特論	1後		2			1				
			非線形解析特論	1前		2		1					
			応用数学特論	1後		2			1				
		基盤要素技術科目	信号処理特論	1後		2		1					
			ソフトウェア概論	1前		2		1					
			データ工学	1後		2			1				
			ディジタル画像工学	1後		2		1					
			音響情報工学	1後		2		1					
			情報量統計学	1前		2			1				
			超伝導エレクトロニクス	1前		2		1					
			スピントロニクス	1後		2			1				
			光制御回路工学	1前		2			1				
			マイクロ波・ミリ波回路工学	1前		2			1				
			エネルギー科学	1前		1		1					
			レーザー工学	1前		2		1					
			電気自動車	1前		2			1				
			アドバンストパワーエレクトロニクス	1前		2		1					
			ロバスト制御理論	1前		2		1					
			材料物性の量子論	1前		2		1					
			ソリッドステートの物理	1後		2			1				
		システム応用技術科目	応用情報システム特論	1後		2		1					
			情報ネットワーク特論	1前		2			1				
			計算機アーキテクチャ特論	1前		2			1				
			スマートシティーテクノロジー	1後		1		1					
			大規模システム最適化	1前		2			1				
			システムバイオロジー	1後		2			1				
			画像復元処理特論	1後		2		1					
			感性情報処理システム	1後		2			1				
			コンピュータグラフィックス特論	1後		2			1				
			ネットワークコンピューティング特論	1後		2		1					
			情報電気電子システム工学特別演習	1~2通		4		16	16		8		
			情報電気電子システム工学特別研究	1~2通		6		16	16		8		
	小計（33科目）			—	0	70	0	16	16	0	8	0	0
農業生産環境保全学プログラム	プログラム専門科目		農業生産環境保全学特別演習	1~2通		4		11	12		6		
			農業生産環境保全学特別研究	1~2通		6		11	12		6		
			小計（2科目）	—	0	10	0	11	12	0	6	0	0
森林生産保全学プログラム	プログラム専門科目		森林生産保全学特別演習	1~2通		4		11	10		6		
			森林生産保全学特別研究	1~2通		6		11	10		6		
			小計（2科目）	—	0	10	0	11	10	0	6	0	
合計（106科目）				-	4	232	0	80	77	1	46	0	18

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
情報電気電子システム工学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	数理科学特論	1前		2		1					
			数理解析特論	1後		2			1				
			非線形解析特論	1前		2		1					
			応用数学特論	1後		2			1				
		基盤要素技術科目	信号処理特論	1後		2		1					
			ソフトウェア概論	1前		2		1					
			データ工学	1後		2			1				
			ディジタル画像工学	1後		2		1					
			音響情報工学	1後		2		1					
			情報量統計学	1前		2			1				
			超伝導エレクトロニクス	1前		2		1					
			スピントロニクス	1後		2			1				
			光制御回路工学	1前		2			1				
			マイクロ波・ミリ波回路工学	1前		2			1				
			エネルギー科学	1前		1		1					
			レーザー工学	1前		2		1					
			電気自動車	1前		2			1				
			アドバンストパワーエレクトロニクス	1前		2		1					
			ロバスト制御理論	1前		2		1					
			材料物性の量子論	1前		2		1					
			ソリッドステートの物理	1後		2			1				
		システム応用技術科目	応用情報システム特論	1後		2		1					
			情報ネットワーク特論	1前		2		1					
			計算機アーキテクチャ特論	1前		2			1				
			スマートシティーテクノロジー	1後		1		1					
			大規模システム最適化	1前		2			1				
			システムバイオロジー	1後		2			1				
			画像復元処理特論	1後		2		1					
			感性情報処理システム	1後		2			1				
			コンピュータグラフィックス特論	1後		2			1				
			ネットワークコンピューティング特論	1後		2		1					
			情報電気電子システム工学特別演習	1~2通		4		16	15		7		
			情報電気電子システム工学特別研究	1~2通		6		16	15		7		
	小計（33科目）			—	0	70	0	16	15	0	7	0	0
農業生産環境保全学プログラム	プログラム専門科目		農業生産環境保全学特別演習	1~2通		4		11	12		6		
			農業生産環境保全学特別研究	1~2通		6		11	12		6		
			小計（2科目）	—	0	10	0	11	12	0	6	0	0
森林生産保全学プログラム	プログラム専門科目		森林生産保全学特別演習	1~2通		4		11	9		5		
			森林生産保全学特別研究	1~2通		6		11	9		5		
			小計（2科目）	—	0	10	0	11	9	0	5	0	
合計（106科目）				-	4	232	0	80	76	1	45	0	18

卒業要件及び履修方法
修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目(「特別演習」「特別研究」を含む)から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。 なお，地域創生リテラシー科目は，「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 光工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学（1単位），光学基盤技術（1単位），遺伝子情報解析技術論（1単位），細胞解析技術論（1単位）又は質量分析装置解析技術論（1単位）から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の光工学特別演習（4単位）及び光工学特別研究（6単位）を含み16単位以上を必ず修得すること。 分子農学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学（1単位），光学基盤技術（1単位），遺伝子情報解析技術論（1単位），細胞解析技術論（1単位）又は質量分析装置解析技術論（1単位）から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の分子農学特別演習（4単位）及び分子農学特別研究（6単位）を含み16単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 物質環境化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学（1単位），環境分析化学（1単位），化学システム工学（1単位），物質プロセス工学（1単位），分子生理化学（1単位），界面化学（1単位）又は食品機能科学（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の物質環境化学特別演習（4単位）及び物質環境化学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 農芸化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学（1単位），環境分析化学（1単位），化学システム工学（1単位），物質プロセス工学（1単位），分子生理化学（1単位），界面化学（1単位）又は食品機能科学（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農芸化学特別演習（4単位）及び農芸化学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 機械知能工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の材料組織評価学（2単位），生体機械工学（2単位），マイクロ・ナノ工学（2単位）又はメカトロニクス制御（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の機械知能工学特別演習（4単位）及び機械知能工学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 情報電気電子システム工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎／発展　電磁気学（2単位），量子エレクトロニクス（2単位），エンジニアコーチング（1単位）又は情報電気電子システム工学特別講義（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「基盤要素技術科目」から2単位以上，「システム応用技術科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の情報電気電子システム工学特別演習（4単位）及び情報電気電子システム工学特別研究（6単位）を必ず修得すること。 農業生産環境保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業生産環境保全学特別演習（4単位）及び農業生産環境保全学特別研究（6単位）を含み15単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 森林生産保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」4単位，「応用科目」から4単位を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の森林生産保全学特別演習（4単位）及び森林生産保全学特別研究（6単位）を必ず修得すること。

卒業要件及び履修方法
修了要件は，地域創生リテラシー科目から10単位以上，境界・学際領域科目及びプログラム専門科目(「特別演習」「特別研究」を含む)から20単位以上の計30単位以上を修得し，かつ，修士論文の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。 なお，地域創生リテラシー科目は，「文系科目群」から2単位以上，「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 光工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学（1単位），光学基盤技術（1単位），遺伝子情報解析技術論（1単位），細胞解析技術論（1単位）又は質量分析装置解析技術論（1単位）から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の光工学特別演習（4単位）及び光工学特別研究（6単位）を含み16単位以上を必ず修得すること。 分子農学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学（1単位），光学基盤技術（1単位），遺伝子情報解析技術論（1単位），細胞解析技術論（1単位）又は質量分析装置解析技術論（1単位）から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の分子農学特別演習（4単位）及び分子農学特別研究（6単位）を含み16単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 物質環境化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学（1単位），環境分析化学（1単位），化学システム工学（1単位），物質プロセス工学（1単位），分子生理化学（1単位），界面化学（1単位）又は食品機能科学（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の物質環境化学特別演習（4単位）及び物質環境化学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 農芸化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学（1単位），環境分析化学（1単位），化学システム工学（1単位），物質プロセス工学（1単位），分子生理化学（1単位），界面化学（1単位）又は食品機能科学（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農芸化学特別演習（4単位）及び農芸化学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 機械知能工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の材料組織評価学（2単位），生体機械工学（2単位），マイクロ・ナノ工学（2単位）又はメカトロニクス制御（2単位）から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の機械知能工学特別演習（4単位）及び機械知能工学特別研究（6単位）を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 情報電気電子システム工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎／発展　電磁気学（2単位），量子エレクトロニクス（2単位），エンジニアコーチング（1単位）又は情報電気電子システム工学特別講義（1単位）から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上，「基盤要素技術科目」から2単位以上，「システム応用技術科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の情報電気電子システム工学特別演習（4単位）及び情報電気電子システム工学特別研究（6単位）を必ず修得すること。 農業生産環境保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業生産環境保全学特別演習（4単位）及び農業生産環境保全学特別研究（6単位）を含み15単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で，教育上有益と認めるときは，他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 森林生産保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業（1単位）及び政策課題演習（1単位）を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」4単位，「応用科目」から4単位を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の森林生産保全学特別演習（4単位）及び森林生産保全学特別研究（6単位）を必ず修得すること。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（1）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・准教授の担当授業科目の追加により、「機械知能工学特別演習」、「機械知能工学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授７」から「准教授８」に変更。 ・准教授の辞任による担当教員の変更により、「情報ネットワーク特論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。 ・准教授の辞任、助教の辞任により、「情報電気電子システム工学特別演習」、「情報電気電子システム工学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授１６」、「助教８」から「准教授１５」、「助教７」に変更。 ・准教授と助教の辞任により、「森林生産保全学特別演習」、「森林生産保全学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授１０」、「助教６」から「准教授９」、「助教５」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。

・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
2 科目	104 科目	0 科目	106 科目	2 科目 [ ]	104 科目 [ ]	0 科目 [ ]	106 科目 [ ]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{106} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　分		内	容			備考
(1) 校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	~~217,267㎡~~ 220,087㎡	0㎡	0㎡	~~217,267㎡~~ 220,087㎡	大学全体 誤記による修正（元）
	運動場用地	125,768㎡	0㎡	0㎡	125,768㎡	
	小　計	~~343,035㎡~~ 345,855㎡	0㎡	0㎡	~~343,035㎡~~ 345,855㎡	
	そ の 他	~~8,578,250㎡~~ 8,575,430㎡	0㎡	0㎡	~~8,578,250㎡~~ 8,575,430㎡	
	合　計	~~8,918,435㎡~~ 8,921,285㎡	0㎡	0㎡	~~8,918,435㎡~~ 8,921,285㎡	

	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	備考
(2) 校　舎	111,846㎡ （113,120㎡）	㎡ （㎡）	㎡ （㎡）	111,846㎡ （113,120㎡）	大学全体

	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
(3) 教室等	77室	75室	296室	15室 （補助職員　5人）	7室 （補助職員　0人）	大学全体

	新設学部等の名称	室数
(4) 専任教員研究室	地域創生科学研究科	271室

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	研究科単位での特定不能なため，大学全体の数
	地域創生科学研究科	~~655,012〔148,385〕~~ 657,388〔150,898〕 ~~(649,694〔148,385〕)~~ (652,819〔149,999〕)	~~13,600〔3,866〕~~ 14,607〔4,086〕 ~~(12,024〔3,542〕)~~ (14,321〔4,006〕)	~~5,449〔5,449〕~~ 6,302〔6,246〕 ~~(5,449〔5,449〕)~~ (6,302〔6,246〕)	~~4,694~~ 6,283 ~~(4,694)~~ (6,283)	（　）	（　）	30年度購入及び不要本の除却等にて増減（元）
	計	~~655,012〔148,385〕~~ 657,388〔150,898〕 ~~(649,694〔148,385〕)~~ (652,819〔149,999〕)	~~13,600〔3,866〕~~ 14,607〔4,086〕 ~~(12,024〔3,542〕)~~ (14,321〔4,006〕)	~~5,449〔5,449〕~~ 6,302〔6,246〕 ~~(5,449〔5,449〕)~~ (6,302〔6,246〕)	~~4,694~~ 6,283 ~~(4,694)~~ (6,283)	（　）	（　）	

	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
(6) 図書館	8,040㎡	743	631,721

	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
(7) 体育館	3,366㎡	武道場（870㎡）	陸上競技場１面
		野球場２面	サッカー・ラグビー場１面
		テニスコート９面	プール（25m用）

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要		区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度
	経費の見積り	教員１人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円

		第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	学生１人当り納付金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	宇都宮大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
地域ﾃﾞｻﾞｲﾝ科学部			3年次					平28	栃木県宇都宮市陽東7－1－2	
ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	50	0	200	学士（ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	1.06	平成31		同上	
建築都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	50	3	206	学士（工学）	1.05	平成31		同上	
社会基盤ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3	166	学士（工学）	1.07	平成31		同上	
国際学部			3年次		学士(国際学)			平6	栃木県宇都宮市峰町350	
国際学科	4	90	10	380		1.08	平成31		同上	平成29年度より学生募集開始
国際社会学科	4	－	－	－		－			同上	平成29年度より学生募集停止
国際文化学科	4	－	－	－		－			同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部					学士(教育学)			昭24	栃木県宇都宮市峰町350	
学校教育教員養成課程	4	170		680		1.02			同上	
総合人間形成課程	4	－		－		－			同上	平成28年度より学生募集停止
工学部			3年次		学士(工学)			昭39	栃木県宇都宮市陽東7－1－2	
基盤工学科	4	315	26			1.05	令和4			平成31年度より学生募集開始
機械ｼｽﾃﾑ工学科	4	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
応用化学科	4	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
情報工学科	4	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
建設学科	4	－	－	－		－			同上	平成28年度より学生募集停止
農学部			3年次		学士(農学)			昭24	栃木県宇都宮市峰町350	
生物資源科学科	4	63		252		1.05			同上	平成25年度より学生募集開始
応用生命化学科	4	32		128		1.01			同上	平成25年度より学生募集開始
農業環境工学科	4	32	18	128 36		1.05			同上	
農業経済学科	4	36		144		1.08			同上	
森林科学科	4	32		128		1.08			同上	
生物生産科学科	4	－		－		－			同上	平成25年度より学生募集停止

大学の名称	宇都宮大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	年度	年度		
地域創生科学研究科								平31		
修士課程										
社会デザイン科学専攻	2			77	修士（学術）、修士（国際学）、修士（工学）、修士（農学）	1.31				平成31年度より学生募集開始
工農総合科学専攻	2			258	修士（光工学）、修士（分子農学）、修士（工学）、修士（農学）	1.01				平成31年度より学生募集開始
国際学研究科									栃木県宇都宮市峰町350	
博士課程前期					修士（国際学）			平11		
国際社会研究専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
国際文化研究専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
国際交流研究専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
博士後期課程					博士（国際学）					
国際学研究専攻	3	3		9		1.08			同上	
教育学研究科									栃木県宇都宮市峰町350	
修士課程					修士（教育学）			昭59		
学校教育専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
特別支援教育専攻	2	－		－		－			同上	平成27年度より学生募集停止
ｶﾘｷｭﾗﾑ開発専攻	2	－		－		－			同上	平成27年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	－		－		－			同上	平成27年度より学生募集停止
専門職学位課程					教職修士（専門職）	1.08				
教育実践高度化専攻	2	18		36					同上	定員変更（3）
工学研究科									栃木県宇都宮市陽東7－1－2	
博士前期課程					修士（工学）			昭48		
機械知能工学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
電気電子ｼｽﾃﾑ工学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
物質環境化学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
地球環境ﾃﾞｻﾞｲﾝ学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
情報ｼｽﾃﾑ科学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
先端光工学専攻	2	－		－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
学際先端ｼｽﾃﾑ学専攻	2	－		－		－			同上	平成27年度より学生募集停止
博士後期課程					博士（工学）					
ｼｽﾃﾑ創成工学専攻	3	30		90		0.52			同上	
情報ｼｽﾃﾑ科学専攻	3	－		－		－			同上	平成20年度より学生募集停止
農学研究科									栃木県宇都宮市峰町350	
修士課程					修士（農学）			昭41		
生物生産科学専攻	2	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
農業環境工学専攻	2	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
農業経済学専攻	2	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	－	－	－		－			同上	平成31年度より学生募集停止

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び
高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている
場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を
記入してください。

5　教員組織の状況

＜地域創生科学研究科　工農総合科学専攻＞

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	湯上　登 〈平成31年4月〉 工学博士	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ Scientific Writing レーザープラズマ工学 光工学特別演習 アカデミックコミュニケーション 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	杉原　興浩 〈平成31年4月〉 工学博士	光導波路デバイス 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	大谷　幸利 〈平成31年4月〉 博士(工学)	光計測 オプトメカトロニクス 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	早崎　芳夫 〈平成31年4月〉 博士(工学)	波動光学 情報光学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	佐藤 美恵 〈平成31年4月〉 博士(工学)	感性情報処理 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	教授	福井　えみ子 〈平成31年4月〉 博士(農学)	動物生殖遺伝学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	教授	飯郷　雅之 〈平成31年4月〉 博士(農学)	動物分子生理学 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	教授	松田　勝 〈平成31年4月〉 博士(理学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 遺伝子情報解析技術論 分子農学特別演習 アカデミックコミュニケーション 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	湯上　登 〈平成31年4月〉 工学博士	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ Scientific Writing レーザープラズマ工学 光工学特別演習 アカデミックコミュニケーション 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	杉原　興浩 〈平成31年4月〉 工学博士	光導波路デバイス 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	大谷　幸利 〈平成31年4月〉 博士(工学)	光計測 オプトメカトロニクス 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	早崎　芳夫 〈平成31年4月〉 博士(工学)	波動光学 情報光学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	佐藤 美恵 〈平成31年4月〉 博士(工学)	感性情報処理 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	教授	福井　えみ子 〈平成31年4月〉 博士(農学)	動物生殖遺伝学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	教授	飯郷　雅之 〈平成31年4月〉 博士(農学)	動物分子生理学 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	教授	松田　勝 〈平成31年4月〉 博士(理学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 遺伝子情報解析技術論 分子農学特別演習 アカデミックコミュニケーション 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	江川　千佳司 ＜平成31年4月＞ 理学博士	物理化学要論※ 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	単 躍進 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	分子構造化学※ 分子機能化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	上原　伸夫 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	環境分析化学※ 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	加藤　紀弘 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	物理化学要論※ 分子構造化学※ 物質・環境工学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	大庭　亨 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	分子構造化学※ 分子機能化学※ 物質環境化学特別演習 アカデミックコミュニケーション 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	飯村　兼一 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	界面化学 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	東　徳洋 ＜平成31年4月＞ 農学博士	食品機能科学※ フロンティア農芸化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	山田　洋一 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	環境分析化学※ 科学技術と私たちの暮らし 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	江川　千佳司 ＜平成31年4月＞ 理学博士	物理化学要論※ 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	単 躍進 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	分子構造化学※ 分子機能化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	上原　伸夫 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	環境分析化学※ 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	加藤　紀弘 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	物理化学要論※ 分子構造化学※ 物質・環境工学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	大庭　亨 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	分子構造化学※ 分子機能化学※ 物質環境化学特別演習 アカデミックコミュニケーション 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	飯村　兼一 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	界面化学 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	東　徳洋 ＜平成31年4月＞ 農学博士	食品機能科学※ フロンティア農芸化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	山田　洋一 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	環境分析化学※ 科学技術と私たちの暮らし 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	横田　信三 <平成31年4月> 農学博士	国際インターンシップ 植物機能化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	羽生　直人 <平成31年4月> 農学博士	フロンティア農芸化学※ 植物機能化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	吉澤　史昭 <平成31年4月> 博士(農学)	栄養生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	蕪山　由己人 <平成31年4月> 博士(農学)	フロンティア農芸化学※ 栄養生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	橋本　啓 <平成31年4月> 博士(農学)	食品機能科学※ フロンティア農芸化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	髙山　善匡 <平成31年4月> 工学博士	材料・接合工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	酒井　一博 <平成31年4月> 博士(理学)	非線形現象の幾何学Ⅰ 非線形現象の幾何学Ⅱ 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	横田　和隆 <平成31年4月> Doctor of Philosophy （イギリス）	メカトロニクス制御 機械知能工学特別演習 アカデミックコミュニケーション 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	横田　信三 <平成31年4月> 農学博士	国際インターンシップ 植物機能化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	羽生　直人 <平成31年4月> 農学博士	フロンティア農芸化学※ 植物機能化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	吉澤　史昭 <平成31年4月> 博士(農学)	栄養生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	蕪山　由己人 <平成31年4月> 博士(農学)	フロンティア農芸化学※ 栄養生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	橋本　啓 <平成31年4月> 博士(農学)	食品機能科学※ フロンティア農芸化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	教授	髙山　善匡 <平成31年4月> 工学博士	材料・接合工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	酒井　一博 <平成31年4月> 博士(理学)	非線形現象の幾何学Ⅰ 非線形現象の幾何学Ⅱ 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	横田　和隆 <平成31年4月> Doctor of Philosophy （イギリス）	メカトロニクス制御 機械知能工学特別演習 アカデミックコミュニケーション 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専	教授	長谷川　裕晃 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		実験流体力学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	尾崎　功一 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		ロボット技術 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	吉田　勝俊 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		確率システム理論 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	馬渕　豊 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		マイクロ・ナノ工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	嶋脇　聡 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		生体機械工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	川田　重夫 〈平成31年4月〉 工学博士
		エネルギー科学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	上村　佳嗣 〈平成31年4月〉 工学博士
		信号処理特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	伊藤　篤 〈平成31年4月〉 博士（情報工学）
		ソフトウェア概論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専	教授	長谷川　裕晃 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		実験流体力学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	尾崎　功一 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		ロボット技術 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	吉田　勝俊 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		確率システム理論 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	馬渕　豊 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		マイクロ・ナノ工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	嶋脇　聡 〈平成31年4月〉 博士（工学）
		生体機械工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	川田　重夫 〈平成31年4月〉 工学博士
		エネルギー科学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	上村　佳嗣 〈平成31年4月〉 工学博士
		信号処理特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	伊藤　篤 〈平成31年4月〉 博士（情報工学）
		情報ネットワーク特論 ソフトウェア概論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	永井　明 ＜平成31年4月＞ Doctor of Philosophy （アメリカ）	ネットワークコンピューティング特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	横田　隆史 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	応用情報システム特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	矢嶋　徹 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	数理科学特論 非線形解析特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	伊藤　聡志 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	画像復元処理特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	入江　晃亘 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	超伝導エレクトロニクス 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	船渡　寛人 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	アドバンストパワーエレクトロニクス 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	石田　邦夫 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	材料物性の量子論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	古神　義則 ＜平成31年4月＞ 博士(学術)	エンジニアコーチング※ 情報電気電子システム工学特別講義 スマートシティーテクノロジー 情報電気電子システム工学特別演習 アカデミックコミュニケーション 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	永井　明 ＜平成31年4月＞ Doctor of Philosophy （アメリカ）	ネットワークコンピューティング特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	横田　隆史 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	応用情報システム特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	矢嶋　徹 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	数理科学特論 非線形解析特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	伊藤　聡志 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	画像復元処理特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	入江　晃亘 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	超伝導エレクトロニクス 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	船渡　寛人 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	アドバンストパワーエレクトロニクス 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	石田　邦夫 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	材料物性の量子論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	古神　義則 ＜平成31年4月＞ 博士(学術)	エンジニアコーチング※ 情報電気電子システム工学特別講義 スマートシティーテクノロジー 情報電気電子システム工学特別演習 アカデミックコミュニケーション 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	長谷川　光司 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 実践経営マネジメント概論 実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※ 音響情報工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	平田　光男 〈平成31年4月〉 博士（工学）	ロバスト制御理論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	長谷川 まどか 〈平成31年4月〉 博士（工学）	ディジタル画像工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	東口　武史 〈平成31年4月〉 博士（工学）	レーザー工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	相田　吉昭 〈平成31年4月〉 理学博士	地球環境史特論 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	小笠原　勝 〈平成31年4月〉 博士（農学）	雑草管理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	和田　義春 〈平成31年4月〉 農学博士	作物生理生態学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	関本　均 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物栄養・肥料学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	長谷川　光司 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 実践経営マネジメント概論 実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※ 音響情報工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	平田　光男 〈平成31年4月〉 博士（工学）	ロバスト制御理論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	長谷川 まどか 〈平成31年4月〉 博士（工学）	ディジタル画像工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	東口　武史 〈平成31年4月〉 博士（工学）	レーザー工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	相田　吉昭 〈平成31年4月〉 理学博士	地球環境史特論 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	小笠原　勝 〈平成31年4月〉 博士（農学）	雑草管理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	和田　義春 〈平成31年4月〉 農学博士	作物生理生態学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	関本　均 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物栄養・肥料学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	平井　英明 〈平成31年4月〉 農学博士	スマート農林業※ 政策課題演習※ 地域土壌圏科学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	池口　厚男 〈平成31年4月〉 農学博士	スマート農林業※ 政策課題演習※ 生物生産環境情報工学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	長尾　慶和 〈平成31年4月〉 博士（獣医学）	ヒトと動物の関係学 農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※ 農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	齋藤　高弘 〈平成31年4月〉 博士（農学）	スマート農林業※ 政策課題演習※ 生物環境調節学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	房　相佑 〈平成31年4月〉 博士（農学）	作物品種改良学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	松井　正実 〈平成31年4月〉 博士（農学）	スマート農林業※ 政策課題演習※ 生物生産機械学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	山根　健治 〈平成31年4月〉 博士（農学）	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ スマート農林業※ 政策課題演習※ 園芸作物生理学 農業生産環境保全学特別演習 アカデミックコミュニケーション 農業生産環境保全学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	平井　英明 〈平成31年4月〉 農学博士	スマート農林業※ 政策課題演習※ 地域土壌圏科学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	池口　厚男 〈平成31年4月〉 農学博士	スマート農林業※ 政策課題演習※ 生物生産環境情報工学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	長尾　慶和 〈平成31年4月〉 博士（獣医学）	ヒトと動物の関係学 農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※ 農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	齋藤　高弘 〈平成31年4月〉 博士（農学）	スマート農林業※ 政策課題演習※ 生物環境調節学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	教授	房　相佑 〈平成31年4月〉 博士（農学）	作物品種改良学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	松井　正実 〈平成31年4月〉 博士（農学）	スマート農林業※ 政策課題演習※ 生物生産機械学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	教授	山根　健治 〈平成31年4月〉 博士（農学）	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ スマート農林業※ 政策課題演習※ 園芸作物生理学 農業生産環境保全学特別演習 アカデミックコミュニケーション 農業生産環境保全学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	園田　昌司 〈平成31年4月〉 博士（学術）	防除分子生態学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	飯塚　和也 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林生産利用学※ 樹木木質学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 アカデミックコミュニケーション 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	大久保　達弘 〈平成31年4月〉 農学博士	スマート農林業※ 政策課題演習※ 森林生産育林学※ 森林生態育林学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	執印　康裕 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林工学※ 治山砂防学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	山本　美穂 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林管理政策学※ 森林政策学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	二宮　尚 〈平成31年4月〉 博士（工学）	可視化情報工学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	准教授	山本　裕紹 〈平成31年4月〉 博士（情報理工学）	ディスプレイ工学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	准教授	藤村　隆史 〈平成31年4月〉 博士（工学）	先端フォトニクス 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	園田　昌司 〈平成31年4月〉 博士（学術）	防除分子生態学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	教授	飯塚　和也 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林生産利用学※ 樹木木質学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 アカデミックコミュニケーション 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	大久保　達弘 〈平成31年4月〉 農学博士	スマート農林業※ 政策課題演習※ 森林生産育林学※ 森林生態育林学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	執印　康裕 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林工学※ 治山砂防学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	教授	山本　美穂 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林管理政策学※ 森林政策学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	二宮　尚 〈平成31年4月〉 博士（工学）	可視化情報工学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	准教授	山本　裕紹 〈平成31年4月〉 博士（情報理工学）	ディスプレイ工学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	准教授	藤村　隆史 〈平成31年4月〉 博士（工学）	先端フォトニクス 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	茨田　大輔 〈平成31年4月〉 博士（工学）	数理光物理学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	准教授	松本　浩道 〈平成31年4月〉 博士（農学）	動物生殖遺伝学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	髙橋 美智子 〈平成31年4月〉 博士（農学）	分子植物生理学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	野村　崇人 〈平成31年4月〉 博士（農学）	分子植物生理学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	西川　尚志 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物分子保護学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	准教授	柏木　孝幸 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物分子遺伝育種学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	児玉　豊 〈平成31年4月〉 博士（バイオサイエンス）	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 細胞解析技術論 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	大西　孝幸 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物分子遺伝育種学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	鈴木　智大 〈平成31年4月〉 博士（農学）	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 質量分析装置解析技術論 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	茨田　大輔 〈平成31年4月〉 博士（工学）	数理光物理学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	准教授	松本　浩道 〈平成31年4月〉 博士（農学）	動物生殖遺伝学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	髙橋 美智子 〈平成31年4月〉 博士（農学）	分子植物生理学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	野村　崇人 〈平成31年4月〉 博士（農学）	分子植物生理学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	西川　尚志 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物分子保護学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	准教授	柏木　孝幸 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物分子遺伝育種学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	児玉　豊 〈平成31年4月〉 博士（バイオサイエンス）	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 細胞解析技術論 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	大西　孝幸 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物分子遺伝育種学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	鈴木　智大 〈平成31年4月〉 博士（農学）	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 質量分析装置解析技術論 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	宮川　一志 〈平成31年4月〉 博士(環境科学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 分子進化生態学 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	酒井　保藏 〈平成31年4月〉 工学博士	分子構造化学※ 物質・環境工学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	吉原　佐知雄 〈平成31年4月〉 工学博士	分子構造化学※ 分子機能化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	佐藤　正秀 〈平成31年4月〉 博士(工学)	物質プロセス工学 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	刈込　道徳 〈平成31年4月〉 博士(理学)	物理化学要論※ 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	松本　太輝 〈平成31年4月〉 博士(工学)	分子構造化学※ 物質・環境工学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	手塚　慶太郎 〈平成31年4月〉 博士(理学)	分子構造化学※ 分子機能化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	佐藤　剛史 〈平成31年4月〉 博士(工学)	化学システム工学 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	宮川　一志 〈平成31年4月〉 博士(環境科学)	現代社会を見通す：生命と感性の科学※ 分子進化生態学 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	酒井　保藏 〈平成31年4月〉 工学博士	分子構造化学※ 物質・環境工学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	吉原　佐知雄 〈平成31年4月〉 工学博士	分子構造化学※ 分子機能化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	佐藤　正秀 〈平成31年4月〉 博士(工学)	物質プロセス工学 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	刈込　道徳 〈平成31年4月〉 博士(理学)	物理化学要論※ 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	松本　太輝 〈平成31年4月〉 博士(工学)	分子構造化学※ 物質・環境工学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	手塚　慶太郎 〈平成31年4月〉 博士(理学)	分子構造化学※ 分子機能化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	佐藤　剛史 〈平成31年4月〉 博士(工学)	化学システム工学 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	古澤　毅 〈平成31年4月〉 博士(工学)	分子構造化学※ 物質・環境工学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	諸星　知広 〈平成31年4月〉 博士(工学)	バイオデザイン・プロセス学※ 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	前田　勇 〈平成31年4月〉 博士(薬学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ バイオデザイン・プロセス学※ 農芸化学特別演習 アカデミックコミュニケーション 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	二瓶　賢一 〈平成31年4月〉 博士(農学)	生理活性物質化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	石栗　太 〈平成31年4月〉 博士(農学)	植物機能化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	謝　肖男 〈平成31年4月〉 博士(農学)	生理活性物質化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	水重　貴文 〈平成31年4月〉 博士(農学)	分子生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	金野　尚武 〈平成31年4月〉 博士(農学)	分子生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	古澤　毅 〈平成31年4月〉 博士(工学)	分子構造化学※ 物質・環境工学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	諸星　知広 〈平成31年4月〉 博士(工学)	バイオデザイン・プロセス学※ 分子構造化学※ 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	前田　勇 〈平成31年4月〉 博士(薬学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ バイオデザイン・プロセス学※ 農芸化学特別演習 アカデミックコミュニケーション 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	二瓶　賢一 〈平成31年4月〉 博士(農学)	生理活性物質化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	石栗　太 〈平成31年4月〉 博士(農学)	植物機能化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	謝　肖男 〈平成31年4月〉 博士(農学)	生理活性物質化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	水重　貴文 〈平成31年4月〉 博士(農学)	分子生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	准教授	金野　尚武 〈平成31年4月〉 博士(農学)	分子生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	准教授	鄒　艶華 〈平成31年4月〉 博士(工学) 先端精密加工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	白寄　篤 〈平成31年4月〉 博士(工学) 成形プロセス工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	佐藤　隆之介 〈平成31年4月〉 博士(工学) 生産技術工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	山本　篤史郎 〈平成31年4月〉 博士(工学) 材料組織評価学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	関川　宗久 〈平成31年4月〉 博士(工学) 力学系理論 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	星野　智史 〈平成31年4月〉 博士(工学) 知能ロボット 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	谷島　尚宏 〈平成31年4月〉 博士(理学) 幾何数理機械工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	寄川　弘玄 〈平成31年4月〉 理学博士 ソリッドステートの物理 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	柏倉　隆之 〈平成31年4月〉 博士(理学) 量子エレクトロニクス 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	准教授	鄒　艶華 〈平成31年4月〉 博士(工学) 先端精密加工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	白寄　篤 〈平成31年4月〉 博士(工学) 成形プロセス工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	佐藤　隆之介 〈平成31年4月〉 博士(工学) 生産技術工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	山本　篤史郎 〈平成31年4月〉 博士(工学) 材料組織評価学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	関川　宗久 〈平成31年4月〉 博士(工学) 力学系理論 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	星野　智史 〈平成31年4月〉 博士(工学) 知能ロボット 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	谷島　尚宏 〈平成31年4月〉 博士(理学) 幾何数理機械工学 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	寄川　弘玄 〈平成31年4月〉 理学博士 ソリッドステートの物理 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	柏倉　隆之 〈平成31年4月〉 博士(理学) 量子エレクトロニクス 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	大津　金光 〈平成31年4月〉 博士（情報理工学）	計算機アーキテクチャ特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	森　大毅 〈平成31年4月〉 博士（工学）	データ工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	東　剛人 〈平成31年4月〉 博士（工学）	システムバイオロジー 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	依田　秀彦 〈平成31年4月〉 博士（工学）	光制御回路工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	石川　智治 〈平成31年4月〉 博士（情報科学）	感性情報処理システム 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	小池　正史 〈平成31年4月〉 博士（理学）	数理解析特論 応用数学特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	外山　史 〈平成31年4月〉 博士（工学）	大規模システム最適化 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	佐久間　洋志 〈平成31年4月〉 博士（工学）	スピントロニクス 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	藤井　雅弘 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報量統計学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	大津　金光 〈平成31年4月〉 博士（情報理工学）	計算機アーキテクチャ特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	森　大毅 〈平成31年4月〉 博士（工学）	データ工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	東　剛人 〈平成31年4月〉 博士（工学）	システムバイオロジー 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	依田　秀彦 〈平成31年4月〉 博士（工学）	光制御回路工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	石川　智治 〈平成31年4月〉 博士（情報科学）	感性情報処理システム 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	小池　正史 〈平成31年4月〉 博士（理学）	数理解析特論 応用数学特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	外山　史 〈平成31年4月〉 博士（工学）	大規模システム最適化 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	佐久間　洋志 〈平成31年4月〉 博士（工学）	スピントロニクス 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	藤井　雅弘 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報量統計学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	清水　隆志 〈平成31年4月〉 博士(学術)	マイクロ波・ミリ波回路工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	森　博志 〈平成31年4月〉 博士(工学)	コンピュータグラフィックス特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	後藤　博樹 〈平成31年4月〉 博士(工学)	電気自動車 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	羽多野　裕之 〈平成31年4月〉 博士(工学)	情報ネットワーク特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	髙橋　行継 〈平成31年4月〉 博士(農学)	作物生産技術の現状と課題，展望 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	准教授	福井　糧 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy in Plant Pathology (アメリカ)	植物細菌学 Scientific English 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	柏嵜　勝 〈平成31年4月〉 博士(農学)	生産流通システム工学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	准教授	青山　真人 〈平成31年4月〉 博士(農学)	動物行動管理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	清水　隆志 〈平成31年4月〉 博士(学術)	マイクロ波・ミリ波回路工学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	森　博志 〈平成31年4月〉 博士(工学)	コンピュータグラフィックス特論 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	後藤　博樹 〈平成31年4月〉 博士(工学)	電気自動車 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	髙橋　行継 〈平成31年4月〉 博士(農学)	作物生産技術の現状と課題，展望 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	准教授	福井　糧 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy in Plant Pathology (アメリカ)	植物細菌学 Scientific English 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	准教授	柏嵜　勝 〈平成31年4月〉 博士(農学)	生産流通システム工学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	准教授	青山　真人 〈平成31年4月〉 博士(農学)	動物行動管理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	西尾　孝佳 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植生管理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	小寺　祐二 〈平成31年4月〉 博士（農学）	野生動物管理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究
専	准教授	岩永　将司 〈平成31年4月〉 博士（農学）	生物とウイルスの関係学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	准教授	菱沼　竜男 〈平成31年4月〉 博士（農学）	生物環境システム工学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	有賀　一広 〈平成31年4月〉 博士（農学）	スマート農林業※ 政策課題演習※ 森林工学※ 森林作業学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	松英　恵吾 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林管理政策学※ 森林管理計画学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	逢沢　峰昭 〈平成31年4月〉 博士（環境学）	森林生産育林学※ 森林植物学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	渡邉　信一 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	西尾　孝佳 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植生管理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	小寺　祐二 〈平成31年4月〉 博士（農学）	野生動物管理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究
専	准教授	岩永　将司 〈平成31年4月〉 博士（農学）	生物とウイルスの関係学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	准教授	菱沼　竜男 〈平成31年4月〉 博士（農学）	生物環境システム工学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	准教授	有賀　一広 〈平成31年4月〉 博士（農学）	スマート農林業※ 政策課題演習※ 森林工学※ 森林作業学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	松英　恵吾 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林管理政策学※ 森林管理計画学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	逢沢　峰昭 〈平成31年4月〉 博士（環境学）	森林生産育林学※ 森林植物学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	准教授	渡邉　信一 〈平成31年4月〉 博士（工学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※ **機械知能工学特別演習** **機械知能工学特別研究**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	黒倉　健 ＜平成31年4月＞ Doctor of Philosophy in Plant Sciences （イギリス）	植物分子遺伝育種学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	講師	山田　潔 ＜平成31年4月＞ 博士(農学)	食品機能科学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	講師	佐藤　祐介 ＜平成31年4月＞ 博士(農学)	栄養生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	講師	栗原　望 〈平成31年4月〉	動物形態学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究
専	講師	大島　潤一 〈平成31年4月〉 博士(農学)	森林生産利用学※ 森林資源管理学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	講師	堀尾　佳以 〈平成31年4月〉 博士(芸術工学)	技術日本語
専	助教	NATHAN ADRIAN HAGEN (48) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy in Optical Sciences （アメリカ）	基礎光学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	助教	長谷川　智士 〈平成31年4月〉 博士(工学)	光学システム科学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	助教	篠田　一馬 〈平成31年4月〉 博士(工学)	光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	黒倉　健 ＜平成31年4月＞ Doctor of Philosophy in Plant Sciences （イギリス）	植物分子遺伝育種学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	講師	山田　潔 ＜平成31年4月＞ 博士(農学)	食品機能科学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	講師	佐藤　祐介 ＜平成31年4月＞ 博士(農学)	栄養生理化学※ 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究
専	講師	栗原　望 〈平成31年4月〉	動物形態学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究
専	講師	大島　潤一 〈平成31年4月〉 博士(農学)	森林生産利用学※ 森林資源管理学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	講師	堀尾　佳以 〈平成31年4月〉 博士(芸術工学)	技術日本語
専	助教	NATHAN ADRIAN HAGEN (48) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy in Optical Sciences （アメリカ）	基礎光学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	助教	長谷川　智士 〈平成31年4月〉 博士(工学)	光学システム科学 光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	助教	篠田　一馬 〈平成31年4月〉 博士(工学)	光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	大塚　崇光 〈平成31年4月〉 博士（工学）	光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	助教	岡本　昌憲 〈平成31年4月〉 博士（理学）	分子植物生理学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	助教	煉谷　裕太朗 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物分子保護学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	助教	荷方　稔之 〈平成31年4月〉 博士（工学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	岩井　秀和 〈平成31年4月〉 博士（理学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	伊藤　智志 〈平成31年4月〉 博士（理学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	爲末　真吾 〈平成31年4月〉 博士（理学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	奈須野 恵理 〈平成31年4月〉 博士（生物工学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	川口　尊久 〈平成31年4月〉 工学修士	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	助教	石戸　勉 〈平成31年4月〉 修士（工学）	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	大塚　崇光 〈平成31年4月〉 博士（工学）	光工学特別演習 光工学特別研究 分子農学特別演習 分子農学特別研究
専	助教	岡本　昌憲 〈平成31年4月〉 博士（理学）	分子植物生理学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 光工学特別演習 光工学特別研究
専	助教	煉谷　裕太朗 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物分子保護学※ 分子農学特別演習 分子農学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	助教	荷方　稔之 〈平成31年4月〉 博士（工学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	岩井　秀和 〈平成31年4月〉 博士（理学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	伊藤　智志 〈平成31年4月〉 博士（理学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	爲末　真吾 〈平成31年4月〉 博士（理学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	奈須野 恵理 〈平成31年4月〉 博士（生物工学）	物質環境化学特別演習 物質環境化学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	川口　尊久 〈平成31年4月〉 工学修士	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	助教	石戸　勉 〈平成31年4月〉 修士（工学）	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	加藤　直人 〈平成31年4月〉 博士（工学）	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	中林　正隆 〈平成31年4月〉 博士（工学）	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	山仲　芳和 〈平成31年4月〉 博士（工学）	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	助教	齋藤　和史 〈平成31年4月〉 博士（理学）	基礎／発展　電磁気学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	大川　猛 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	助教	三原　義樹 〈平成31年4月〉 博士（理学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	助教	鈴木　雅康 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	八巻　和宏 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	春名　順之介 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	鶴田　真理子 〈平成31年4月〉 博士（芸術工学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	加藤　直人 〈平成31年4月〉 博士（工学）	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	中林　正隆 〈平成31年4月〉 博士（工学）	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	山仲　芳和 〈平成31年4月〉 博士（工学）	機械知能工学特別演習 機械知能工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	助教	齋藤　和史 〈平成31年4月〉 博士（理学）	基礎／発展　電磁気学 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	三原　義樹 〈平成31年4月〉 博士（理学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究
専	助教	鈴木　雅康 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	八巻　和宏 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	春名　順之介 〈平成31年4月〉 博士（工学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	鶴田　真理子 〈平成31年4月〉 博士（芸術工学）	情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	田村　匡嗣 〈平成31年4月〉 博士（農学）	食品流通工学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	池田　裕樹 〈平成31年4月〉 博士（農学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 園芸フィールド生理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	助教	神山　拓也 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物生産環境学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	助教	林　宇一 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林管理政策学※ 森林経済学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	原　紳 〈平成31年4月〉 工学士（※）	実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※
兼担	教授	松原　真理 〈平成31年4月〉 博士（工学）	エンジニアコーチング※
兼担	教授	中島　望 〈平成31年4月〉 教育学修士	実践フィールドワーク
兼担	教授	中村　祐司 〈平成31年10月〉 博士（政治学）	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	原田　淳 〈平成31年10月〉 博士（農学）	農業・農村の組織マネジメント
兼担	教授	大森　玲子 〈平成31年4月〉 博士（理学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※
兼担	教授	大栗　行昭 〈平成31年4月〉 博士（農学）	アカデミックコミュニケーション

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	田村　匡嗣 〈平成31年4月〉 博士（農学）	食品流通工学 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ※ 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 農芸化学特別演習 農芸化学特別研究
専	助教	池田　裕樹 〈平成31年4月〉 博士（農学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※ 園芸フィールド生理学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	助教	神山　拓也 〈平成31年4月〉 博士（農学）	植物生産環境学 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究 情報電気電子システム工学特別演習 情報電気電子システム工学特別研究
専	助教	林　宇一 〈平成31年4月〉 博士（農学）	森林管理政策学※ 森林経済学 森林生産保全学特別講義※ 森林生産保全学特別演習 森林生産保全学特別研究 農業生産環境保全学特別演習 農業生産環境保全学特別研究
専	助教	原　紳 〈平成31年4月〉 工学士（※）	実践インターンシップ 創成工学プロジェクト演習※
兼担	教授	松原　真理 〈平成31年4月〉 博士（工学）	エンジニアコーチング※
兼担	教授	中島　望 〈平成31年4月〉 教育学修士	実践フィールドワーク
兼担	教授	中村　祐司 〈平成31年10月〉 博士（政治学）	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	原田　淳 〈平成31年10月〉 博士（農学）	農業・農村の組織マネジメント
兼担	教授	大森　玲子 〈平成31年4月〉 博士（理学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※
兼担	教授	大栗　行昭 〈平成31年4月〉 博士（農学）	アカデミックコミュニケーション

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	齋藤　潔 〈平成31年10月〉 博士(農学)	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	横尾　昇剛 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	教授	山岡　暁 〈平成31年10月〉 博士(工学)	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	池田　裕一 〈平成32年4月〉 博士(工学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	教授	松井　宏之 〈平成32年4月〉 博士(農学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	教授	重田　康博 〈平成31年4月〉 博士(学術)	グローカルな視座を養う※ 臨地研究
兼担	教授	湯本　浩之 〈平成31年10月〉 修士(教育学)	Globalization and Society
兼担	教授	MALEE KAEWMANOTHAM 〈平成31年4月〉 文学修士（※）	臨地研究
兼担	教授	柄木田　康之 〈平成31年4月〉 文学修士（※）	文化人類学研究Ⅰ
兼担	教授	田巻　松雄 (62) 〈平成31年4月〉 社会学博士	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ
兼担	教授	下田　淳 〈平成31年4月〉 博士(歴史学)	西洋史研究Ⅰ
兼担	教授	丁　貴連 〈平成31年4月〉 博士(文学)	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ
兼担	教授	吉田　一彦 〈平成31年4月〉 博士(言語学)	日本語論述表現法Ⅰ
兼担	教授	中村　真 〈平成31年10月〉 学術修士	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ
兼担	教授	長谷川　万由美 〈平成31年10月〉 修士(社会学)（※）	シティズンシップ教育Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	齋藤　潔 〈平成31年10月〉 博士(農学)	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	横尾　昇剛 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	教授	山岡　暁 〈平成31年10月〉 博士(工学)	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	池田　裕一 〈平成32年4月〉 博士(工学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	教授	松井　宏之 〈平成32年4月〉 博士(農学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	教授	重田　康博 〈平成31年4月〉 博士(学術)	グローカルな視座を養う※ 臨地研究
兼担	教授	湯本　浩之 〈平成31年10月〉 修士(教育学)	Globalization and Society
兼担	教授	MALEE KAEWMANOTHAM 〈平成31年4月〉 文学修士（※）	臨地研究
兼担	教授	柄木田　康之 〈平成31年4月〉 文学修士（※）	文化人類学研究Ⅰ
兼担	教授	田巻　松雄 (62) 〈平成31年4月〉 社会学博士	グローバル化と国際的な人の移動Ⅰ
兼担	教授	下田　淳 〈平成31年4月〉 博士(歴史学)	西洋史研究Ⅰ
兼担	教授	丁　貴連 〈平成31年4月〉 博士(文学)	東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ
兼担	教授	吉田　一彦 〈平成31年4月〉 博士(言語学)	日本語論述表現法Ⅰ
兼担	教授	中村　真 〈平成31年10月〉 学術修士	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ
兼担	教授	長谷川　万由美 〈平成31年10月〉 修士(社会学)（※）	シティズンシップ教育Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	松井　貴子 〈平成31年10月〉 博士(学術)	日本文化研究Ⅰ
兼担	教授	米山　正文 〈平成31年10月〉 Master of Arts in English （アメリカ）	アカデミックコミュニケーション アメリカ文化研究Ⅰ
兼担	教授	小宮　秀明 〈平成31年10月〉 博士(医学)	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	赤塚　朋子 〈平成31年10月〉 修士(教育学)	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	佐々木　和也 〈平成32年4月〉 博士(工学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	准教授	阪田　和哉 〈平成32年4月〉 博士(経済学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	准教授	西山 未真 〈平成31年4月〉 博士(農学)	ソーシャルビジネス論
兼担	准教授	古賀　誉章 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	准教授	藤本　郷史 〈平成31年10月〉 博士(工学)	グローカルな視座を養う※ アカデミックコミュニケーション
兼担	准教授	藤倉　修一 〈平成31年10月〉 Doctor of Philosophy (Structural and Earthquake Engineering) （アメリカ）	グローカルな視座を養う※
兼担	准教授	近藤　伸也 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	准教授	Sueyoshi Ana 〈平成31年10月〉 修士(学術) (※)	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ
兼担	准教授	栗原　俊輔 〈平成31年4月〉 博士(学術)	Global Management
兼担	准教授	阪本　公美子 〈平成31年4月〉 博士(学術)	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	松井　貴子 〈平成31年10月〉 博士(学術)	日本文化研究Ⅰ
兼担	教授	米山　正文 〈平成31年10月〉 Master of Arts in English （アメリカ）	アカデミックコミュニケーション アメリカ文化研究Ⅰ
兼担	教授	小宮　秀明 〈平成31年10月〉 博士(医学)	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	赤塚　朋子 〈平成31年10月〉 修士(教育学)	グローカルな視座を養う※
兼担	教授	佐々木　和也 〈平成32年4月〉 博士(工学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	准教授	阪田　和哉 〈平成32年4月〉 博士(経済学)	アカデミックコミュニケーション
兼担	准教授	西山 未真 〈平成31年4月〉 博士(農学)	ソーシャルビジネス論
兼担	准教授	古賀　誉章 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	准教授	藤本　郷史 〈平成31年10月〉 博士(工学)	グローカルな視座を養う※ アカデミックコミュニケーション
兼担	准教授	藤倉　修一 〈平成31年10月〉 Doctor of Philosophy (Structural and Earthquake Engineering) （アメリカ）	グローカルな視座を養う※
兼担	准教授	近藤　伸也 〈平成31年4月〉 博士(工学)	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	准教授	Sueyoshi Ana 〈平成31年10月〉 修士(学術) (※)	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ
兼担	准教授	栗原　俊輔 〈平成31年4月〉 博士(学術)	Global Management
兼担	准教授	阪本　公美子 〈平成31年4月〉 博士(学術)	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼担	准教授	髙橋　若菜 〈平成31年10月〉 博士（政治学） 環境問題とガバナンスⅠ	兼担	准教授	髙橋　若菜 〈平成31年10月〉 博士（政治学） 環境問題とガバナンスⅠ
兼担	准教授	清水　奈名子 〈平成31年4月〉 博士（学術） 人間の安全保障と国連Ⅰ	兼担	准教授	清水　奈名子 〈平成31年4月〉 博士（学術） 人間の安全保障と国連Ⅰ
兼担	准教授	松村　史紀 〈平成31年4月〉 博士（政治学） アカデミックコミュニケーション 東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	兼担	准教授	松村　史紀 〈平成31年4月〉 博士（政治学） アカデミックコミュニケーション 東アジアの国際政治と歴史Ⅰ
兼担	准教授	Barbara Sheffield Morrison 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy （アメリカ） グローカルな視座を養う※ ジェンダーとアイデンティティⅠ	兼担	准教授	Barbara Sheffield Morrison 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy （アメリカ） グローカルな視座を養う※ ジェンダーとアイデンティティⅠ
兼担	准教授	戚　傑 〈平成31年10月〉 Doctor of Philosophy （アメリカ） 多文化教育研究Ⅰ	兼担	教授	戚　傑 〈平成31年10月〉 Doctor of Philosophy （アメリカ） 多文化教育研究Ⅰ
兼担	准教授	谷光生 〈平成31年10月〉 修士（言語学）（※） 英語学研究Ⅰ			
兼担	准教授	丸山剛史 〈平成31年10月〉 博士（教育学） 外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	兼担	准教授	丸山剛史 〈平成31年10月〉 博士（教育学） 外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ
兼担	准教授	Andrew Neal Reimann 〈平成31年4月〉 Doctor of Applied linguistics （オーストラリア） グローカルな視座を養う※ Comparative Study of Contemporary CulturesⅠ	兼任	講師	Andrew Neal Reimann 〈平成31年4月〉 Doctor of Applied linguistics （オーストラリア） グローカルな視座を養う※ Comparative Study of Contemporary CulturesⅠ
兼担	准教授	髙山 道代 〈平成31年10月〉 博士（人文科学） 日本語史と日本語研究Ⅰ	兼担	准教授	髙山 道代 〈平成31年10月〉 博士（人文科学） 日本語史と日本語研究Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	田口卓臣 〈平成31年10月〉 博士（文学）	フランス思想・文化研究Ⅰ
兼担	准教授	山田 有希子 〈平成31年4月〉 博士（文学）	西洋近現代哲学研究Ⅰ
兼担	准教授	川島芳昭 〈平成31年4月〉 博士（学校教育学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	准教授	上原秀一 〈平成31年4月〉 修士（教育学）（※）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	講師	鈴木富之 〈平成31年10月〉 博士（理学）	観光地理学研究
兼担	助教	飯塚 明子 〈平成31年10月〉 博士（地球環境学）	防災と国際協力Ⅰ
兼担	助教	藤井広重 〈平成31年10月〉 Adv. LL. M （オランダ）	国際人権保障と平和構築Ⅰ
兼任	講師	兒島建彦 〈平成31年４月〉 Doctor of Philosophy in Political Science （アメリカ）	International Political Economy
兼任	講師	長谷川雅宣 〈平成31年10月〉 理学士	光学基盤技術※
兼任	講師	石部芳浩 〈平成31年10月〉 理学士	光学基盤技術※
兼任	講師	前瀧聡 〈平成31年10月〉 修士（工学）	光学基盤技術※
兼任	講師	吉原俊幸 〈平成31年10月〉 工学修士	光学基盤技術※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	田口卓臣 〈平成31年10月〉 博士（文学）	フランス思想・文化研究Ⅰ
兼担	准教授	山田 有希子 〈平成31年4月〉 博士（文学）	西洋近現代哲学研究Ⅰ
兼担	准教授	川島芳昭 〈平成31年4月〉 博士（学校教育学）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	准教授	上原秀一 〈平成31年4月〉 修士（教育学）（※）	地域創生のための社会デザイン＆イノベーション※
兼担	講師	鈴木富之 〈平成31年10月〉 博士（理学）	観光地理学研究
兼担	助教	飯塚 明子 〈平成31年10月〉 博士（地球環境学）	防災と国際協力Ⅰ
兼担	助教	藤井広重 〈平成31年10月〉 Adv. LL. M （オランダ）	国際人権保障と平和構築Ⅰ
兼任	講師	兒島建彦 〈平成31年４月〉 Doctor of Philosophy in Political Science （アメリカ）	International Political Economy
兼任	講師	長谷川雅宣 〈平成31年10月〉 理学士	光学基盤技術※
兼任	講師	石部芳浩 〈平成31年10月〉 理学士	光学基盤技術※
兼任	講師	前瀧聡 〈平成31年10月〉 修士（工学）	光学基盤技術※
兼任	講師	吉原俊幸 〈平成31年10月〉 工学修士	光学基盤技術※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	稲秀樹 〈平成31年10月〉 工学博士	光学設計
兼任	講師	蒔田剛 〈平成31年10月〉 工学士	画像工学※
兼任	講師	後田　淳 〈平成31年10月〉 工学士	画像工学※
兼任	講師	三浦　永佑 〈平成31年4月〉 工学博士	パワーレーザー工学
兼任	講師	中村好一 〈平成31年4月〉 医学博士	農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※
兼任	講師	鈴木志保子 〈平成31年4月〉 博士（医学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※
兼任	講師	中西由季子 〈平成31年4月〉 博士（農学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※
兼任	講師	桑田有 〈平成31年4月〉 農学博士	農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※
兼任	講師	音羽和紀 〈平成31年4月〉 ―	農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※
兼任	講師	高増雅子 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※
兼任	講師	井元　りえ 〈平成31年4月〉 博士（教育学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	稲秀樹 〈平成31年10月〉 工学博士	光学設計
兼任	講師	蒔田剛 〈平成31年10月〉 工学士	画像工学※
兼任	講師	後田　淳 〈平成31年10月〉 工学士	画像工学※
兼任	講師	三浦　永佑 〈平成31年4月〉 工学博士	パワーレーザー工学
兼任	講師	中村好一 〈平成31年4月〉 医学博士	農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※
兼任	講師	鈴木志保子 〈平成31年4月〉 博士（医学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※
兼任	講師	中西由季子 〈平成31年4月〉 博士（農学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※
兼任	講師	桑田有 〈平成31年4月〉 農学博士	農業生産環境保全学特別講義Ⅰ※
兼任	講師	音羽和紀 〈平成31年4月〉 ―	農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※
兼任	講師	高増雅子 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※
兼任	講師	井元　りえ 〈平成31年4月〉 博士（教育学）	農業生産環境保全学特別講義Ⅱ※

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・羽田野 裕之准教授平成３１年３月辞任により、「情報ネットワーク特論」の担当を伊藤篤教授に変更。平成３１年２月ＡＣ教員審査済み。 ・渡邊 信一准教授の担当授業科目に、「機械知能工学特別演習」、「機械知能工学特別研究」を追加。平成３１年２月ＡＣ教員審査済み。 ・大川 猛助教平成３１年３月辞任。 ・戚 傑准教授を教授に昇任。平成３０年１２月ＡＣ教員審査済み。 ・Andrew Neal Reimann兼担准教授が平成３１年３月辞任により、「兼任教員」に変更。 ・田口 卓臣兼担准教授が平成３１年３月辞任により、「兼任教員」に変更。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（2） 専任教員数等

（2）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
37 名	25 名	0 名

（注）・　大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（2）－②　専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
60	62	6	28	156	60	61	6	27	154
(60)	(61)	(6)	(27)	(154)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
147	6	3			146	6	2		
(146)	(6)	(2)							

現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
60	61	6	27	154	64	61	5	25	155
[0]	[△１]	[0]	[△１]	[△2]	[4]	[△１]	[△１]	[△１]	[△1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
146	6	2			147	6	2		
[△１]	[0]	[△１]			[0]	[0]	[△１]		

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（2）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（2）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{154}{156} = 99\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（2）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{154} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	准教授	羽多野　裕之	H31.3	選択	情報ネットワーク特論	①	H31.3.31付け他大学転出のため就任辞退（元）
				選択	情報電気電子システム工学特別演習	①	
				選択	情報電気電子システム工学特別研究	①	
				選択	森林生産保全学特別演習	①	
				選択	森林生産保全学特別研究	①	
2	助教	大川　猛	H31.3	選択	情報電気電子システム工学特別演習	①	H31.3.31付け他大学転出のため就任辞退（元）
				選択	情報電気電子システム工学特別研究	①	
				選択	森林生産保全学特別演習	①	
				選択	森林生産保全学特別研究	①	

合計（D）				後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
2　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	9	科目	選択	9	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし							

合計（F）				後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
2　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	9	科目	選択	9	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{156} = 1.28\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし						

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

羽多野裕之准教授の「情報ネットワーク特論」は、伊藤篤教授が後任として担当する。平成31年３月ＡＣ教員審査済み。羽多野裕之准教授、大川猛助教の研究指導科目については、十分な教員数を確保しているため、現在の教員数で対応可能である。
学生に対しては、シラバス等において、担当教員を周知している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和元年）	１．新たな研究科設置の趣旨・目的に掲げている「融合・連携」の実現に向けて，以下の点を踏まえ，設置計画を着実に履行すること。 （１）学生からの相談窓口として，新たに配置するコーディネーターや研究アドバイザーのそれぞれの役割及び実施体制を明確に学生に示すとともに，修士論文を課さない場合のコースワークでも同様の取組が生かされるよう配慮し，幅広い学生からの相談に組織的に対応が可能な体制を充実させること。 （２）主指導教員，副指導教員の実質的な協力の下，例えばシラバスにおいても「融合・連携」の趣旨を適切に周知するとともに，大学が実施する研究活動を含めて，本研究科が目指す「融合・連携」の強化に努めること。	遵守事項	附帯事項（１）を踏まえ，学生の研究テーマや希望に係る主指導教員・副指導教員以外の研究，関連研究者の相談に対応するための学生相談担当窓口として，新たに「研究サポートコーディネーター」として専攻長及び専攻長補佐を配置し，学生からの研究相談に対応可能となる教員「研究アドバイザー」を決定することとしている。 　なお，「研究アドバイザー」は，学生の学修・研究計画の作成，その着実な履修と進捗等に対して具体的な指導・助言を行うこととしている。 　また，「研究サポートコーディネーター」及び「研究アドバイザー」については，修士論文及び修士論文を課さないコースワークの区別無く同様に指導・助言できる組織として，専門領域に加えて境界領域・学際的領域が連携・融合した地域創生科学研究科研究指導実施体制の組織である旨の資料を整理し，学生便覧に記載するとともに，ガイダンスにおいても，幅広い学生（16プログラム）からの相談に対応する旨の説明を実施した。【別添〔資料１〕のとおり】	履行中	
			附帯事項（２）を踏まえ，学生の研究及び論文指導等（特定の課題についての研究の成果等の指導を含む。）については，高度な次元で専門領域・学際的領域が連携・融合した研究指導体制（デュアル副指導体制）として，主指導教員，第１副指導教員，第２副指導教員の３名を指導チームとし，当該学生に対する学修・研究計画の作成，着実な履修と学修の進捗等について，担当する学生の情報を共有することにより，適切な指導・助言を行えるよう協力関係を構築した。 　なお，研究アドバイザーを置いた場合は，指導チームと一体となって半年ごとに，着実な履修と学修の進捗等に対する指導・助言を行うこととしている。	履行中	学内の異なる研究分野の研究者が分野融合による新たな研究分野の開拓・創成を促進し，工農融合，フードサイエンス，ものづくりにおける融合的イノベーションの創出，光工学分野などの世界に通じる先端的研究の開発・推進に取り組み，地域志向研究を活性化して，新産業の創出や既存産業の高付加価値化に結びつく地域イノベーションの創出を目指すため，学長戦略経費「分野融合型研究支援事業」として重点的に配分し，「融合・連携」の強化に繋がるよう努めることとしている。

認　可　時 （令和元年）	本研究科に16学位プログラムを構成する前提となっている課題のうち，「オプトバイオのイノベーション創造」については，単に大学の強み・特長と説明するのではなく，目指すべきものを具体的に社会・学生に対して誤解がないよう周知すること。	遵守事項	本研究科に16学位プログラムを構成する前提となっている課題のうち，「オプトバイオのイノベーション創造」に関しては，環境・生活・経済と密接に関連している「光工学」と資源・環境・生活と密接に関連している「分子農学」の２つを教育研究分野としている。 「光工学」においては，超短パルスレーザーの活用など光工学に関する画期的な技術革新が求められていることから，光学に関する高度な知識・技術を修得して，実践的な技術者・研究者としての能力を有し，広く世界の光学技術の創造・発展をリードして，持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材育成を目指している。 「分子農学」においては，乾燥に強い植物のメカニズム解明と応用など画期的な技術革新等が求められていることから，分子農学に関する高度な知識・技術を修得して，遺伝子情報の解析技術とその発現機構に基づく分子レベルの知見を応用し実践する能力を有し，持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材育成を目指している。 附帯事項を踏まえ，以上について，社会・学生に対して誤解のないように「学生募集要項」，「本学公式ホームページ」及び「学生便覧」において周知した。 【別添〔資料２〕のとおり】	履行済	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜地域創生科学研究科　工農総合科学専攻＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

〔全学組織〕教育企画会議（別添〔資料３〕「宇都宮大学教育企画会議の運営に関する申合せ」のとおり）

〔地域創生科学研究科〕地域創生科学研究科代議員会

（別添〔資料４〕「宇都宮大学大学院地域創生科学研究科代議員会内規」のとおり）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〔全学組織〕９回（教員１３人、事務１人）

〔地域創生科学研究科〕地域創生科学研究科代議員会（年数回開催、18名）

ｃ　委員会の審議事項等

〔全学組織〕全学的な教育改善、特色ある教育の展開方向

〔地域創生科学研究科〕地域創生科学研究科におけるＦＤに関する事項

②　実施状況

ａ　実施内容

〔全学組織〕

・「全学ＦＤの日」の企画・実施（ベストレクチャー賞受賞者による実践報告、全学シンポジウム等）

・ベストレクチャー賞の選考

・アクティブラーニングに関する教員研修プログラムの実施

・教員相互の授業参観の実施

・授業評価アンケートの実施

ｂ　実施方法

〔全学組織〕

諸会議等における周知及び各学部事務部を通じて教員へ周知の上、実施

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

〔全学組織〕

・全学ＦＤの日　平成30年9月21日実施　午前186名、午後222名の教員が参加

・アクティブラーニングに関する教員研修プログラム　277名の教員が参加

・教員相互の授業参観　199名の教員が参観

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

〔全学組織〕

・授業評価中間アンケート結果は、各教員が直ちに実施中の授業の改善に役立てた。

・学期末の授業評価アンケート結果は、教育企画会議から各教員に送付し、教員から授業改善等のコメントを提出させ、報告書に取りまとめている。

・教員の指導力向上及び学生の学力向上につなげるため、授業評価アンケートの質問項目の見直しを図った。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

〔全学組織〕

・授業評価中間アンケート　6月上旬、11月上旬

・授業評価アンケート　7月中旬、1月中旬

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

〔全学組織〕

授業評価結果については、「学生による授業評価」報告書にとりまとめ、各教員に配布すると共に、附属図書館、学務部で閲覧させている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置申請に沿ったカリキュラムの用意及び研究指導体制等の整備を行い，平成31年４月より学生の受入を開始し，設置計画を着実に実行した。
引き続き，設置の趣旨・目的の達成に向け取り組む。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・未定

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③　認証評価を受ける計画

・平成２７年度に大学として機関別認証評価を実施しており、その後の評価については平成３４年度までに受審することになっている（受審する年度は学内で検討中）。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

ａ ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

ｂ 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年５月３１日 ）

ｂ 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。